

# 東かがわ市社会体育施設等 マネジメント基本計画



平成 29 年 3 月

東かがわ市

## 目 次

第1章 計画の位置づけ等 .....	1
第1節 位置づけ .....	1
第2節 対象施設 .....	2
第3節 計画期間 .....	4
第2章 社会体育施設等の現状及び将来の見通し .....	5
第1節 建築系公共施設等の現状と将来見通し .....	5
第2節 社会体育施設等の現状と課題 .....	6
第3節 社会体育施設等を取り巻く課題 .....	13
第3章 社会体育施設等のマネジメントの方針 .....	17
第1節 マネジメントの考え方 .....	17
第2節 最適化に向けた手法例 .....	18
第4章 社会体育施設等の評価手法の検討 .....	23
第1節 評価の考え方 .....	23
第2節 評価項目 .....	24
第3節 評価結果 .....	39
第5章 社会体育施設等マネジメント計画 .....	43
第1節 最適化に向けた考え方 .....	43
第2節 更新費用等の算出 .....	49
第6章 マネジメントに向けた仕組みづくり .....	50
第1節 マネジメントの仕組み .....	50
第2節 今後に向けての課題 .....	52
参考資料 .....	53
1 引田・白鳥・大内スポーツセンターの料金体系 .....	53
2 他都市の施設再編事例 .....	57
3 他都市の評価手法等の事例 .....	65
4 現地調査結果 .....	69
5 ハザードマップ等 .....	72
6 近隣の類似施設の状況 .....	75
7 施設の用途別、構造別耐用年数 .....	79
8 公会計等の活用事例 .....	80

## 第1章 計画の位置づけ等

### 第1節 位置づけ

本計画は、上位計画である「東かがわ市基本構想」の将来像（～みんなでつくる 愛着を持って いつまでも住み続けたい 自慢のまち 東かがわ～）の実現に向けて、「東かがわ市公共施設等総合管理計画」で設定した公共施設等の総合的な基本方針を踏襲し、社会体育施設等における評価・分析、見直し等を円滑に遂行できるマネジメント計画を策定するものです。

なお、「東かがわ市社会体育施設等整備構想」では、各スポーツセンターの整備方針が提示されているとともに、各施設においても「継続」「改修」「廃止」等が示唆されていることから、これらを十分に踏まえ、社会体育施設等の最適化に向けた方針を定めるものとします。

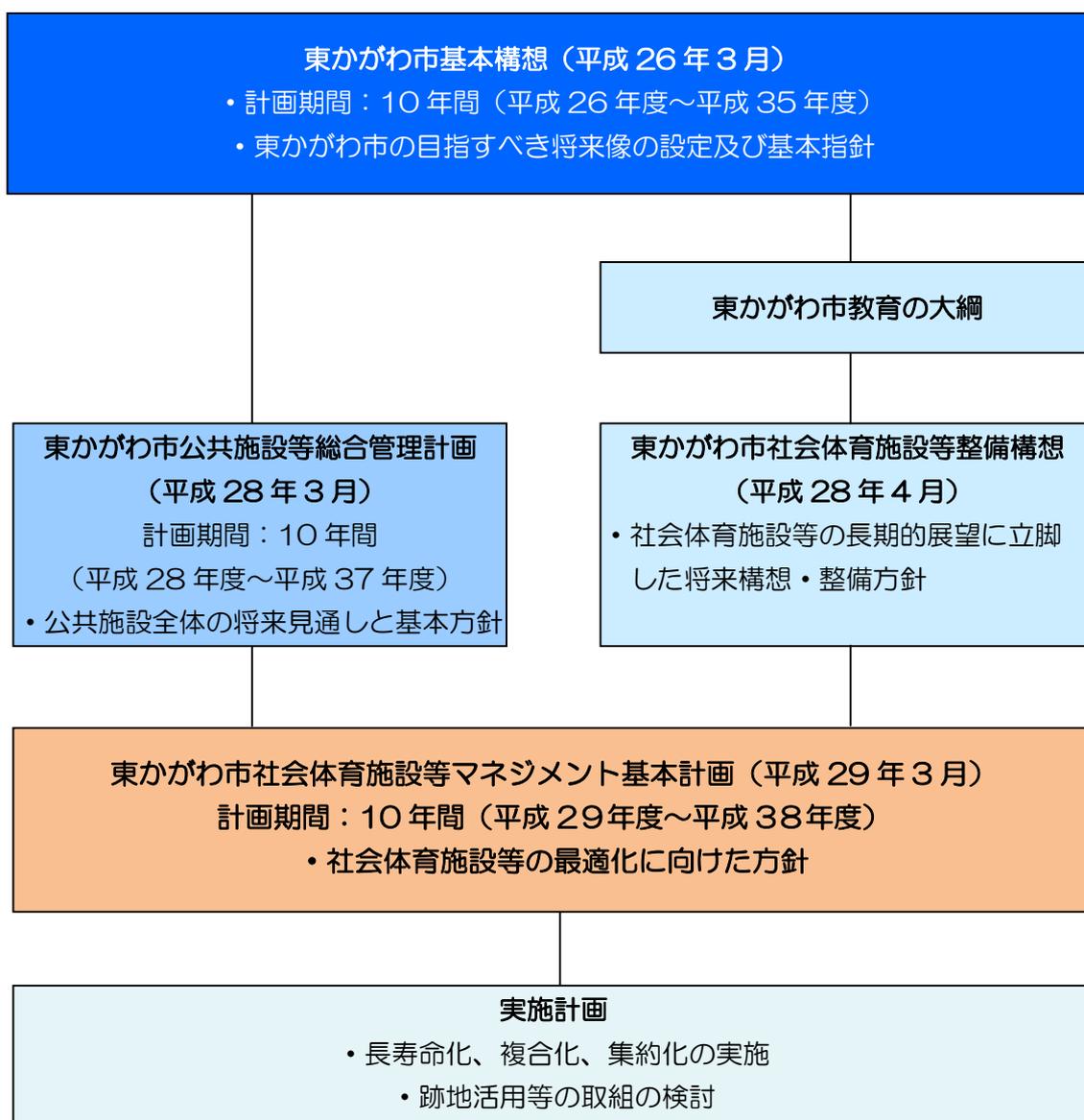


図 東かがわ市社会体育施設等マネジメント基本計画の位置づけ

## 第2節 対象施設

本計画の対象となる社会体育施設等については、「引田スポーツセンター」「白鳥スポーツセンター」「大内スポーツセンター」に存在する施設とします。これらの施設の多くは、平成5年（1993年）に開催された「東四国国体」に合わせて合併以前の旧町において整備されたものです。

白鳥スポーツセンターは、白鳥中央公園の名称で都市公園（地区公園）として、都市計画決定をしています。

また、大内スポーツセンターは、大内総合運動公園（後にとらまる公園に名称変更）の名称で都市公園（総合公園）として、都市計画決定をしています。

なお、引田スポーツセンターは、都市計画区域外に立地しています。

表 主な都市公園の状況

名称	種別	位置	計画決定面積 (ha)	開設面積 (ha)	当初決定年月日
					最終決定年月日
白鳥中央公園	地区公園	帰来	9.20	9.22	S61.2.25
					同上
大内総合運動公園	総合公園	西村	17.50	17.51	S61.11.18
					H11.3.9

注：大内総合運動公園は、平成16年5月17日にとらまる公園に名称変更

資料：『香川県の都市計画（平成27年4月）』

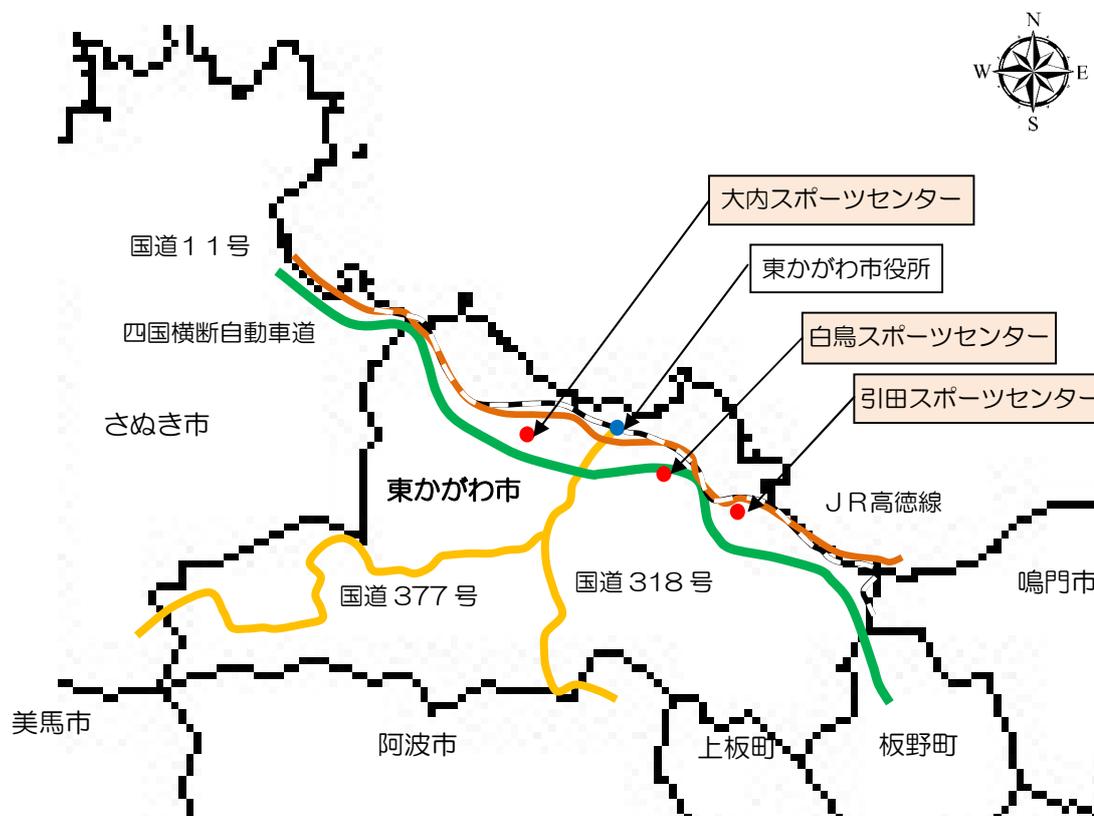


図 各スポーツセンターの位置

本計画の対象となる社会体育施設等については、以下の施設とします。

なお、同様な機能を有する施設として体育館、テニスコート、運動広場・野球場、ゲートボール場があります。

また、白鳥スポーツセンターに立地するしろとり研修センター、白鳥本町コミュニティセンターや大内スポーツセンターに立地するキャンプ場等の施設も含むものとします。

表 東かがわ市社会体育施設等マネジメント基本計画対象施設一覧表

分類	施設名称	構造	競技	付帯施設	建築年 (和暦)	築年数
引田スポーツセンター	引田飛翔体育館	RC2F	バレー、バド、バスケ	1F ステージ(放送室)、会議室、トイレ 2F シャワー付き更衣室	H2	26
	引田体育館	RC	バレー、バド、バスケ	トイレ、用具庫	S50	41
	小海体育館	RC	バレー、バド、バスケ	調理実習室、会議室(和室)、器具庫、更衣室、トイレ、駐輪場	H4	24
	引田運動公園テニスコート(人工芝)	砂入り人工芝、4面		クラブハウス(木造平屋)163㎡	H4	24
	引田テニスコート(クレー)	花崗土、2面		壁打ち、トイレ、倉庫	S59	32
	引田運動広場	花崗土、一部フェンスあり	少年野球、グランドゴルフ	倉庫、トイレ2	S62	29
	引田野球場		野球、ソフト等	観覧席、本部席、ダッグアウト、倉庫、放送設備、トイレ、夜間照明設備	S59	32
	温水プール(増設含む)	RC平屋	25mプール、幼児用プール、歩行者専用プール、ジャグジー	駐輪場	H8	20
	パークゴルフ場	天然芝張、18ホール		トイレ、レストハウス	H21	7
	武道館	RC2F		駐輪場	H5	23
ゲートボール場(クレー)	2面			H5	23	
白鳥スポーツセンター	白鳥中央公園体育館	RC2F(一部鉄骨)	バレー、バド、バスケ(ポイント)		H2	26
	テニスコート(人工芝)	全天候型砂入り人工芝、4面		クラブハウス(RC)109.53㎡	H4	24
	グラウンド(多目的広場)	花崗土、照明塔鉄骨造り21.7㎡	多目的	バックネット、ダッグアウト	H1	27
	親水公園		遊歩道・ピオトープ		H2	26
	野外ステージ・野外ステージドーム				H5	23
	バーベキュー棟・炊飯棟				H5	23
	人工スキー場管理棟	鉄骨			H6	22
	しろとり研修センター				H15	13
	白鳥本町コミュニティセンター				H8	20
大内スポーツセンター	とらまるてびくろ体育館	RC2F	バレー、バド、バスケ、ハンド等	サブアリーナ	H3	25
	テニスコート(人工芝)	全天候型砂入り人工芝、6面		クラブハウス(木造コンクリート平屋)121.62㎡	H3	25
	グラウンド(多目的広場)	花崗土	多目的	用具倉庫(鉄骨造)200㎡	H6	22
	大内野球場		野球、ソフト等	管理棟60㎡、バックネット、観覧席、ダッグアウト、夜間照明設備	S55	36
	ゲートボール場(人工芝)	2面			H4	24
	キャンプ場管理棟				H5	23
	キャンプ場浴室棟				H5	23
	キャンプ場炊飯棟				H5	23
	冒険の森(アスレチック)				H5	23
	ファンシープラザ時計塔				H4	24
	人形劇場とらまる座				H4	24
	ミニチュア児遊館				H4	24
	とらまる人形劇ミュージアム				H15	13
	とらまる図書館				H4	24

注：建築年は「東かがわ市社会体育施設等整備構想」における資料等を参照した。

### 第3節 計画期間

本計画の計画期間については、「東かがわ市公共施設等総合管理計画」の計画期間との整合を図りつつ、平成29年度から平成38年度までの10年間とします。

しかしながら、人口動態、財政状況等を勘案しながら、必要に応じて適宜見直しを図るものとします。

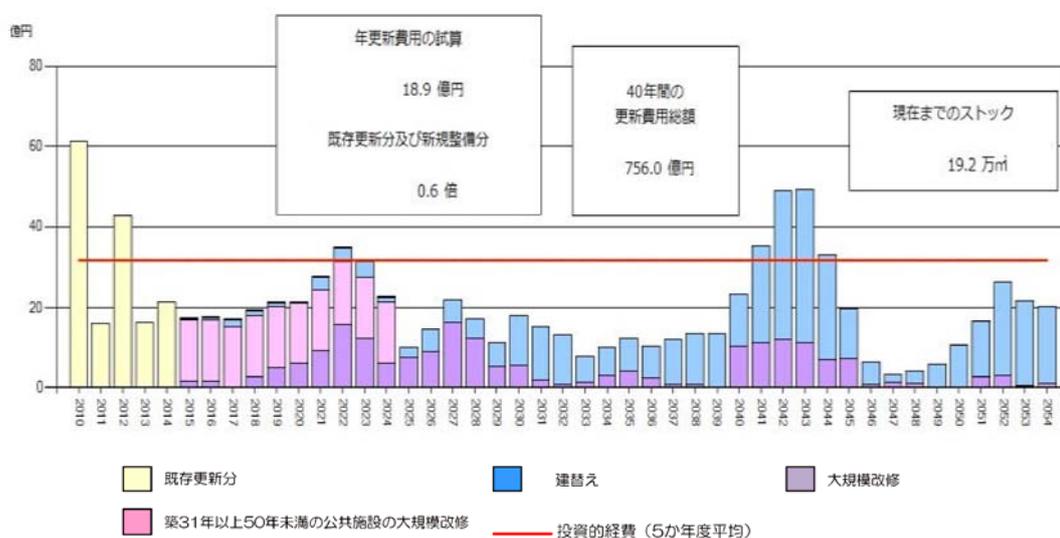
## 第2章 社会体育施設等の現状及び将来の見通し

### 第1節 建築系公共施設等の現状と将来見通し

「東かがわ市公共施設等総合管理計画」によると、建築系公共施設の将来の年間更新費用は、18.9億円/年となっています。一方、建築系公共施設の直近5か年度の投資的経費は、31.6億円/年となっており、将来の年間更新費用より高い数値となっています。

これは、直近の5年間に学校や庁舎の建設、増改築等が集中したため、投資的経費が多かったことに起因しています。

また、合併後11年を経過した平成26年度から地方交付税が漸減し、5年経過後には、現状から約10億円の減収となることを見込まれていることを考えると、将来の更新費用の充当には、厳しい状況であるといえます。



(※総務省 公共施設等更新費用試算ソフト Ver.2.10 より算定)

※上下水道施設は含まない

図表 3-5：建物系公共施設の直近5か年度の投資的経費（千円）

年度	合計
平成22年度(2010年)	6,121,697
平成23年度(2011年)	1,617,115
平成24年度(2012年)	4,281,790
平成25年度(2013年)	1,647,598
平成26年度(2014年)	2,136,218
平均	3,160,884

資料：『東かがわ市公共施設等総合管理計画』

## 第2節 社会体育施設等の現状と課題

### (1) 利用状況等

引田スポーツセンターにおける主な施設の利用者数の推移は、以下のとおりです。

引田運動公園テニス場（人工芝）、引田パークゴルフを除いて、平成27年度の利用者数は平成26年度と比べて減少しています。中でも、引田武道館は平成24年度に19,367人であったものが、平成27年度には9,528人と約5割減少しています。

稼働率をみると引田温水プールは、100%で推移していますが、引田テニス場（クレー）は、平成26年度まで40%であったものが、平成27年度には7%と大きく減少しています。

これは、利用者が引田運動公園テニス場（人工芝）に移動したことによるものです。

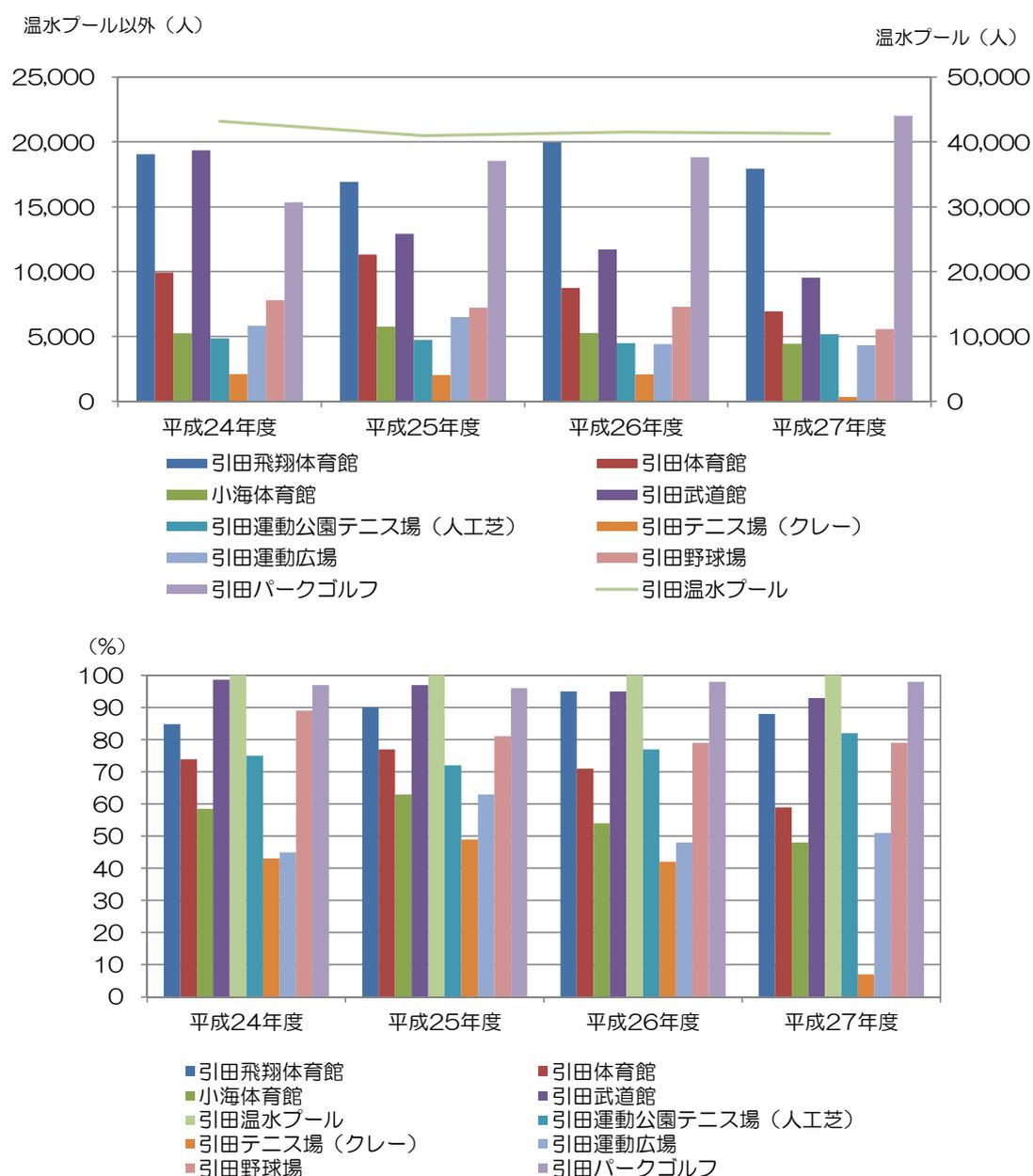


図 引田スポーツセンターの主な施設の稼働率の推移

白鳥スポーツセンターにおける主な施設の利用者数の推移は、以下のとおりです。  
 体育館、多目的広場、テニスコート、研修センターについては、平成27年度にかけて増加しています。一方、炊飯棟は、平成27年度にかけて減少しています。  
 稼働率をみると体育館は100%で推移しているほか、他の施設も平成27年度にかけて増加しています。  
 炊飯棟は稼働率が増加したにもかかわらず、利用者が減少していますが、体育館については、稼働率が100%で変わらないものの、利用者数は大きく増加しています。

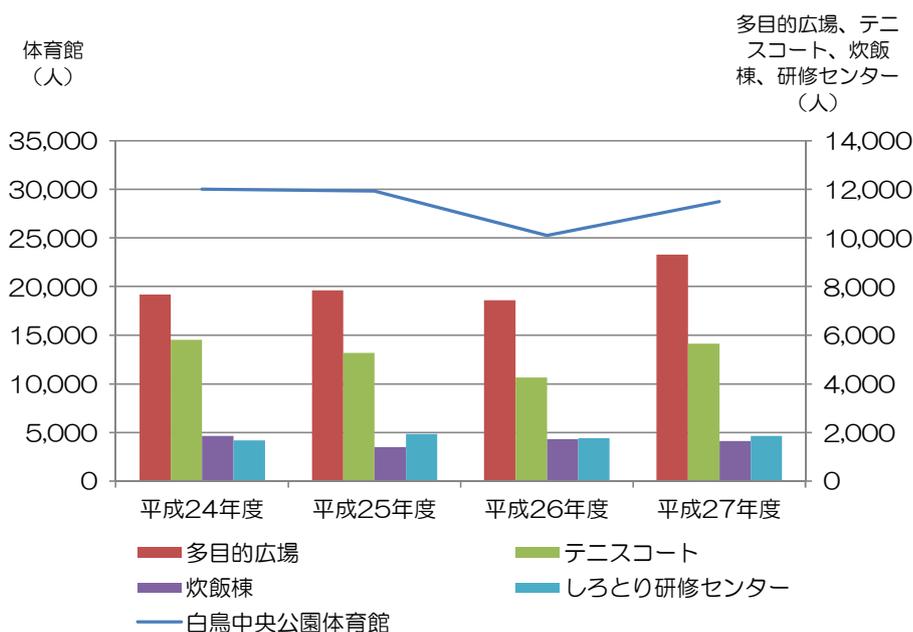


図 白鳥スポーツセンターの主な施設の利用者数の推移

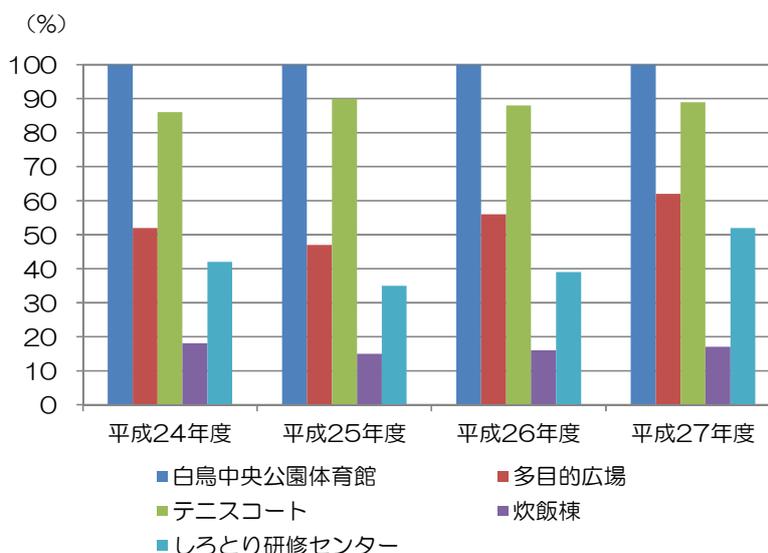


図 白鳥スポーツセンターの主な施設の稼働率の推移

大内スポーツセンターにおける主な施設の利用者数の推移は、以下のとおりです。  
ほとんどの施設が減少傾向にありましたが、体育館、多目的広場、テニスコート、野球場は、平成27年度にかけて増加傾向にあります。一方、キャンプ場、ゲートボール場は、減少に転じています。

稼働率をみると体育館は100%で推移していますが、多目的広場は平成24年度に約75%であったものが、平成27年度には約29%と約6割減少しています。

同様に、大内野球場も平成24年度に約80%であったものが、平成27年度には約49%と約4割減少しています。なお、ゲートボール場は5%以下で推移をしています。

キャンプ場は稼働率が増加したにもかかわらず、利用者が減少していますが、多目的広場は稼働率が減少したにもかかわらず、利用者が増加しています。

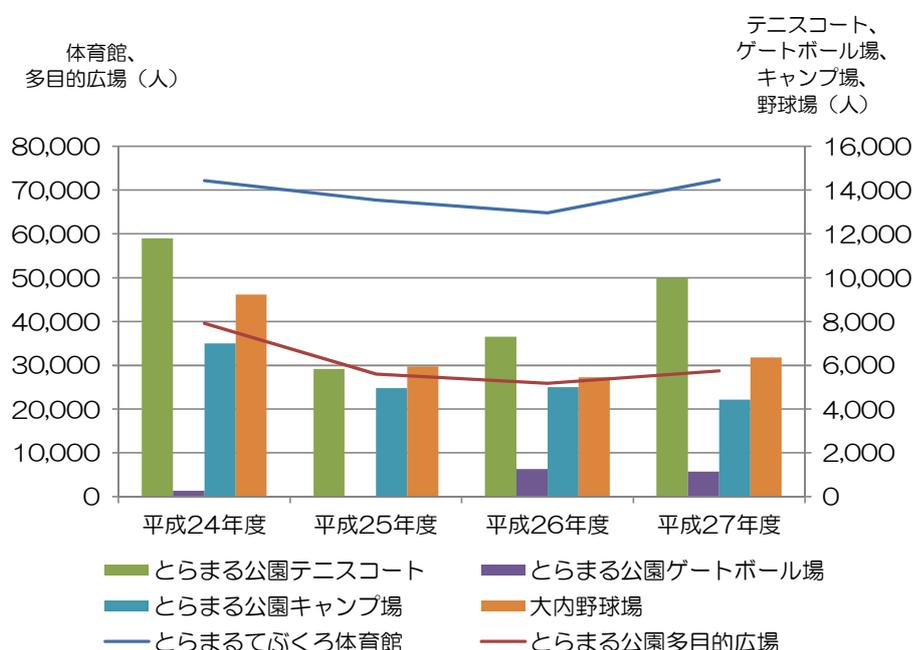


図 大内スポーツセンターの主な施設の利用者数の推移

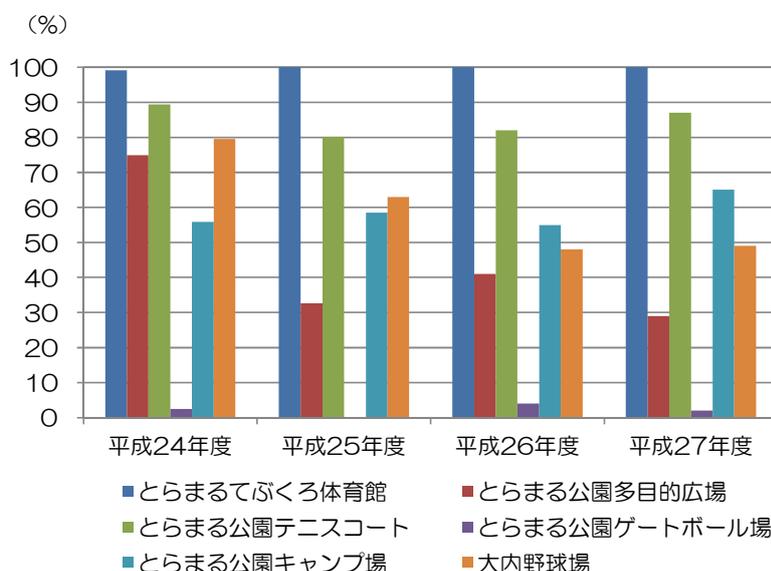


図 大内スポーツセンターの主な施設の稼働率の推移

また、各スポーツセンターにおいて開催されている教室の概要をみると、教室数は大内スポーツセンターが最も多く、平成26年度を除いて20以上の教室が開催されています。一方、参加者数をみると引田スポーツセンターが最も多く、平成24年度から平成27年度にかけて、2万人以上の参加者数となっています。なお、これらの多くは引田温水プールで開催されているものであり、中でも子供水泳教室は、全体の約7割を占めています。

表 引田スポーツセンターで開催した教室及び参加人数（単位：人）

事業名	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
子供水泳教室	17,279	16,808	17,228	16,244
成人水泳教室	5,935	4,397	4,861	4,741
アクアピクス（木）	455	281	501	454
ショートアクア	255	217	253	272
アクアピクス（火）	226	411	—	—
定期水泳（16：00）	16	—	—	—
定期水泳（17：00）	10	—	—	—
夏休み短期水泳教室	134	211	134	82
平泳ぎ特別教室	29	—	—	—
パバママピクス	20	—	—	—
水となかよく	31	—	—	—
楽しくはじめる	25	—	—	—
クロール・平泳ぎ教室	11	—	—	—
煩惱SWIM	15	—	—	—
プライベートレッスン	14	6	5	—
ヘルスピクス	16	27	—	—
泳力認定会	33	—	—	—
南あわじ成人教室	—	15	—	—
ピラティス教室	82	—	—	—
アクエアピクス教室	129	—	—	—
パークゴルフ無料体験会教室	20	44	59	113
北海道パークゴルフ教室	—	13	—	—
フィットネス教室	—	23	124	—
JSA&Gボールエクササイズ	—	—	—	102
ミニバスケットボール教室	—	—	—	183
合計	24,735 (20教室)	22,453 (12教室)	23,165 (8教室)	22,191 (8教室)

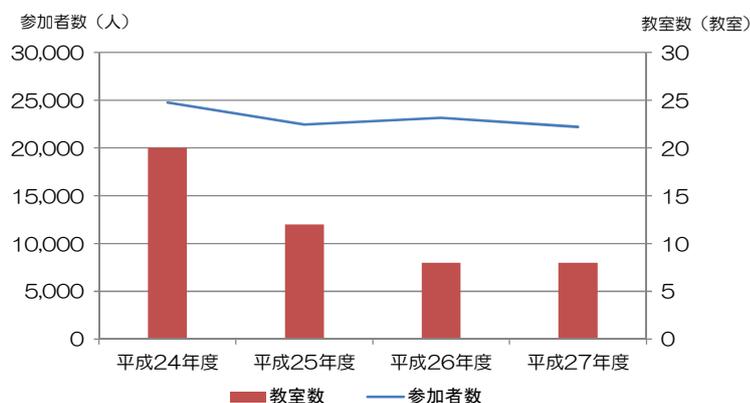


図 引田スポーツセンターで開催した教室数及び参加者数の推移

表 白鳥スポーツセンターで開催した教室及び参加人数（単位：人）

事業名	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
ヨガ教室	256	151	305	307
トランポリン教室	32	52	47	54
トレーニング教室	22	—	—	—
合 計	310 (3教室)	203 (2教室)	352 (2教室)	361 (2教室)

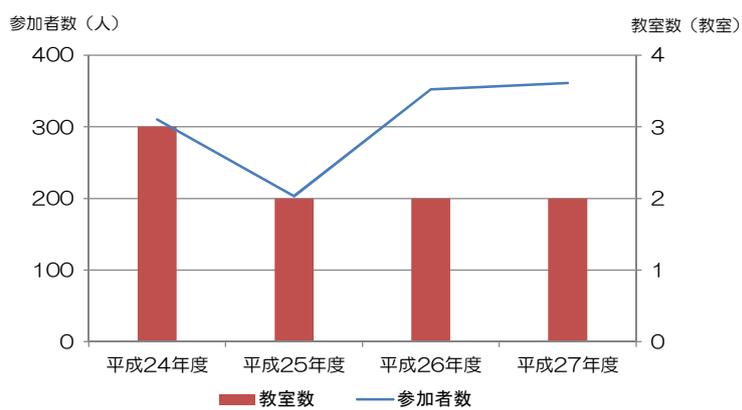


図 白鳥スポーツセンターで開催した教室数及び参加者数の推移

表 大内スポーツセンターで開催した教室及び参加人数（単位：人）

事業名	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
インドアテニス	77	—	—	—
ビーチテニス	31	—	—	—
猛烈テニススクール	22	—	—	—
気分爽快とらまるテニス	62	—	—	—
ビーチテニス体験大会	24	—	—	—
身体リフレッシュ教室	141	211	371	49
JSAボールエクササイズ	453	374	347	316
JSAコア・ストレッチ	211	382	475	353
テニス教室（月～土）	836	1182	1042	1158
※キッズ含む	(9教室)	(8教室)	(8教室)	(7教室)
とらまるテニスクラブ練習会	32	21	—	—
とらまる公園テニス大会	—	—	120	76
とらまるチャレンジカップ	—	—	58	48
親睦テニス練習会	—	—	21	31
フィットネス（月曜日）	—	—	—	104
フィットネス（水曜日）	—	—	—	253
ソフトテニス	—	—	—	12
ストレッチ	—	—	—	16
フェンシング教室	—	25	—	18
バドミントン	—	—	—	89
ボディ・케어	—	—	—	160
ミニバスケットボール教室	322	594	190	—
シェイプアップ	191	108	38	—
	(2教室)			
美ボディエクササイズ	—	398	121	—
バトントワリング	—	—	19	—
ストレッチコンディショニング	75	418	—	—
親子バレーボール教室	61	23	—	—
親子卓球教室	27	50	—	—
フットサル	—	82	—	—
子ども運動教室	—	39	—	—
健康運動体操教室	—	21	—	—
乳幼児親子体操	25	—	—	—
ダンベルエクササイズ	43	—	—	—
ボクササイズ	314	—	—	—
キッズ体操教室	29	—	—	—
合 計	2,976 (28教室)	3,928 (22教室)	2,802 (18教室)	2,683 (20教室)

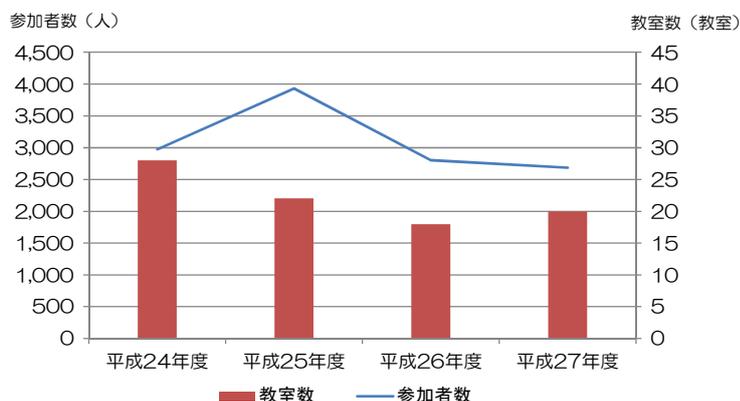


図 大内スポーツセンターで開催した教室数及び参加者数の推移

## (2) 料金体系

各スポーツセンターにおける主な施設の利用料金をみると、引田温水プールを除き、市内の利用者の場合は 500 円から 2 千円程度の利用料金となっています(1 時間の場合を含む)。

※詳細は、「参考資料 1 引田・白鳥・大内スポーツセンターの料金体系」参照

### 第3節 社会体育施設等を取り巻く課題

#### (1) 人口減少

本市の将来人口は、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）が推計（平成25年3月推計）した結果によると、平成52年（2040年）には、19,480人になると想定されており、平成27年国勢調査の人口31,031人と比較して約4割減少すると想定されています。

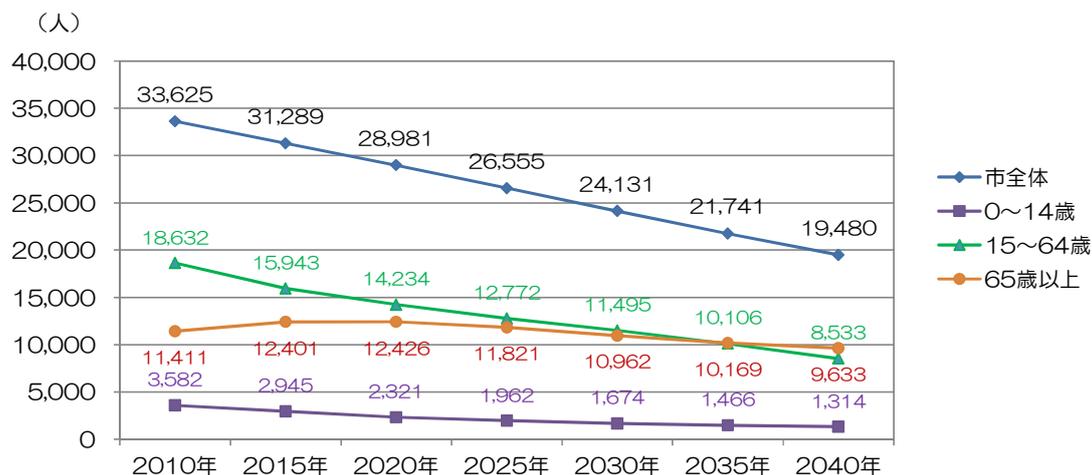


図 社人研推計による東かがわ市の将来人口

また、本市における公共建築物の一人当たり床面積は6.0㎡/人であり、同程度の人口規模の自治体のうち、平成の合併を行っている自治体の平均値（5.9㎡/人）と同程度となっています。しかしながら、合併をしていない同程度の人口規模の自治体の平均値（3.8㎡/人）と比較すると約1.6倍の値となり、公共建築物が多いことがわかります。

表 自治体別公共建築物一人当たり床面積

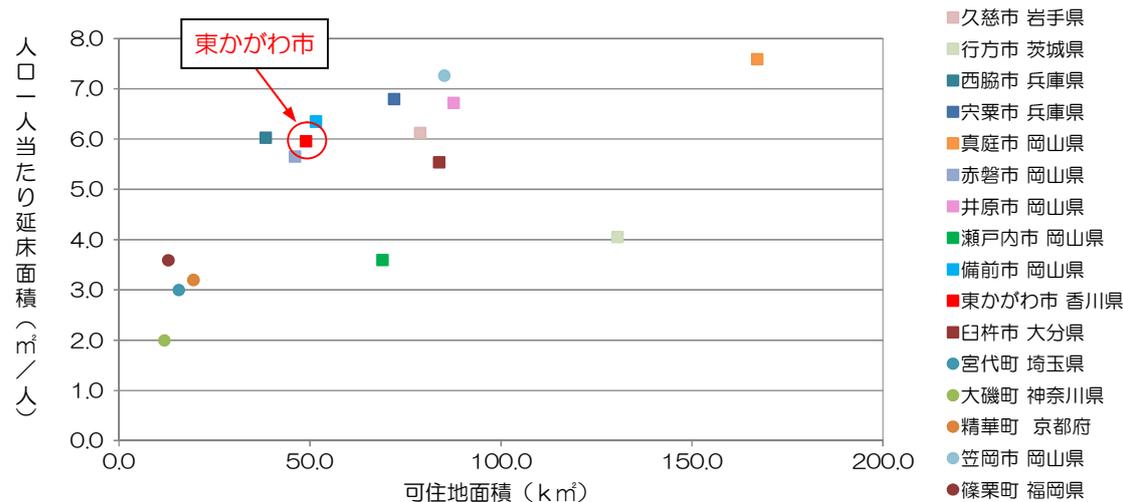
合併の有無	自治体名	県	人口規模(人)	公共建築物総面積(㎡)	1人当たり床面積(㎡/人)
有	久慈市	岩手県	36,872	225,469	6.1
有	行方市	茨城県	34,928	141,332	4.0
有	西脇市	兵庫県	41,835	252,115	6.0
有	宍粟市	兵庫県	40,473	274,982	6.8
有	真庭市	岡山県	48,964	371,301	7.6
有	赤磐市	岡山県	43,458	245,405	5.6
有	井原市	岡山県	41,905	281,542	6.7
有	瀬戸内市	岡山県	37,852	136,067	3.6
有	備前市	岡山県	37,072	235,238	6.3
有	東かがわ市	香川県	32,304	192,320	6.0
有	臼杵市	大分県	40,743	225,520	5.5
平均					5.9
無	宮代町	埼玉県	33,392	99,928	3.0
無	大磯町	神奈川県	32,413	64,515	2.0
無	精華町	京都府	37,489	119,773	3.2
無	笠岡市	岡山県	30,223	219,324	7.3
無	篠栗町	福岡県	31,620	113,436	3.6
平均					3.8

資料：各自治体ホームページから公共施設等総合管理計画を参照（平成28年6月時点）

同様に、可住地面積を横軸に人口一人当たり延床面積を縦軸にとり、他自治体と比較してみると、可住地面積が大きくなるほど、一人当たりの延床面積も大きくなる傾向にあります。これは、合併によるものと考えられます。

なお、可住地面積が約 50k m<sup>2</sup>~100k m<sup>2</sup>のグループでみると、本市は可住地面積と比べて一人当たりの延床面積が多いといえます。

注：可住地面積は、自治体の総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いたものです。



平成の合併により誕生した自治体：□、平成の合併をしていない自治体：○

資料：可住地面積は「統計でみる市区町村のすがた 2015」

図 可住地面積に対する人口一人当たり延床面積

以上のことから、今後、更に人口減少が進んでいき、公共施設の規模が現状のままであれば、平成 52 年 (2040 年) の一人当たりの延床面積は、約 10 m<sup>2</sup>/人 (=192,320 / 19,480) と高い数値となります。

## (2) 施設の老朽化

平成5年(1993年)に開催された「東四国国体」に合わせて整備された各施設は、整備後20年が過ぎて、損傷がみられるものや既に部分的な修理を施しているものがあります。

また、引田体育館は、新耐震基準の適用(昭和56年)より前に建設され、耐震補強が実施できていないなど、その対応が求められています。

表 施設の主な問題点

施設名	構造	整備年	築年数	劣化状況
引田スポーツセンター				
引田飛翔体育館	鉄筋コンクリート 2階建	H2	26	強風時一部に雨漏りが見られる。
引田体育館	鉄筋コンクリート 平屋建	S50	41	耐震補強が出来ていない
引田温水プール	鉄筋コンクリート 平屋建	H8	20	給排水・給湯設備は老朽化が進んでおり、部分修繕を繰り返している。
引田運動公園テニス場	砂入り人工芝コート (4面)	H4	24	部分修繕により処置。
〃	クラブハウス	H4	24	外壁は木製で傷みが進行している。
白鳥スポーツセンター				
白鳥中央公園体育館	鉄筋コンクリート 2階建	H2	26	強風時一部に雨漏りが見られる。
大内スポーツセンター				
テニス場	クラブハウス	H3	25	外壁は木製で傷みが進行している。
とらまる人形劇ミュージアム	ミュージアム：RCコンクリートブロック2階建て	H15	13	一部に雨漏りが見られる。
とらまる図書館	鉄筋コンクリート 地上2階地下1階建	H4	24	空調・制御装置の経年劣化

資料：『東かがわ市社会体育施設等整備構想』

### (3) 社会体育施設等の将来見通し

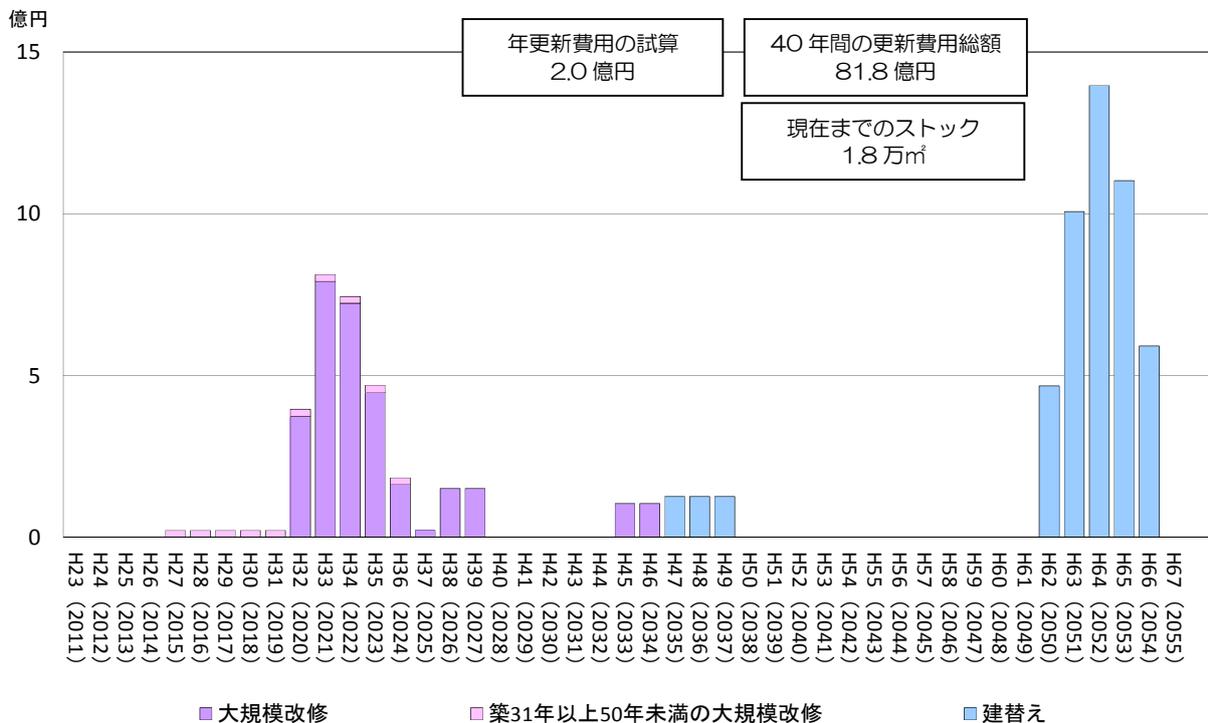
本計画の対象となる建物系の施設の情報を用いて、『東かがわ市公共施設等総合管理計画』と同様の手法により将来の見通しを検討します。

※白鳥スポーツセンターに立地するしろとり研修センター、白鳥本町コミュニティセンターや大内スポーツセンターに立地するキャンプ場等の施設も含む。

運動広場、野球場、テニスコートなど、建物以外は含まない。

これらの施設について、将来の更新費用を算出したところ、40年間で約81.8億円となり、年間の更新費用は約2.0億円となります。

ここで、将来の見通しとしては、国の財源を確保するなど、市の財政事情を踏まえ、更新を将来的に進める必要があります。



資料：総務省公共施設等更新費用試算ソフト ver.2.10 を用いて算定

図 本計画の対象となる社会体育施設等の将来更新費用

施設用途における大規模改修時期、建替え時期

大規模改修時期	建替え時期
建設後 30 年	建設後 60 年

資料：「東かがわ市公共施設等総合管理計画」

施設用途における大規模改修費用、建替え費用

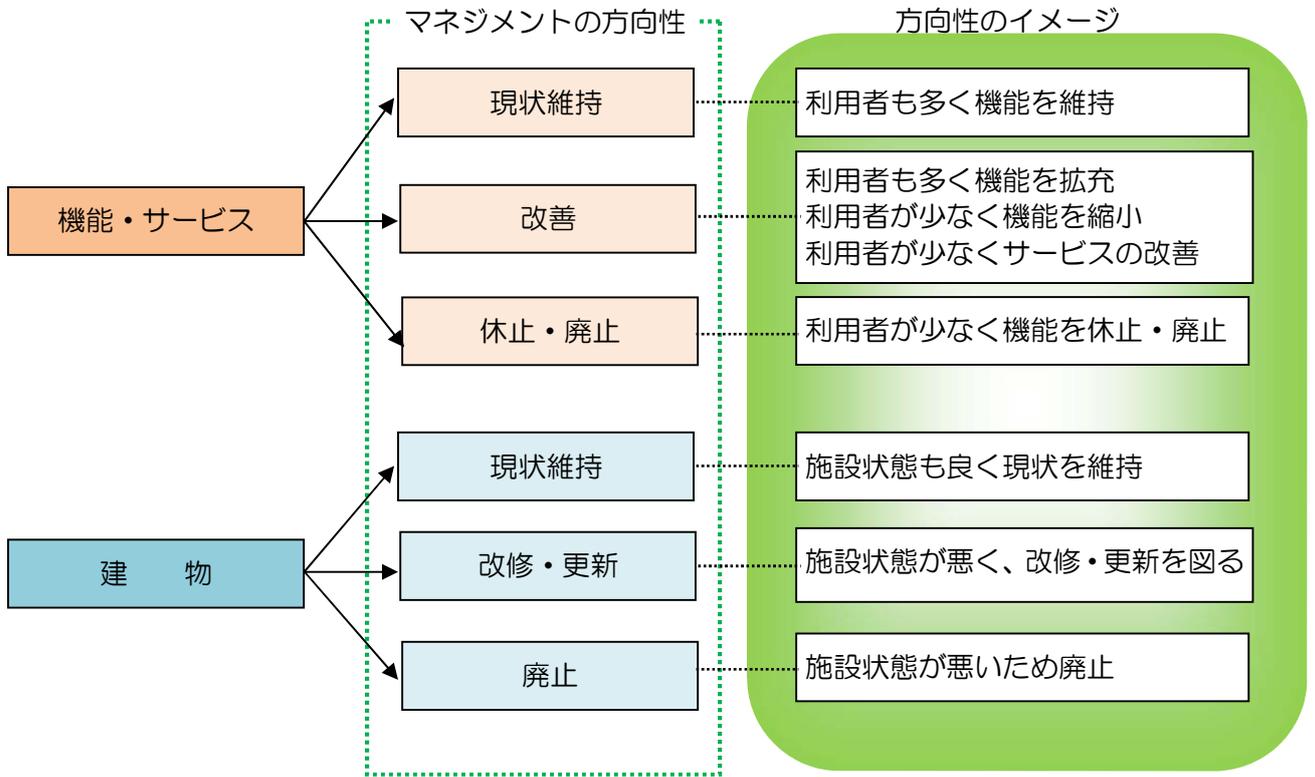
施設用途	大規模改修費用	建替え費用
スポーツ・レクリエーション施設	20万円/㎡	36万円/㎡
公園	17万円/㎡	33万円/㎡

資料：「東かがわ市公共施設等総合管理計画」

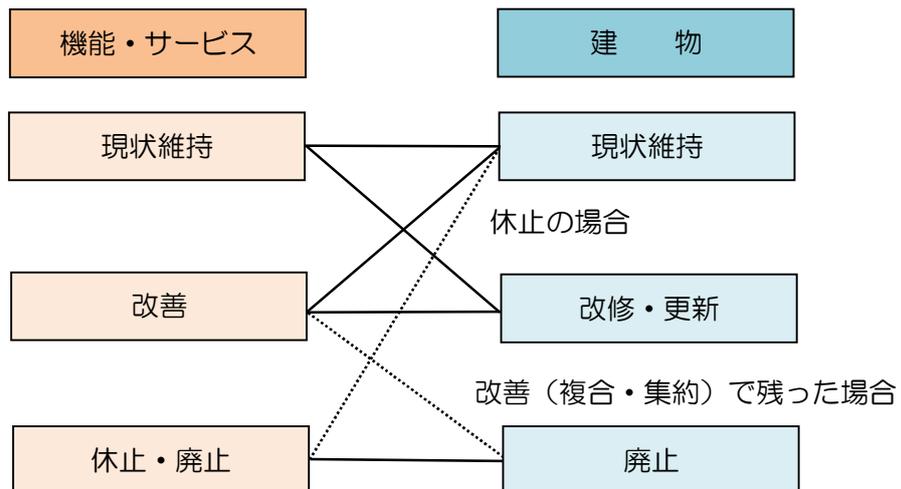
### 第3章 社会体育施設等のマネジメントの方針

#### 第1節 マネジメントの考え方

マネジメントの考え方として「機能・サービス」の維持向上と「建物」の最適化をどうするのかについての考え方を整理します。

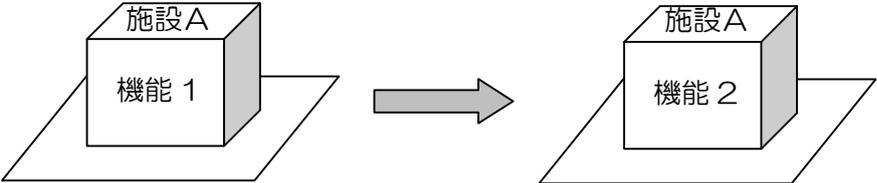
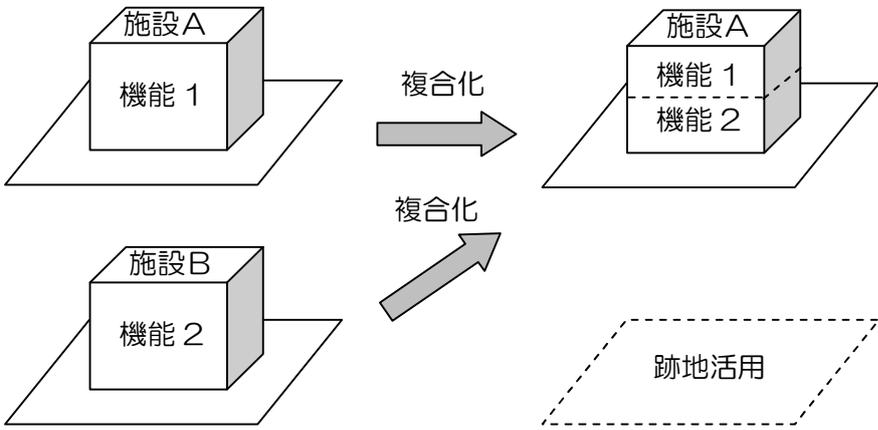


マネジメントの方向性の関係図



## 第2節 最適化に向けた手法例

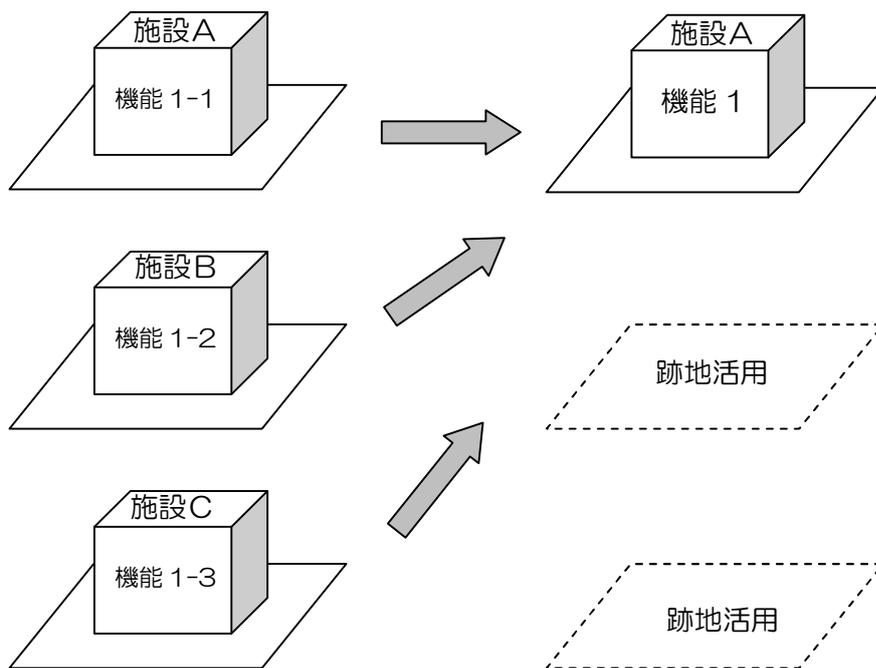
### (1) 最適化の例

①用途変更のイメージ
機能・サービスが「廃止」、建物が「現状維持」「改修・更新」の場合など
用途変更は、既存施設の全体あるいは一部を他の用途へ変更し有効活用する手法です。施設カルテ等により、余剰の公共施設や公共施設内の空き部屋等の状況を把握しておき、これにより別途、必要性が高まったサービスや不足サービスを補うことを検討します。今後、市民が必要とするサービスは時代とともに大きく変わっていくことが想定されます。常に、施設とサービス提供機能を分離してサービス提供機能を最小のコストで提供していく工夫に取り組めます。
 <p>The diagram shows a 3D box labeled '施設A' (Facility A) on a rectangular base. The front face of the box is labeled '機能1' (Function 1). A grey arrow points to the right, where the same box is shown on the same base, but the front face is now labeled '機能2' (Function 2).</p>
②複合化のイメージ
機能・サービスが「改善」「廃止」、建物が「現状維持」「改修・更新」の場合など
複合化は、複数の施設及びサービス機能を一つの建物に統合・並置する手法です。このことにより、エントランスや通路、会議室、給湯室、トイレなど共用部分をもって整備するため、その分整備費や運営を縮減することができます。複合化では、拠点施設と、当該拠点施設に機能移転する非拠点施設に分けて考える必要があります。
③跡地活用のイメージ
跡地活用は、施設の統廃合等によって既存施設が除却されるなどして発生した跡地に新たな機能を導入して活用する手法です。これには、民間活用や売却も含まれます。今後、施設の統廃合が進めば跡地化した公有地が多数発生することが考えられます。
 <p>The diagram illustrates two scenarios. In the top scenario, a 3D box labeled '施設A' (Facility A) with '機能1' (Function 1) on its front face is shown on a base. A grey arrow labeled '複合化' (Integration) points to a second 3D box labeled '施設A' (Facility A) on a base, which has both '機能1' (Function 1) and '機能2' (Function 2) on its front face. In the bottom scenario, a 3D box labeled '施設B' (Facility B) with '機能2' (Function 2) on its front face is shown on a base. A grey arrow labeled '複合化' (Integration) points to a dashed rectangular outline on a base labeled '跡地活用' (Site Reuse).</p>

#### ④集約化のイメージ

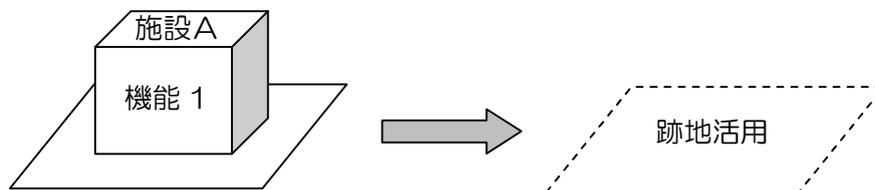
機能・サービスが「廃止」、建物が「現状維持」「改修・更新」の場合など

集約化は、複数の施設に跨る同様のサービス機能群に対し、個々の機能を細分化し、再構成したうえで一つの建物等に纏める手法です。たとえば、会議室は、公民館、集会所、文化ホールなどのほか庁舎や学校、図書館にも存在します。これらの稼働率を勘案しながら全体として必要な量に縮減していくことを検討します。



#### ⑤廃止のイメージ

機能・サービスが「廃止」、建物が「廃止」の場合など



⑥広域化のイメージ
機能・サービスが「現状維持」「改善」、建物が「廃止」の場合など
広域化は、市外の住民も利用可能な施設を広域で役割分担してサービス提供を行う手法です。広域化には、一部事務組合・広域連合等により共同でサービスを提供する場合、自ら施設を所有し広域に対してサービスを提供する場合、施設を所有せずにサービス提供を受ける場合などが考えられます。

上記以外のケースとして、維持管理運営等の仕組みを変えるものとして、以下のことが考えられます。

#### ●長寿命化

長寿命化の目的は、建替えに比べて財政的負担を抑えながら機能要求に添えていくことです。しかし、全ての施設の長寿命化が必要なわけではありません。施設の劣化度合いによっては、長寿命化が不可能な場合も考えられます。このようなことを踏まえ、建物の更新時期を原則として大規模改修を経て60年としながらも、施設の状況や施設が果たす機能を総合的に勘案したうえで、有効なものについてはその期間を延伸することを検討します。

#### ●官民連携手法等

官民連携手法等は、PPP (Private Partner Ship) や PFI (Private Finance Initiative) など、民間の資金やアイデア、活力などを公共サービスに活かす手法です。官民連携手法等を導入するメリットとしては、行政と民間で適切なリスク分担が行えること、民間の資金調達やノウハウを活用することで低廉かつ質の高い行政サービスの提供、それに伴う行政の財政負担の軽減、地域事業者の参画による地域経済の活性化があげられます。

表 官民連携手法について

PPP Public Private Partnership	官民連携または公民連携と呼ばれる。PPPは官民連携の包括的な概念で民間事業者の関与度合いや資産保有形態によっていくつかの手法に分かれる。
PFI Private Finance Initiative	民間資金による社会資本整備。民間の資金やノウハウを活用した社会資本整備手法。PFIにはサービス購入型、独立採算型、混合型の3種類がある。
包括的業務委託	地方公団体が行政責任を果たす上で、必要な監督権等を留保したうえで、その業務を包括的に民間(個人も含む)に委託することで公共施設を運営する。
指定管理者制度	公共施設の管理・運営を民間企業やNPOに包括的に代行させる制度。

●民間活用・市民譲渡

民間活用は、施設を民間に貸付・譲渡または売却し、市民には民間施設として利用してもらうことを指します。

市民譲渡は、施設を市民に譲渡する方法です。譲渡は、一般に無償で行いその後の維持管理は市民が自ら行います。したがって維持・運営費に関わる市の負担はなくなります。対象施設は、集会所が想定されます。施設の譲渡を行った場合は、将来の更新費は、市が負担しない場合と市が助成する場合がありますが、このことについても市民との対話を通じて適正な方法を見出すことが必要です。

●エネルギーマネジメント

エネルギーマネジメントは、使用エネルギーを効率化して縮減する方法です。いわゆるESCOはこれに該当します。マネジメントの実績をデータベースとして蓄積し、光熱水費の縮減にも計画的に取り組めます。

※Energy Service Company 事業の略称で、顧客の光熱水費等の経費削減を行い、省エネルギー効果（削減実績）からその一部を報酬として受け取るビジネス形態のことです。

●受益者負担の見直し

施設の利活用に関連して個別の施設使用料の適正化（受益者負担の適正化）を図ることです。使用料改定は、市民・利用者にとっては施設の維持を意味するものとの誤解を与える恐れがあり、公共施設の管理運営にあたり受益者負担上限の考え方を整理する必要があります。

## (2) 他都市の事例

社会体育施設等に関する複合化の事例を以下に整理しました。その多くは教育施設（学校）に附帯する体育館やプールを複合化する例となっています。

それ以外にも、体育館にカフェレストランを併設する例もみられます。

番号	施設名	複合化の例	備考
事例 1	かほく市立宇ノ気中学校、かほく市宇ノ気体育館	中学校（公共）＋市立体育館（公共）	体育館を複合化している事例として三豊市豊中町体育館など。満濃中学校は、体育館と図書館を複合施設として併設。
事例 2	調布市立調和小学校	小学校＋地域開放施設（メモリアルコーナー、地域図書館、地域開放駐車場・臨時駐車場、防災備蓄倉庫）	温水プールを複合化している事例として東京都台東区立上野小学校、東京都目黒区立碑小学校、北九州市立思永中学校など。
事例 3	シティホールプラザオーレ長岡	市役所＋アリーナ＋市民ホール＋商業施設	
事例 4	（仮称）八王子市新体育館等整備・運営事業	体育館＋地域交流スポーツセンター＋スポーツ広場等	平成 26 年 10 月に「エスフォルタアリーナ八王子」としてオープンしている。
事例 5	墨田区総合体育館	総合体育館（アリーナ、屋内プール、スタジオ・トレーニング室＋カフェレストラン等）	
事例 6	東板橋体育館	体育館＋自然体験施設	平成 31～32 年度に複合化の予定。

※詳細は、「参考資料 2 他都市の施設再編事例」参照

## 第4章 社会体育施設等の評価手法の検討

### 第1節 評価の考え方

評価の分析方法については、2軸（縦軸と横軸）を用いたポートフォリオ分析によるものとします。

具体的には、先述（第3章第1節 マネジメントの考え方）の、「機能・サービス」に関する評価については、サービスの供給の状況やどの程度のコストとなっているかといった「供給・財務の視点」で行い、「建物」に関する評価については、建物の状態、性能等といった「品質の視点」で行うこととします。

なお、「供給・財務の視点」を縦軸とし、「品質の視点」を横軸として、それぞれの項目に対する偏差値の平均（50）以上の項目数にて、判断します。

その結果、以下のA～Dのどのエリアに属するかによって、評価するものとします。

例：「品質の視点」において、偏差値50を超える項目が2つ、50を下回る項目が1つであれば、AまたはCの領域。一方、「供給・財務の視点」において、偏差値50を超える項目が1つ、50を下回る項目が2つであれば、CまたはDの領域。

以上のことから、評価はCとなります。

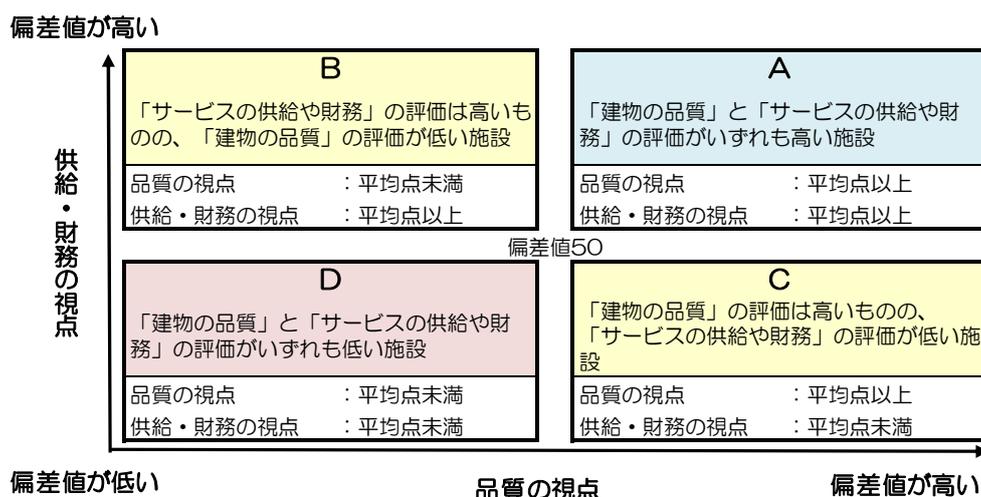


図 評価方法のイメージ

## 第2節 評価項目

### (1) 一次評価

同様な機能を有する施設（体育館、テニスコート、運動広場・野球場、ゲートボール場）の場合には、一次評価を行います。なお、定量的な評価を実施するために、評価の項目を以下のように設定します。

しかしながら、現在「引田スポーツセンター」「白鳥スポーツセンター」「大内スポーツセンター」は、指定管理を行っており、財務関係は3スポーツセンターごとに一括となっていることから、今回は、「財務」を除いた項目で評価を行うものとします。

表 社会体育施設等の評価項目（一次評価）

評価軸	分類	評価項目	評価の内容
品質の視点： 横軸	品質	築年数	現在－建築年
		耐震化	建設年が1981（昭和56年）以降で新耐震基準による建築であるか※ $l_s \geq 0.7$ 、 $q \geq 1.0$ を満足しているか
		劣化度調査	劣化の状況を健全度で表示 ※1：全体的に劣化が激しい、著しく劣化している箇所が見られる 2：劣化がみられるものの、部分的である 3：劣化がほとんどみられない
	品質の偏差値		
供給・財務の 視点：縦軸	供給	利用者数	
		1㎡当たり利用者数	利用者数÷面積（延床面積等）
		施設の稼働率	施設の貸出日数÷施設開館日数
	財務	1㎡当たり市負担額	(支出合計－収入合計)÷総延床面積
		利用者1人当たりの市負担額	(支出合計－収入合計)÷利用人数
供給・財務の偏差値			

注：上記の項目の偏差値を求め、それらの偏差値が平均の偏差値と比べて評価します。

偏差値は、学力偏差値と同様の手法にて同種の施設（体育館、テニスコートなど）単位で算定します。

$l_s$ とは、構造耐震指標といわれ、当該建築物に耐震性があるかないかを計る指標です。

$q$ 値とは、保有水平耐力に係る指標といわれ、地震や風などの水平力に対して、当該建築物が耐えることができる強さをあらわした指標です。

※劣化度調査結果の詳細は、「参考資料4 現地調査結果」参照

体育館・武道館、テニスコート、運動広場・野球場、ゲートボール場における評価結果は、以下のとおりです。

表 体育館・武道館の評価

分類	項目	引田スポーツセンター				白鳥スポーツセンター	大内スポーツセンター
		引田飛翔体育館	引田体育館	小海体育館	武道館	白鳥中央公園体育館	とらまるてびくろ体育館
品質	建築年（和暦）	H2	S50	H4	H5	H2	H3
	築年数	26	41	24	23	26	25
	// 偏差値	48	72	44	43	48	46
	耐震化の状況	1	0	1	1	1	1
	// 偏差値	54	29	54	54	54	54
	健全度	2	1	2	2	2	2
// 偏差値	54	29	54	54	54	54	
偏差値の平均以上の数		3	0	3	3	3	3
供給	1階面積（㎡）	1,473.89	1,048.65	691.13	869.41	2,002.07	3,749.12
	2階面積（㎡）	364.61	—	—	—	243.54	764.6
	面積計（㎡）	1,838.50	1,048.65	691.13	869.41	2,245.61	4,775.49
	利用者数（人） ※H24～H27年度の平均	18,479	9,231	5,171	13,381	28,469	69,261
	// 偏差値	47	43	41	45	52	71
	1㎡当たり利用者数 （人/㎡）	10.1	8.8	7.5	15.4	12.7	14.5
	// 偏差値	45	41	36	63	54	60
	稼働率（%） ※H24～H27年度の平均	89	70	56	96	100	100
	// 偏差値	53	41	32	56	59	59
偏差値の平均以上の数		1	0	0	2	3	3

注：耐震化の状況については、耐震化がされていれば「1」、されていなければ「0」としている。  
とらまるてびくろ体育館の面積はB1（261.768㎡）を含む。

表 体育館・武道館の評価結果

分類	施設名称	視点	評価の内訳		評価
引田SC	引田飛翔体育館	品質の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	3	C
		供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	1	
	引田体育館	品質の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	0	D
		供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	0	
	小海体育館	品質の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	3	C
		供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	0	
武道館	品質の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	3	A	
	供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	2		
白鳥SC	白鳥中央公園体育館	品質の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	3	A
		供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	3	
大内SC	とらまるてびくろ体育館	品質の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	3	A
		供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	3	

注：評価の内訳において、築年数の場合は、偏差値が50以下の数を計上している。

表 テニスコートの評価

分類	項目	引田スポーツセンター		白鳥スポーツセンター	大内スポーツセンター
		引田運動公園 テニスコート (人工芝)	引田テニスコート (クレー)	テニスコート (人工芝)	テニスコート (人工芝)
品質	建築年(和暦)	H4	S59	H4	H3
	築年数	24	32	24	25
	// 偏差値	43	67	43	46
	耐震化の状況				
	// 偏差値				
	健全度	2	2	2	2
	// 偏差値	50	50	50	50
偏差値の平均以上の数		2	1	2	2
供給	面積(m <sup>2</sup> )	2,595.30	1,625.40	2,900.00	4,766.88
	利用者数(人) ※H24~H27年度の 平均	4,809	1,631	5,248	8,725
	// 偏差値	49	36	51	64
	1m <sup>2</sup> 当たり利用者数 (人/m <sup>2</sup> )	1.9	1.0	1.8	1.8
	// 偏差値	58	33	55	55
	稼働率(%) ※H24~H27年度の 平均	77	35	88	85
	// 偏差値	53	33	58	56
偏差値の平均以上の数		2	0	3	3

表 テニスコートの評価結果

分類	施設名称	視点	評価の内訳		評価
引田SC	引田運動公園テニスコート (人工芝)	品質の視点	全2個の内、偏差値50以上の数	2	A
		供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	2	
	引田テニスコート (クレー)	品質の視点	全2個の内、偏差値50以上の数	1	D
		供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	0	
白鳥SC	テニスコート(人工芝)	品質の視点	全2個の内、偏差値50以上の数	2	A
		供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	3	
大内SC	テニスコート(人工芝)	品質の視点	全2個の内、偏差値50以上の数	2	A
		供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	3	

注：評価の内訳において、築年数の場合は、偏差値が50以下の数を計上している。

品質の視点において、偏差値50以上の数が1個の場合は、双方の偏差値の平均により判断する。

表 運動広場・野球場の評価

分類	項目	引田スポーツセンター		白鳥スポーツセンター	大内スポーツセンター	
		引田運動広場	引田野球場	グラウンド (多目的広場)	グラウンド (多目的広場)	大内野球場
品質	建築年(和暦)	S62	S59	H1	H6	S55
	築年数	29	32	27	22	36
	// 偏差値	50	56	45	35	64
	耐震化の状況					
	// 偏差値					
	健全度	1	2	2	1	2
	// 偏差値	38	58	58	38	58
偏差値の平均以上の数		1	1	2	1	1
供給	面積(m <sup>2</sup> )	6,057.00	10,759.28	16,500.00	16,592.00	10,637.00
	利用者数(人) ※H24~H27年度の平均	5,259	6,962	8,066	30,544	6,751
	// 偏差値	43	45	46	70	45
	1m <sup>2</sup> 当たり利用者数 (人/m <sup>2</sup> )	0.9	0.6	0.5	1.8	0.6
	// 偏差値	50	44	42	69	44
	稼働率(%) ※H24~H27年度の平均	52	82	54	44	60
	// 偏差値	45	68	47	39	51
偏差値の平均以上の数		1	1	0	2	1

表 運動広場・野球場の評価結果

分類	施設名称	視点	評価の内訳		評価
引田SC	引田運動広場	品質の視点	全2個の内、偏差値50以上の数	1	D
		供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	1	
	引田野球場	品質の視点	全2個の内、偏差値50以上の数	1	C
		供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	1	
白鳥SC	グラウンド (多目的広場)	品質の視点	全2個の内、偏差値50以上の数	2	C
		供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	0	
大内SC	グラウンド (多目的広場)	品質の視点	全2個の内、偏差値50以上の数	1	B
		供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	2	
	大内野球場	品質の視点	全2個の内、偏差値50以上の数	1	D
		供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	1	

注：評価の内訳において、築年数の場合は、偏差値が50以下の数を計上している。

品質の視点において、偏差値50以上の数が1個の場合は、双方の偏差値の平均により判断する。

表 ゲートボール場の評価

分類	項目	引田スポーツセンター	大内スポーツセンター
		ゲートボール場	ゲートボール場
品質	建築年（和暦）	H5	H4
	築年数	23	24
	// 偏差値	40	60
	耐震化の状況		
	// 偏差値		
	健全度	1	2
	// 偏差値	40	60
偏差値の平均以上の数		1	1
供給	面積（㎡）	1,120.00	1,004.00
	利用者数（人） ※H24～H27年度の平均	2,555	667
	// 偏差値	60	40
	1㎡当たり利用者数 （人/㎡）	2.3	0.7
	// 偏差値	60	40
	稼働率（%） ※H24～H27年度の平均	70	2
	// 偏差値	60	40
偏差値の平均以上の数		3	0

<引田スポーツセンターの利用状況等について>

- ・ 建築年は平成 5（1993）年 6 月である。
- ・ 自由に利用できる施設であるため、営業日数（365 日）、稼働日数（365 日）である。  
ただし、雨の日が年間 100 日程度あるので、7 割を乗じ稼働率  $100 \times 0.7 = 70\%$  とする。
- ・ 利用人数は、1 日に 10 人/日程度あるため、 $365 \text{ 日} \times 10 \text{ 人/日} \times 0.7 = 2,555 \text{ 人}$  とする。  
※なお、雨の日が年間 100 日程度あるので、7 割を乗じる。

表 ゲートボール場の評価結果

分類	施設名称	視点	評価の内訳		評価
			評価の内訳	数	
引田SC	ゲートボール場	品質の視点	全2個の内、偏差値50以上の数	1	A
		供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	3	
大内SC	ゲートボール場	品質の視点	全2個の内、偏差値50以上の数	1	C
		供給の視点	全3個の内、偏差値50以上の数	0	

注：評価の内訳において、築年数の場合は、偏差値が50以下の数を計上している。

品質の視点において、偏差値50以上の数が1個の場合は、双方の偏差値の平均により判断する。

## (2) 二次評価

一次評価では、定量的な偏差値を用いて相対的な評価を行うこととしています。しかしながら施設が1つしかない（温水プール等）場合は、評価ができず、また、評価しても全ての施設が平均以上という結果にはならず、いずれかの施設が平均以下となってしまう。そのため、一次評価を補完する目的で、定性的な二次評価を実施します。

また、施設によっては自由に利用できるため利用人数や稼働率が算出できない施設もあります。そのためにも定性的な二次評価を実施し、総合評価とすることとします。

表 社会体育施設等の評価項目（二次評価）

大項目	中項目	評価項目	備考
安全性	ハザードの状況	立地場所は浸水想定区域、災害危険区域等になっているか	建物の評価
機能性	バリアフリーの状況	バリアフリー化がされているか	機能・サービスの評価
利用性	利用の状況	利用が増える見込みはあるか	機能・サービスの評価
	他機能の状況	避難場所、避難所等の他の役割を担っているか	機能・サービスの評価
代替性	類似施設の状況	類似施設が市内、利用圏域内にあるか	機能・サービスの評価
	民間施設施設の状況	民間施設等で代替することができるか、民間のノウハウを活用できるか	機能・サービスの評価
拠点性	機能集積の状況	施設等が都市計画区域マスタープラン等における拠点内に立地しているか又は施設自体が都市計画区域マスタープラン等における拠点等に位置付けられているか	建物の評価 機能・サービスの評価

### 1) 安全性

主に以下のハザードについて確認したところ、津波浸水、河川（湊川）浸水、ため池浸水に対して、直接的に影響を受ける施設は存在しませんでした。

なお、土砂災害に関するハザードでは、小海体育館周辺の区域が、土砂災害警戒区域に指定されています。

表 ハザードに関する総括

区分	ハザードの内容	結果
津波浸水想定	・南海トラフ最大クラスの地震における津波による浸水想定 資料：東かがわ市津波ハザードマップ	区域対象外
河川浸水想定	・湊川流域での既往最大雨量における氾濫による浸水想定 ・平成16年の台風による浸水実績 資料：東かがわ市洪水ハザードマップ（湊川浸水想定区域図）	区域対象外
ため池浸水想定	・大規模な地震等により主要なため池の堤体が決壊した場合の浸水想定	区域対象外
土砂災害警戒区域等	・土砂災害警戒区域等 資料：香川県ホームページ、東かがわ市防災マップ	小海体育館 ※土砂災害警戒区域

※ハザードマップ等については、「参考資料5 ハザードマップ等」参照

## 2) 機能性

「バリアフリーの状況」については、「香川県福祉のまちづくり条例」に適合（適合証の発行）している施設は存在しません。なお、スロープの設置状況等について調査を行いました。

表 引田スポーツセンター施設のバリアフリーの状況

施設名	バリアフリーの状況
引田飛翔体育館	建物前面から玄関ポーチまでは段差があるが、スロープが整備されている。
引田体育館	建物前面から玄関ポーチまでは段差があるが、スロープが整備されていない。
小海体育館	建物前面から玄関ポーチまでは段差があるが、スロープが整備されている。
引田運動公園テニス場（人工芝）※付帯施設：クラブハウス	駐車場からクラブハウスまでは段差があるが、スロープが整備されている。
引田テニス場（クレー）	隣地に段差などが無く、特にバリアフリーに配慮した施設は無い。
引田運動広場	身体障がい者用トイレはあるが、トイレとグラウンドに高低差がある。
引田野球場	観覧席が存在するが、バリアフリーに配慮したスロープや座席がない。
温水プール	建物前面から玄関ポーチまでは段差があるが、スロープが整備されている。玄関、室内へは段差の少ない施設となっている。
パークゴルフ場	駐車場からコースまでの段差は少なく、特にバリアフリーに配慮した施設は無い。
武道館	建物前面から玄関ポーチまでは段差があるが、スロープが整備されている。建物内部の玄関框（かまち）に段差がある。
ゲートボール場	隣地に段差などが無く、特にバリアフリーに配慮した施設は無い。

表 白鳥スポーツセンター施設のバリアフリーの状況

施設名	バリアフリーの状況
白鳥中央公園体育館	建物床面も周辺地盤と同等レベルで、玄関前のロータリー部と玄関ポーチには段差が無い。
テニスコート（人工芝）※付帯施設：クラブハウス	クラブハウスは周囲との高低差が無い。観覧席が存在するが階段状となっており、バリアフリーに配慮したスロープや座席がない。
グラウンド（多目的広場）	特にバリアフリーに配慮した施設は無い。
親水公園	散策路は地形を生かした形状であるため、バリアフリーに配慮した構造にはなっていない。
野外ステージ・野外ステージドーム	施設自体に段差は無いが、当該施設にアクセスするまでの経路がバリアフリー対応になっていない。
バーベキュー棟・炊飯棟	バーベキュー棟には床が無いため、地盤面と同じ高さであるが、当該施設にアクセスするまでの経路が舗装されていないため、車椅子等での移動が困難である。炊飯棟の床面と地盤との間に15cm程度の高低差があるが、スロープが無い。
人工スキー場管理棟	建物は2階建てであるが、建物内にはEVが無い。
白鳥本町コミュニティセンター	建物東面から玄関ポーチまでは段差があるが、スロープが整備されていない。建物北面の入口は、周辺との段差は少ないが、駐車場から当該建物までの距離は長い。
しろとり研修センター	建物床面も周辺地盤と同等レベルで、玄関前の通路と玄関ポーチには段差が無い。

表 大内スポーツセンター施設のバリアフリーの状況

施設名	バリアフリーの状況
とらまるてびくろ体育館	建物前面から玄関ポーチまでは段差があるが、スロープが整備されている。駐車場から当該建物までの距離が長い。
テニスコート（人工芝） ※付帯施設：クラブハウス	クラブハウスにスロープや多目的トイレが無い。
グラウンド（多目的広場）	特にバリアフリーに配慮した施設は無い。
大内野球場	管理棟・トイレには多目的トイレが無い。 観覧席が存在するが、バリアフリーに配慮したスロープや座席がない。
ゲートボール場	特にバリアフリーに配慮した施設は無い。
キャンプ場管理棟	管理棟、浴室棟の前面には段差があるが、スロープが整備されていない。
キャンプ場浴室棟	建物は2階建てであるが、建物内にはEVが無い。
キャンプ場炊飯棟	駐車場から当該建物までのアクセス距離が長く、一部は砂利舗装となっている。
冒険の森（アスレチック）	地形を生かしたアスレチックコースのため、バリアフリー対応にはなっていない。
ファンシープラザ時計塔	建物は2階建てで、2階部は展望塔となっているが、階段構造である。 駐車場から当該建物までの距離が長い。
人形劇場とらまる座	建物前面の通路から玄関にかけて段差は無い。 ただし、駐車場から当該建物までの距離が長い。
ミニチュア児遊館	建物前面の通路から玄関にかけて段差は無い。 ただし、駐車場から当該建物までの距離が長い。
とらまる人形劇ミュージアム	建物床面も周辺地盤と同等レベルで、玄関前の通路と玄関ポーチには段差が無い。
とらまる図書館	建物と周辺地盤に高低差が大きくあるが、玄関前の通路と玄関ポーチには段差が無い。建物内部にはEV設備が備わっている。 駐車場からのアクセスに比較的急な勾配の斜路がある。

### 3) 利用性

#### ア 利用の状況

核施設の利用人数および利用人数の伸び率（H27/H24、H27/H26）は以下のとおりです。

H27/H24 及び H27/H26 の利用人数の伸び率が両方とも増加している施設は、引田スポーツセンターでは、引田運動公園テニス場（人工芝）、引田パークゴルフです。同様に、白鳥スポーツセンターでは、多目的広場、しろとり研修センターとなっており、大内スポーツセンターでは、とらまるてぶくろ体育館となっています。

表 引田スポーツセンター各施設利用人数及び伸び率

項目	利用人数（人）				利用人数の伸び率	
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	H27/H24	H27/H26
引田飛翔体育館	19,064	16,930	19,967	17,953	0.94	0.90
引田体育館	9,925	11,310	8,747	6,941	0.70	0.79
小海体育館	5,246	5,754	5,264	4,419	0.84	0.84
引田武道館	19,367	12,921	11,707	9,528	0.49	0.81
引田温水プール	43,222	40,988	41,575	41,330	0.96	0.99
引田運動公園テニス場（人工芝）	4,847	4,726	4,485	5,179	1.07	1.15
引田テニス場（クレー）	2,089	2,033	2,055	346	0.17	0.17
引田運動広場	5,823	6,499	4,401	4,311	0.74	0.98
引田野球場	7,783	7,209	7,290	5,564	0.71	0.76
引田パークゴルフ	15,345	18,534	18,835	22,025	1.44	1.17

表 白鳥スポーツセンター各施設利用人数及び伸び率

項目	利用人数（人）				利用人数の伸び率	
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	H27/H24	H27/H26
白鳥中央公園体育館	30,035	29,834	25,253	28,752	0.96	1.14
多目的広場	7,668	7,850	7,433	9,311	1.21	1.25
テニスコート	5,818	5,266	4,263	5,645	0.97	1.32
炊飯棟	1,850	1,393	1,728	1,653	0.89	0.96
しろとり研修センター	1,680	1,945	1,769	1,849	1.10	1.05

表 大内スポーツセンター各施設利用人数及び伸び率

項目	利用人数（人）				利用人数の伸び率	
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	H27/H24	H27/H26
とらまるてぶくろ体育館	72,167	67,715	64,784	72,378	1.00	1.12
とらまる公園多目的広場	39,558	28,012	25,887	28,718	0.73	1.11
とらまる公園テニスコート	11,797	5,833	7,304	9,966	0.84	1.36
とらまる公園ゲートボール場	268	0	1,264	1,137	4.24	0.90
とらまる公園キャンプ場	6,996	4,963	5,003	4,439	0.63	0.89
大内野球場	9,227	5,961	5,454	6,362	0.69	1.17

#### イ 他機能の状況

各スポーツセンターにおいて、定期的に利用されている行事等については、以下のとおりです。

引田運動公園テニス場、引田野球場、引田温水プール、引田武道館、白鳥中央公園体育館においては、ほぼ毎日の頻度で中学校の部活動の練習として利用されています。他にも各種大会や幼稚園等の遠足で利用されているほか、非常時の広域避難場所として、引田飛翔体育館、小海体育館、引田武道館、白鳥中央公園体育館、とらまるてぶくろ体育館、大内キャンプ場が指定されています。

表 社会体育施設等（市関係各課）の主な利用内容及び利用頻度

分類	施設名称	利用内容	利用頻度	所管課
引田スポーツセンター	引田飛翔体育館	運動会予行・運動会・親子体操（引田幼稚園）	年3回程度	子育て支援課
		中学校総合体育大会等のバスケット会場	年2～3回	学校教育課
		交流保育（平和保育所）	年1回	子育て支援課
		住民検診	年1回	保健課 健康づくりグループ
		ソフトバレーボール大会（東かがわ市子ども会育成連絡協議会行事）	年1回	生涯学習課
		広域避難場所	防災訓練時、災害発生時	総務課
	小海体育館	体操教室、縄跳び大会で使用（8、9月は運動会練習、当日も使用（小海保育所）	月2、3回程度（8、9月は月10回）	子育て支援課
		住民検診	年1回	保健課 健康づくりグループ
		広域避難場所	防災訓練時、災害発生時	総務課
	引田運動公園テニス場（人工芝）	引田中学校テニス部の練習	ほぼ毎日	学校教育課
	引田野球場	引田中学校野球部の練習	ほぼ毎日	学校教育課
		応急仮設住宅候補地	大災害発生時	総務課
	温水プール	各中学校水泳部の練習	ほぼ毎日	学校教育課
		介護予防水中トレーニング事業	月に2回	介護保険課
		各中学校の水泳授業	6～7月 週2～3回	学校教育課
4・5歳児プール遊びで使用（引田幼稚園） プール遊び交流（小海保育所） プール遊び交流（平和保育所）		6月中旬～7月下旬 年1回 年1回	子育て支援課	
武道館	引田中学校剣道部の練習	ほぼ毎日	学校教育課	
	広域避難場所	防災訓練時、災害発生時	総務課	
白鳥スポーツセンター	白鳥中央公園体育館	白鳥中学校バドミントン部の練習	ほぼ毎日	学校教育課
		障がい者スポーツ大会	年1回	福祉課
		本町小学校の避難訓練	年1回	学校教育課
		各選挙における開票事務会場	随時	総務課
		広域避難場所	防災訓練時、災害発生時	総務課
テニスコート（人工芝）	白鳥中学校テニス部の練習	大会前 数日	学校教育課	
グラウンド（多目的広場）	消防出初式	年1回	総務課	
	防災ヘリコプター場外離着陸場、応急仮設住宅候補地、災害時広域応援に係る部隊活動拠点（警察、消防、自衛隊）	大災害発生時	総務課	
大内スポーツセンター	とらまるてびくろ体育館	雨天時の運動会で使用（大内こども園） 雨天時の運動会で使用（丹生こども園）	年1回 年1回	子育て支援課
		大内小学校の避難訓練	年1回	学校教育課
		さぬき市・東かがわ市小学校のプラスバンド発表会	2年に1回	学校教育課
		広域避難場所	防災訓練時、災害発生時	総務課
		市庁舎が災害対策本部として使用できない場合の代替施設	大規模災害発生時	総務課
	テニスコート（人工芝）	大川中学校テニス部の練習	大会前 数日	学校教育課
	グラウンド（多目的広場）	ドッジボール大会（東かがわ市子ども会育成連絡協議会行事）	年1回	生涯学習課
		防災ヘリコプター場外離着陸場、応急仮設住宅候補地、災害時広域応援に係る部隊活動拠点（警察、消防、自衛隊）	大災害発生時	総務課
	大内野球場	防災ヘリコプター場外離着陸場、応急仮設住宅候補地、災害時広域応援に係る部隊活動拠点（警察、消防、自衛隊）	大災害発生時	総務課
	キャンプ場	広域避難場所	防災訓練時、災害発生時	総務課
とらまる公園体育館南側	消防団の消防操法訓練	毎年5月～9月	総務課	
とらまるパペットランド	遠足や園外保育に使用（大内こども園） 園外保育で使用（丹生こども園） 遠足で使用（福栄やまびこ園） 遠足で使用（白鳥幼稚園） 遠足で使用（湊保育所）	年数回 年数回 年1回 年2回 年1回	子育て支援課	
	各小学校の遠足	年1回	学校教育課	
とらまる公園	園外保育で使用（大内こども園）	年10回程度	子育て支援課	

資料：東かがわ市関係各課

4) 代替性

ア 近隣の類似施設の状況

隣接するさぬき市において、本市の各スポーツセンターに存在する体育館、野球場、テニスコート等と同様の施設の立地状況を調査した結果は、以下のとおりです。

なお、本市には引田スポーツセンター、大内スポーツセンター以外にもゲートボール場が存在しています。また、キャンプ場も白鳥スポーツセンター、大内スポーツセンター以外にも存在しています。

表 さぬき市における類似施設の状況

施設分類	所在場所	施設数	備考
野球場	さぬき市	4 施設	
多目的広場	さぬき市	9 施設	
プール	さぬき市	2 施設	
体育館	さぬき市	10 施設	東かがわ市：2 施設
武道館	さぬき市	3 施設	
テニスコート	さぬき市	4 施設	
ゲートボール場	さぬき市	3 施設	東かがわ市：1 施設
キャンプ場	さぬき市	2 施設	東かがわ市：4 施設
冒険遊具	さぬき市	1 施設	
グランドゴルフ場等	坂出市、まんのう町	2 施設	

※詳細は、「参考資料5 近隣の類似施設の状況」参照



図 さぬき市における類似施設の立地状況

イ 近隣の民間施設の状況

民間の施設では、主にスポーツジムやフィットネスクラブなどがあります。

表 主な民間施設（さぬき市）

施設名称	内容	場所
プロスパーサンダ SHIDO	プール、スタジオ	さぬき市志度 1421-100
クアタラソさぬき津田	トレーニングルーム、エアロビクススタジオ	さぬき市津田町鶴羽 24-2
さぬきスポーツジム	トレーニングマシン	さぬき市志度 555-2
鍛錬道場	トレーニングマシン	さぬき市志度 2186-1

資料：各ホームページ等

表 主な民間運営施設（高松市、鳴門市ほか）

施設名称	会社名等	備考
香川県総合運動公園（指定管理） スポーツセンターまんのう（PFI） 飯山総合運動公園（運営委託）	ミズノスポーツサービス株式会社	
コナミスポーツクラブ高松	株式会社コナミスポーツクラブ	プール、スタジオ、マシンジム
JOYFIT高松ほか	株式会社オカモト	スタジオ、マシンジム
カーブス屋島、カーブス三木ベルシティ、 カーブス鳴門	株式会社カーブスジャパン	マシンジム
フィットネスクラブまちけん 屋島店、藍住店ほか	株式会社象企画	プール、スタジオ等
ジャパンスイミングスクール 高松校、三木校ほか	—	
瀬戸内スイミングスクール 屋島校、木太校ほか	有限会社瀬戸内スイミング・スクール	
JSSスイミングスクール ※香川県高松市	株式会社ジェイエスエス	
フィンズスイミングスクール ※香川県高松市	株式会社エヌ・エス・アイ	
超腕ジム ※徳島県鳴門市	—	マシンジム
トレーニングフィールドタイタン ※徳島県鳴門市	—	体幹、ヨガなど
エーススイミングクラブ ※徳島県鳴門市	—	

資料：各ホームページ等

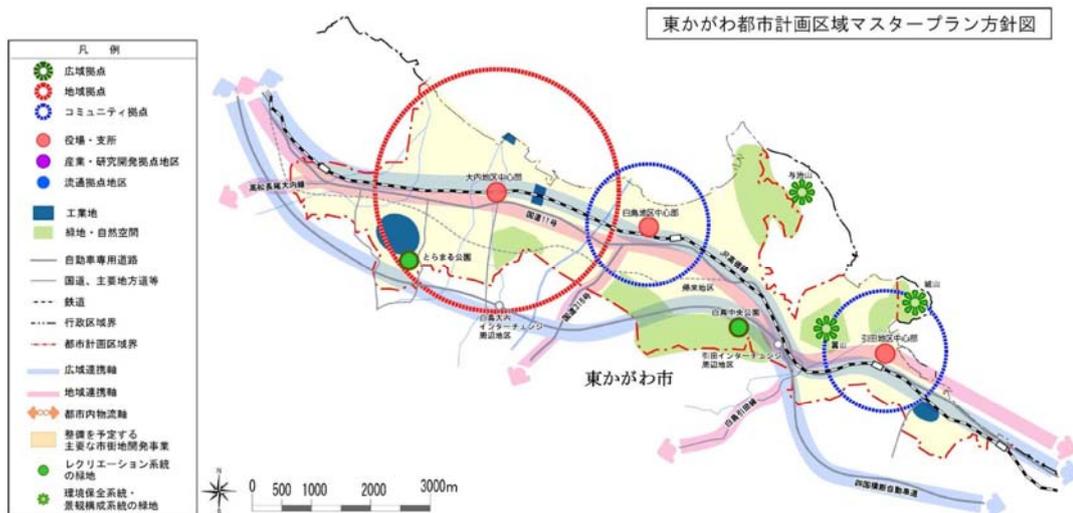
5) 拠点性

平成 24 年 10 月に香川県が定めた『東かがわ都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（東かがわ都市計画区域マスタープラン）』によると、将来の集約型都市構造を目指すうえで、大内地区中心部を「地域拠点」、白鳥地区中心部及び引田地区中心部を「コミュニティ拠点」と位置づけています。

また、主要な緑地の配置の方針においては、レクリエーション系統として、地区公園である白鳥中央公園は、住民ニーズなどを踏まえ、防犯にも配慮し整備を進め、適切な維持管理に努めることとしています。一方、総合公園である大内総合運動公園（とらまる公園）は、多様化するレクリエーション需要に対応するため、指定管理者制度や住民との協働を取り入れ、より柔軟な管理運営を行うこととしています。

表 各スポーツセンターの位置付け

区 分	都市計画上の位置づけ等	結 果
大内スポーツセンター	都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用を目的とする総合公園として都市計画決定を受けている。 また、地域拠点（大内地区中心部）のエリア内に位置している。	地域拠点内
白鳥スポーツセンター	徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする地区公園として都市計画決定を受けている。	拠点の対象外
引田スポーツセンター	都市公園の指定はない。	拠点の対象外



資料：『東かがわ都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（東かがわ都市計画区域マスタープラン）』（平成 24 年 10 月 香川県）

図 東かがわ都市計画区域マスタープラン方針図

(3) 総合評価

表 一次評価、二次評価の総括

項目	構造	付帯施設	建築年 (和暦)	築年数 ※2016年ま で	面積計 (㎡)	平均利用者数 (人) ※H24～H27 年度	1㎡当たり利用 者数 (人/㎡)	平均稼働率 (%) ※H24～H27 年度	一次評価			二次評価						
									(建物の評 価)	(機能サー ビスの評 価)	総合	安全性	機能性	利用性 (利用者の動向)	利用性 (他機能)	代替性	拠点性	
																		(建物の評価)
引田スポーツセンター	引田飛翔体育館	RC2F	1F ステージ(放送室)、会議室、トイレ 2F シャワー付き更衣室	H2	26	1,838.50	18,479	10	89	3	1	C	津波浸水、河川(湊川)浸水、ため池浸水、土砂災害警戒区域のハザードによる影響はない。	入口にスロープあり	利用人数は減少傾向にある	・運動会等の行事が開催されている。 ・広域避難場所に指定されている。	都市計画区域外に位置し、拠点区域外に立地している。	
	引田体育館	RC	トイレ、用具庫	S50	41	1,048.65	9,231	9	70	0	0	D		入口にスロープなし	利用人数は減少傾向にある	—		
	小海体育館	RC	調理実習室、会議室(和室)、器具庫、更衣室、トイレ、駐輪場	H4	24	691.13	5,171	7	56	3	0	C	土砂災害警戒区域に該当している。	入口にスロープあり	利用人数は減少傾向にある	・体操教室等の行事が開催されている。 ・広域避難場所に指定されている。		
	引田運動公園テニスコート(人工芝)	砂入り人工芝、4面	クラブハウス(木造平屋)163㎡	H4	24	2,595.30	4,809	2	77	2	2	A		クラブハウスへのスロープあり	利用人数は増加傾向にある	・中学校テニス部の練習でほぼ毎日使用されている。		
	引田テニスコート(クレー)	花崗土、2面	壁打ち、トイレ、倉庫	S59	32	1,625.40	1,631	1	35	1	0	D			利用人数は減少傾向にある	—		
	引田運動広場	花崗土、一部フェンスあり	倉庫、トイレ2	S62	29	6,057.00	5,259	1	52	1	1	D		身体障がい者用トイレとは段差がある	利用人数は減少傾向にある	—		
	引田野球場		観覧席、本部席、ダッグアウト、倉庫、放送設備、トイレ、夜間照明設備	S59	32	10,759.28	6,962	1	82	1	1	C	津波浸水、河川(湊川)浸水、ため池浸水、土砂災害警戒区域のハザードによる影響はない。	観覧席にスロープ等がない	利用人数は減少傾向にある	・中学校野球部の練習でほぼ毎日使用されている。 ・災害時の応急仮設住宅の候補地となっている。		
	温水プール(増設含む)	RC平屋	駐輪場	H8	20	1,294.82	41,779	32	100					入口にスロープあり	利用人数は減少傾向にある	・中学校水泳部の練習でほぼ毎日使用されている。		
	パークゴルフ場	天然芝張、18ホール	トイレ、レストハウス	H21	7	17,390.00	18,685	1	97						利用人数は増加傾向にある	—		
	武道館	RC2F	駐輪場	H5	23	869.41	13,381	15	96	3	2	A		入口にスロープあり 玄関横(かまち)に段差がある	利用人数は減少傾向にある	・中学校剣道部の練習でほぼ毎日使用されている。 ・広域避難場所に指定されている。		
ゲートボール場(クレー)	2面		H5	23	1,120.00	2,555	2	70	1	3	A			※利用人数不明	—	●さぬき市に存在する公共施設		
白鳥スポーツセンター	白鳥中央公園体育館	RC2F(一部鉄骨)	1F ステージ、トレーニングルーム、シャワー室、トイレ、更衣室 2F 会議室、放送室	H2	26	2,245.61	28,469	13	100	3	3	A		入口部に段差はない	平成26年から平成27年にかけては増加傾向にある	・中学校バドミントン部の練習でほぼ毎日使用されている。 ・広域避難場所に指定されている。	都市公園(地区公園)として整備されているが、拠点区域外に立地している。	
	テニスコート(人工芝)	全天候型砂入り人工芝、4面	クラブハウス(RC)109.53㎡	H4	24	2,900.00	5,248	2	88	2	3	A		観覧席にスロープ等がない	平成26年から平成27年にかけては増加傾向にある	・中学校テニス部の大会前の練習で使用されている。 ・災害時の応急仮設住宅の候補地等となっている。		
	グラウンド(多目的広場)	花崗土、照明塔鉄骨造り21.7㎡	バックネット、ダッグアウト	H1	27	16,500.00	8,066	0	54	2	0	C			利用人数は増加傾向にある	—		
	親水公園			H2	26	717.00									※利用人数不明	—		
	野外ステージ・野外ステージドーム			H5	23	352.99							津波浸水、河川(湊川)浸水、ため池浸水、土砂災害警戒区域のハザードによる影響はない。	施設へのアクセスがバリアフリーとなっていない	※利用人数不明	—		
	バーベキュー棟・炊飯棟			H5	23	200.36								施設へのアクセスがバリアフリーとなっていない	利用人数は減少傾向にある	—		
	人工スキー場管理棟	鉄骨		H6	22	252								建物2階へのエレベーターはない	稼働していない	—		
	しろとり研修センター			H15	13	266.20	1,811	7	42					入口部に段差はない	利用者は増加傾向にある	—		
白鳥本町コミュニティセンター			H8	20	243.00								北面入口部に段差はないが、施設までの距離が長い	利用者が限られており、平成25年から平成27年にかけて利用人数は横ばいである	—			
大内スポーツセンター	とらまるてびくろ体育館	RC2F	サブアリーナ	H3	25	4,775.49	69,261	15	100	3	3	A		入口部に段差はないが、施設までの距離が長い	利用人数は増加傾向にある	・雨天時の運動会等で利用されている。 ・広域避難場所に指定されている。	都市公園(総合公園)として整備されており、地域拠点(大内地区中心拠点)内に位置している。	
	テニスコート(人工芝)	全天候型砂入り人工芝、6面	クラブハウス(木造コンクリート平屋)121.62㎡	H3	25	4,766.88	8,725	2	85	2	3	A		クラブハウスへのスロープがない	平成26年から平成27年にかけては増加傾向にある	・中学校テニス部の大会前の練習で使用されている。		
	グラウンド(多目的広場)	花崗土	用具倉庫(鉄骨造)200㎡	H6	22	16,592.00	30,544	2	44	1	2	B			平成26年から平成27年にかけては増加傾向にある	・サッカー、イベント等に使用されている。 ・災害時の応急仮設住宅の候補地等となっている。		
	大内野球場		管理棟60㎡、バックネット、観覧席、ダッグアウト、夜間照明設備	S55	36	10,637.00	6,751	1	60	1	1	D		多目的トイレがない 観覧席にスロープ等がない	平成26年から平成27年にかけては増加傾向にある	・災害時の応急仮設住宅の候補地等となっている。		
	ゲートボール場(人工芝)	2面		H4	24	1,004.00	667	1	2	1	0	C	津波浸水、河川(湊川)浸水、ため池浸水、土砂災害警戒区域のハザードによる影響はない。		利用人数は減少傾向にある	—		
	キャンプ場管理棟			H5	23	375.34								入口にスロープはなく、建物2階へのエレベーターはない 施設までの距離が長い	利用人数は減少傾向にある	・広域避難場所に指定されている。		
	キャンプ場浴室棟			H5	23	36.10												
	キャンプ場炊飯棟			H5	23	26.25												
	キャンプ場計			H5	23	437.69	5,350	12	59							※利用人数不明		—
	冒険の森(アスレチック)			H5	23	4,251.90										※利用人数不明		—
	ファンシープラザ時計塔			H4	24	22.56										※利用人数不明		—
	人形劇場とらまる座			H4	24	997.22									入口部に段差はない	平成25年から平成27年にかけては増加傾向にある		・保育所等の選定で使用されている。
	ミニチュア児遊館			H4	24	472.90								入口部に段差はない	平成25年から平成27年にかけては増加傾向にある			
	とらまる人形劇ミュージアム			H15	13	960.00								入口部に段差はない	平成25年から平成27年にかけては減少傾向にある			
とらまる図書館			H4	24	1,004.48								エレベーターが設置されている	平成25年から平成27年にかけては減少傾向にある				
合計							292,830											

注：一次評価における建物の評価、機能・サービスの数値は、偏差値が50以上を示す項目の数である。

### 第3節 評価結果

総合評価を基に、「機能・サービス」「建物」からみた評価結果は以下のとおりです。

表 引田スポーツセンター

区分	施設名	機能・サービスの評価			建物の評価		
		現状維持	改善	休止・廃止	現状維持	改修・更新	廃止
引田スポーツセンター	引田飛翔体育館		○			○	
		とらまてびくろ体育館、白鳥中央公園体育館と比べると利用者数、稼働率は低いが、引田体育館、小海体育館と比べると利用者数、稼働率は高い。広域避難場所に指定されている。			外壁吹付けにチョーキングなど塗装面の劣化が見られる。一部に張られているタイルの浮きが見られる。		
	引田体育館			○		○	
		利用者数、稼働率ともに、とらまてびくろ体育館、白鳥中央公園体育館、引田飛翔体育館、武道館と比べると低い。			外壁吹付けのチョーキングや塗装の剥がれが見られる。庇端部などの劣化や樋のサビなど劣化・損傷部分が多く見られる。なお、体育館・武道館の中では、最も建築年が古く、耐震化ができていない。		
	武道館		○			○	
		利用者は減少傾向にあるものの、体育館と比べて1㎡当たりの利用者数、稼働率は高い。広域避難場所に指定されている。			外壁に軽微なクラックやチョーキング、塗装の剥がれが見られる。		
	小海体育館			○		○	
		利用者数、稼働率ともに、体育館・武道館の中では最も低い。広域避難場所に指定されている。			外壁吹付けのチョーキングや塗装の剥がれが見られる。土砂災害警戒区域内に立地している。		
	引田運動公園テニス場（人工芝） ※付帯施設：クラブハウス	○				○	
		白鳥スポーツセンター、大内スポーツセンターのテニスコートと比べると利用者数、稼働率は低いが、引田テニス場（クレー）と比べると利用者数、稼働率は高い。近年、利用者は増加傾向にある。			クラブハウスの軒天で塗装の退色や汚れが見られる。テニスコートは一部人工芝の補修を行っているが、目立った損傷見られず、比較的良好。		
引田テニス場（クレー）			○		○		
	利用者数、稼働率ともに、テニスコートの中では最も低い。			ナイター照明の定期的な修繕、更新及びグラウンドの除草などの手入れが必要。			
引田運動広場			○		○		
	利用者数、稼働率ともに、運動広場・野球場の中では低い。			主な工作物はナイター照明、防球フェンスでナイター照明の定期的な修繕、更新及びグラウンドの除草などの手入れが必要。			
引田野球場		○			○		
	利用者数は、運動広場と比べると少ないが、大内野球場と比べると多い。また、中学校の野球部の練習場として利用されており、稼働率は、運動広場・野球場の中では最も高い。			ダグアウト壁吹付け塗装の劣化が見られる。ナイター照明灯具、装柱金物の劣化が見られる。防球ネットの劣化損傷が見られる。(80m×2)			
温水プール		○			○		
	利用者数は、全施設の中でとらまてびくろ体育館に次いで多い。また、1㎡当たりの利用者数は全施設の中で最も多い。			外壁タイル部分に一部浮きが見られる。また、エフロが多く見られ、外壁の劣化が多く見られる。			
パークゴルフ場	○				○		
	稼働率も高く、利用者数は、近年増加傾向にある。			トイレ兼クラブハウスは新しい施設で、現状特に問題なし。天然芝のコースは日常的な手入れが施されており、良好な状態。			
ゲートボール場		○			○		
	利用者数、稼働率は推定値である。			二面の内、一面は雑草などが見られるため、定期的な除草が必要。			

表 白鳥スポーツセンター

区分	施設名	機能・サービスの評価			建物の評価		
		現状維持	改善	休止・廃止	現状維持	改修・更新	廃止
白鳥スポーツセンター	白鳥中央公園体育館		○			○	
		利用者数は、とらまるてびくろ体育館に次いで多い。稼働率も、とらまるてびくろ体育館、武道館に次いで高い。広域避難場所に指定されている。			現時点では特に目立った損傷は見られないものの、タイル張り面積が多く、高所での使用もあり、今後タイルの浮きや剥離が考えられる。屋根付近のハイサイドライト付近からの雨漏りも見られる。		
	テニスコート (人工芝) ※付帯施設：クラブハウス		○			○	
		利用者は、大内スポーツセンターのテニスコートに次いで多く、稼働率は類似施設の中では高い。			クラブハウス外壁は一部で浮きが見られた。		
	グラウンド (多目的広場)		○			○	
		利用者は、大内スポーツセンターのグラウンドに次いで多い。しかし、稼働率は類似施設の中では低い。			バックネット支柱にサビが見られる。		
	親水公園		○			○	
		利用人数等が不明			高速道路の工事の関係で、利用されていない状態。		
	野外ステージ・野外 ステージドーム			○	○		
		利用人数等が不明			屋根膜材及び躯体鉄骨は状態がよく、健全である。床・基礎部のタイルに一部欠けが見られる。		
バーベキュー棟・炊飯棟			○		○		
	利用者数は、他の施設と比べて多くなく、減少傾向にある。			木部に経年による劣化、退色が見られる。			
人工スキー場管理棟			○		○		
	現在、人工スキー場は、使用中止となっている。			外壁木部の退色や、劣化、損傷が目立つ。			
白鳥本町コミュニ ティセンター			○	○			
	駐車場からの動線も遠く、利用がしづらい。利用者が限られており、平成25年から平成27年にかけて利用人数は横ばいである			屋外屋根付き施設の柱鉄骨部にサビが見られる。			
しろとり研修セン ター		○		○			
	利用者数は他の施設と比べて多くないが、増加傾向にある。			現時点では特に目立った損傷は見られなかった。			

表 大内スポーツセンター

区分	施設名	機能・サービスの評価			建物の評価		
		現状維持	改善	休止・廃止	現状維持	改修・更新	廃止
大内スポーツセンター	とらまるてびくろ体育館	○				○	
		体育館・武道館の中では、利用者数、稼働率ともに最も高い。近年、利用者数は増加傾向にある。広域避難場所に指定されている。			外部で一部コンクリート爆裂が見られる。カーテンウォールのガラス面の汚れが目立つ。外壁コンクリートの劣化部の補修を検討。		
	テニスコート（人工芝） ※付帯施設：クラブハウス	○				○	
		テニスコートの中では、利用者数が最も多く、稼働率も高い。近年、利用者数は増加傾向にある。			コート人工芝の状態は良好。クラブハウスの外壁の塗装劣化やデッキ部分の木部の劣化が見られる。		
	グラウンド（多目的広場）		○		○		
		利用者数は、運動広場・野球場の中で最も多いが、稼働率は最も低い。					
	大内野球場			○		○	
		利用者数、稼働率ともに、運動広場・野球場の中では低い。			管理棟・トイレは比較的良好。本部席棟は腰壁コンクリート部のクリアー塗装の劣化剥がれが見られる。鉄部塗装のチョーキングや退色も見られる。フェンス、ナイター照明、防球ネットは比較的良好。		
	ゲートボール場			○		○	
		利用者数、稼働率ともに低い。			舗装面の磨耗が少ないため比較的良好な状態。		
	キャンプ場管理棟・浴室棟・炊飯棟		○		○		
		キャンプ場は、広域避難場所に指定されている。			管理棟、浴室棟は、外壁木部の塗装の改修済み。炊飯棟は、柱・張りの鉄部にサビが見られる。		
	冒険の森（アスレチック）		○			○	
		利用人数等が不明			木部の劣化が見られる。一部使用禁止とする施設が見られる。		
ファンシーブラザ時計塔		○		○			
	利用人数等が不明			屋根小屋組みは改修済み。外壁は特に問題なし。			
人形劇場とらまる座		○			○		
	H25～H27の平均利用者数は、12,619人			外壁吹付けのチョーキング、退色が見られる。木部の保護塗料の退色、劣化が見られる。			
ミニチュア児遊館		○			○		
	H25～H27の平均利用者数は、19,798人			外壁吹付け部のチョーキング、クラックが見られる。タラップや樋金物等の非構造部材の劣化が見られる。			
とらまる人形劇ミュージアム		○			○		
	H25～H27の平均利用者数は、8,648人			外壁吹付け材のチョーキングが見られる。パネルジョイントのコーキング部分から塗装の剥がれが見られる。			
とらまる図書館		○			○		
	H25～H27の平均利用者数は、17,880人			外壁コンクリート打放し面の雨だれによる汚れや、コンクリート面の劣化が見られる。内部においても雨漏れの後が見られる。			

なお、「東かがわ市社会体育施設等整備構想」における整備方針は、以下のとおりです。

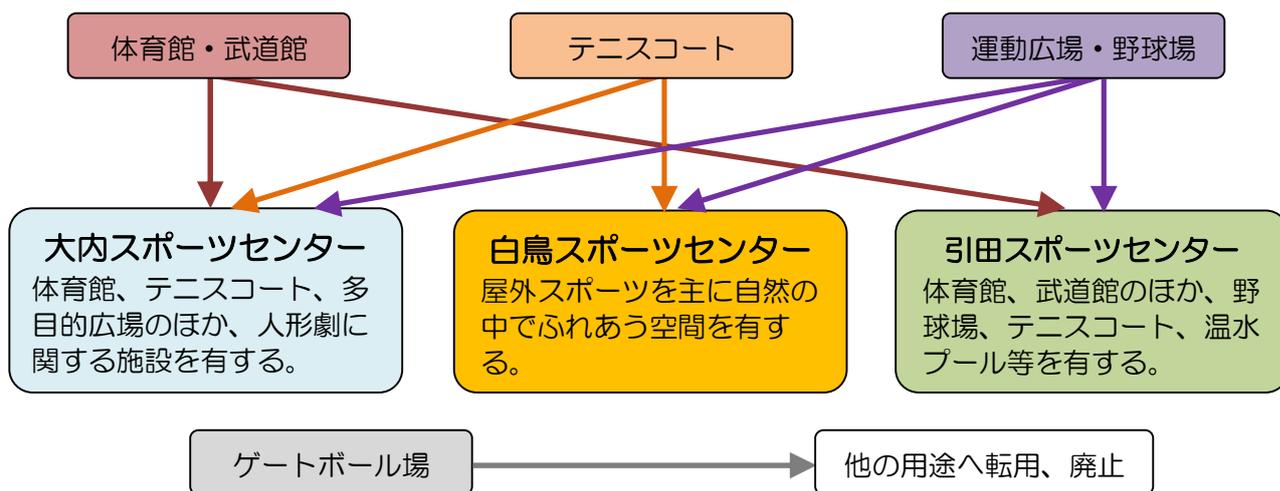
表 整備方針、整備内容（東かがわ市社会体育施設等整備構想）

区分	施設名	東かがわ市社会体育施設等整備構想	
		整備方針	整備内容
引田スポーツセンター	引田飛翔体育館	3施設を統合し、機能を充実させ建替	LED照明化、フットサル使用可
	引田体育館		
	武道館		
	小海体育館	管理除外	コミュニティ施設として利用
	引田運動公園テニスコート（人工芝） ※付帯施設：クラブハウス	廃止	
	引田テニスコート（クレー）	継続	中学校部活動として利用、照明の撤去
	引田運動広場	廃止	
	引田野球場	改修	芝生化、LED照明化、観客席設置、硬式にも対応
	温水プール	建替	
	パークゴルフ場	増設	コースの増設（27ホール化）
	ゲートボール場	廃止	
白鳥スポーツセンター	白鳥中央公園体育館	廃止	グラウンドに転用
	テニスコート（人工芝） ※付帯施設：クラブハウス	継続	4面増設、クラブハウスは廃止
	グラウンド（多目的広場）	改修	
	親水公園	再利用	親水公園から用途変更（散策休憩ゾーン等）
	野外ステージ・野外ステージドーム	廃止	
	バーベキュー棟・炊飯棟	廃止	
	人工スキー場管理棟	廃止	廃止の際に一定の条件あり
	白鳥本町コミュニティセンター	廃止	
	しろとり研修センター	改修	テニスクラブハウスとして改修後再利用
大内スポーツセンター	とらまるてびくろ体育館	建替	観客席の設置、空調設備、雨天時のジョギング路の設置
	テニスコート（人工芝） ※付帯施設：クラブハウス	改修	8面を新規格として整備、観客席の設置 （体育館規模拡大による白鳥SCへ集約の検討も必要）
	グラウンド（多目的広場）	継続	防球ネット、照明設備設置
	大内野球場	廃止	
	ゲートボール場	廃止	
	キャンプ場管理棟	改修	
	キャンプ場浴室棟	改修	
	キャンプ場炊飯棟	改修	雨天時も利用可能な屋根
	冒険の森（アスレチック）	改修	公園からの動線を考えた施設

## 第5章 社会体育施設等マネジメント計画

### 第1節 最適化に向けた考え方

各スポーツセンターが有する「体育館・武道館」「テニスコート」「運動広場・野球場」については、利用状況等を考慮し、できるだけ同種の機能の集約化を図ることとします。なお、ゲートボール場は、他の用途への転用等を検討します。



体育館・武道館の再編の考え方

体育館・武道館の年平均利用者数（H24～H27の平均）の合計は、143,992人で、延床面積の合計は11,468.79㎡となっています。

社人研による本市の将来人口推計では、2025年の人口は2015年と比較して約15%減少すると想定されていることから、10年後の体育館・武道館の利用者も同様に15%程度減少すると考えると

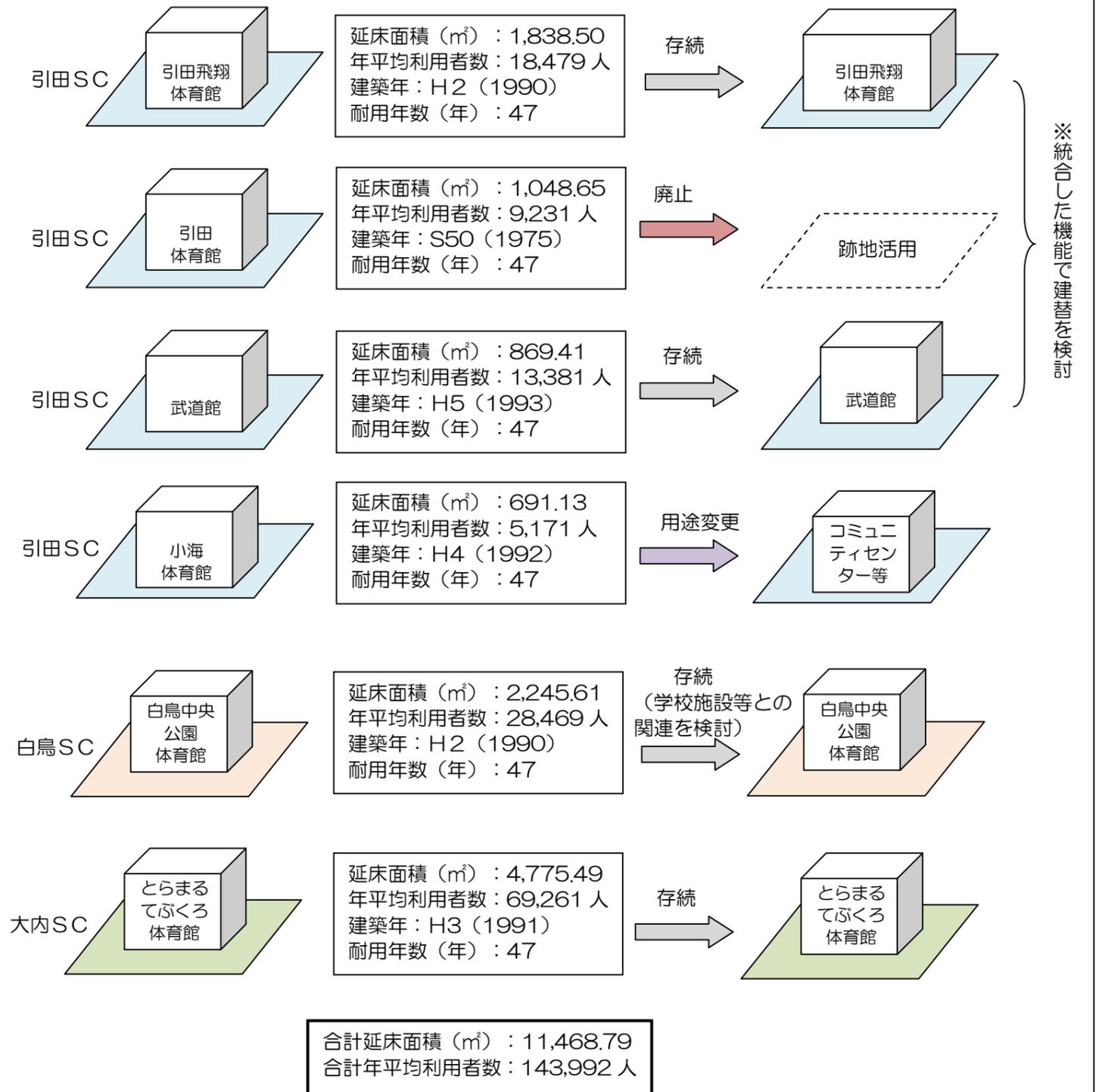
143,992人×0.15=21,599人の利用者数の減少が見込まれます。

このことから、利用者数が少なく、稼働率が低い小海体育館（5,171人）や築41年を過ぎ利用者数が少なく、稼働率が低い引田体育館（9,231人）を引田飛翔体育館に集約させることとします。その際に隣接して存在する武道館も機能を集約させることとします。

なお、小海体育館は、土砂災害警戒区域に立地していますが、防災対策が実施された場合には、コミュニティセンター等への転用を図ることとします。

また、白鳥中央体公園育館については、利用者数、稼働率ともに高い施設ですが、将来の学校の再編と併せて、生徒以外の一般の人でも利用できる施設として、学校施設等との関連を検討します。

なお、体育館内にあるトレーニングルームについては、とらまるてぶくろ体育館等への集約を検討します。



注：耐用年数は、財務省令「建築焼却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）による。

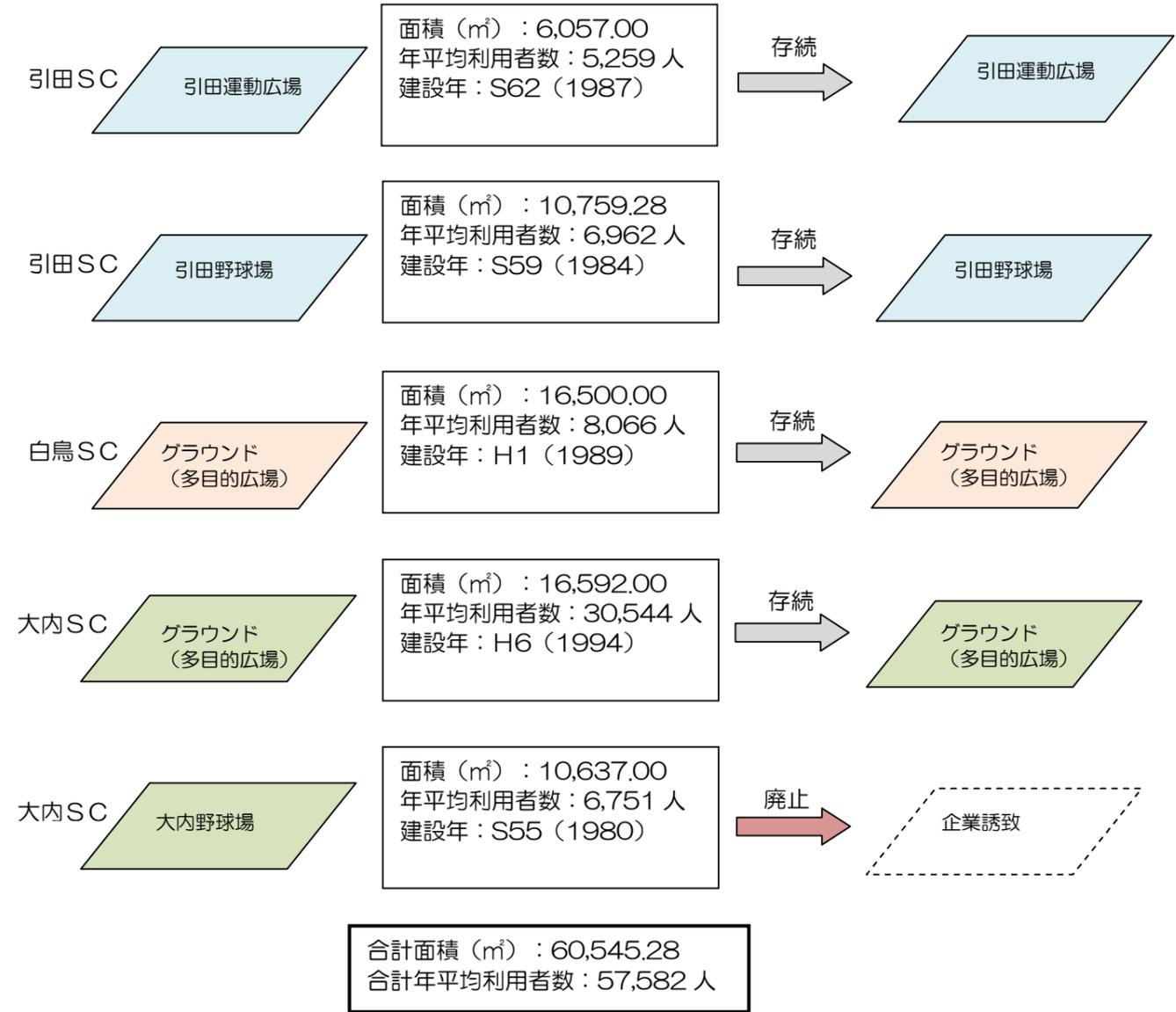
運動広場・野球場の再編の考え方

運動広場・野球場の年平均利用者数（H24～H27の平均）の合計は、57,582人で、施設面積の合計は60,545.28㎡となっています。

社人研による本市の将来人口推計では、2025年の人口は2015年と比較して約15%減少すると想定されていることから、10年後の運動広場・野球場の利用者も同様に15%程度減少すると考えると

$57,582 \text{ 人} \times 0.15 = 8,637 \text{ 人}$ の利用者数の減少が見込まれます。

このことから、大内野球場が企業誘致により廃止することとなり、他の施設を存続することとします。



テニスコートの再編の考え方

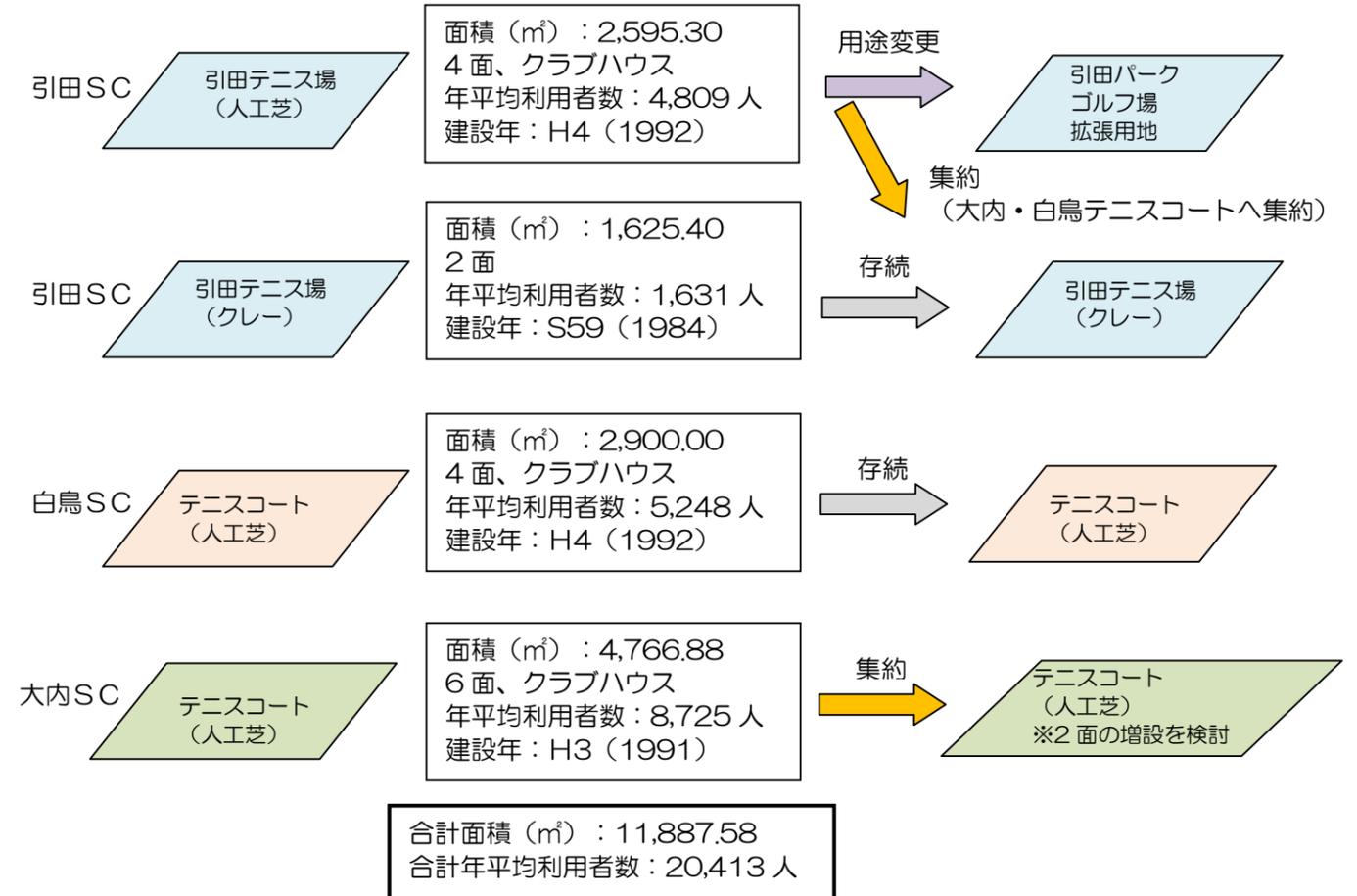
テニスコートの年平均利用者数（H24～H27の平均）の合計は、20,413人で、施設面積の合計は11,887.58㎡となっています。

社人研による本市の将来人口推計では、2025年の人口は2015年と比較して約15%減少すると想定されていることから、10年後のテニスコートの利用者も同様に15%程度減少すると考えられます。

20,413人×0.15=3,062人の利用者数の減少が見込まれます。

このことから、利用者が多く、稼働率の高い大内スポーツセンターテニスコート（人工芝）及び白鳥スポーツセンターテニスコート（人工芝）に機能を集約させるとともに、大内スポーツセンターテニスコート（人工芝）においては、今後の大会等の開催を想定して8面のテニス場として拡張整備を検討します。

なお、引田スポーツセンターに存在する2種類（人工芝、クレー）のテニス場の今後の利活用については、人工芝をパークゴルフ場の拡張用地とし、クレーを中学校テニス部の練習場としての利用を検討します。

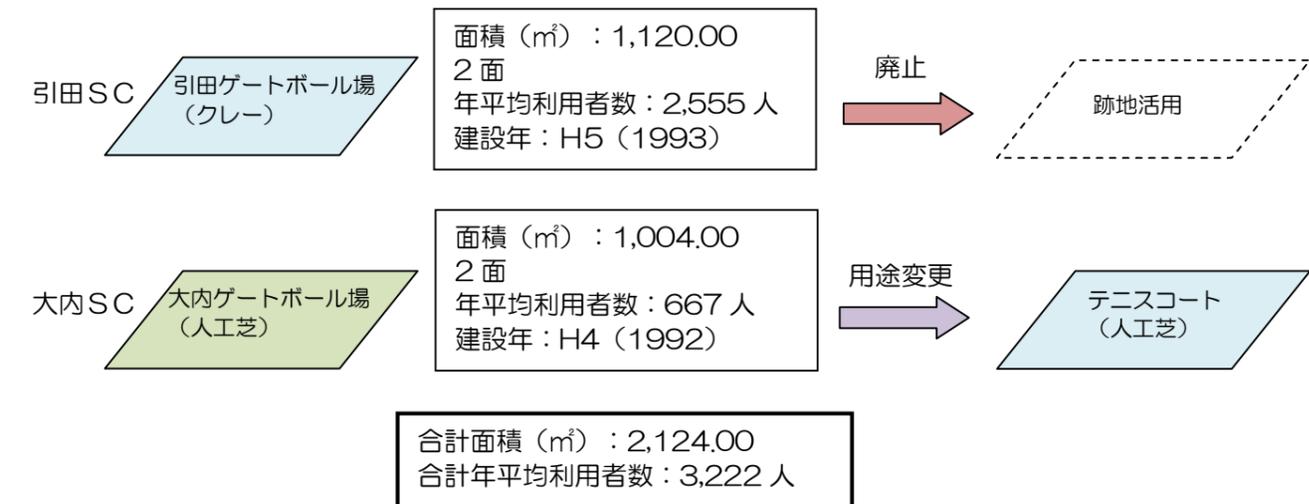


ゲートボール場の再編の考え方

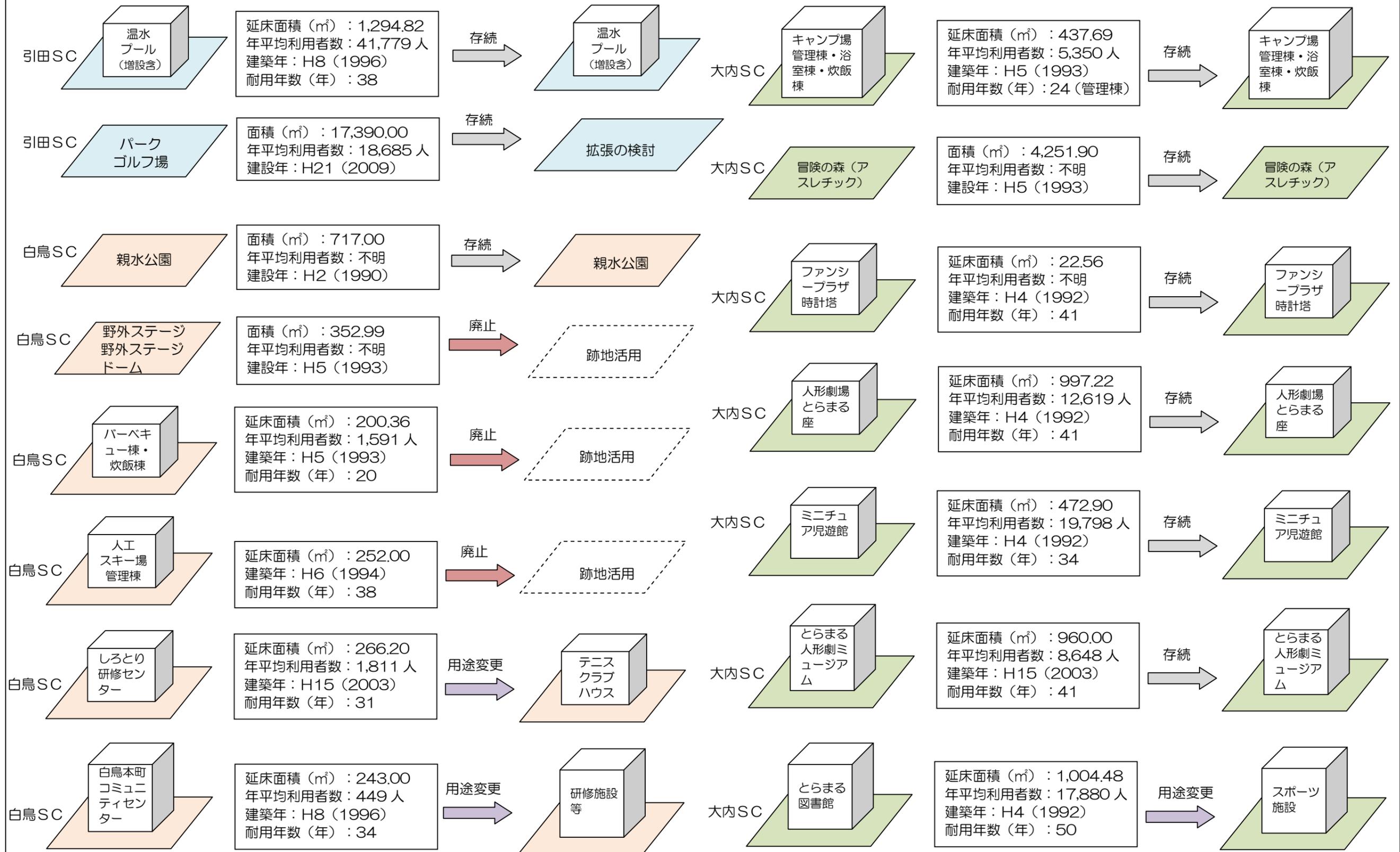
ゲートボール場の想定年平均利用者数（H24～H27の平均）の合計は、3,222人で、施設面積の合計は2,124.00㎡となっています。

社人研による本市の将来人口推計では、2025年の人口は2015年と比較して約15%減少すると想定されていますが、ゲートボール場の主な利用者層と考えられる65歳以上の人口は、5%程度の減少にとどまると想定されています。

しかしながら、利用状況等を勘案し、引田ゲートボール場は廃止することとし、大内ゲートボール場は、テニスコートの増設地として利用することを検討します。



その他の施設の再編の考え方



注：耐用年数は、財務省令「建築焼却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和 40 年大蔵省令第 15 号）による。

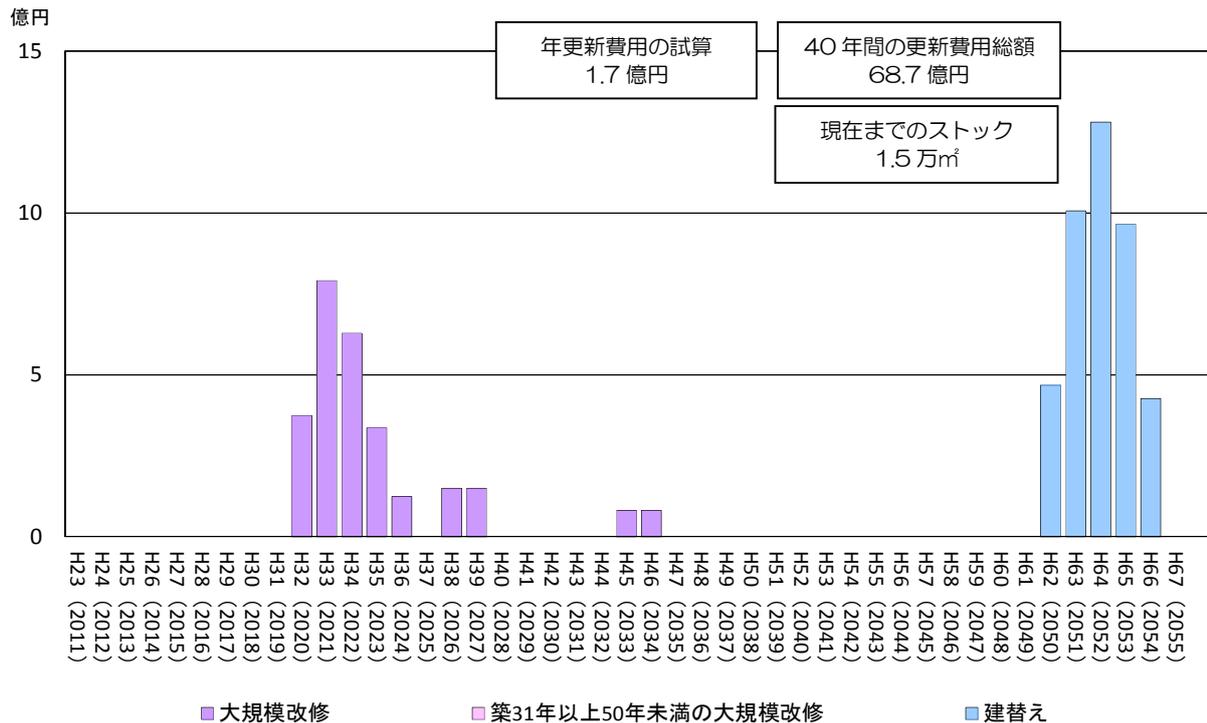
表 マネジメント基本計画における再編方針、整備の方向性

区分	施設名	再編方針	整備の方向性	
			前期 (H29~H33)	後期 (H34~H38)
引田スポーツセンター	引田飛翔体育館	存続		3施設を統合した機能で建替えを検討
	引田体育館	廃止	取壊し(耐震未了)	
	武道館	存続		
	小海体育館	用途変更		コミュニティ施設として用途変更
	引田運動公園テニスコート(人工芝) ※付帯施設:クラブハウス	用途変更	パークゴルフ場拡張用地として用途変更を検討	
	引田テニスコート(クレー)	存続		
	引田運動広場	存続		
	引田野球場	存続	ネット嵩上げ改修	照明・観客席等整備の検討
	温水プール	存続	建替えを検討	
	パークゴルフ場	存続	コース増設を検討	
	ゲートボール場	廃止	利用者と調整し廃止	
白鳥スポーツセンター	白鳥中央公園体育館	存続	学校施設等との関連を検討	
	テニスコート(人工芝) ※付帯施設:クラブハウス	存続		
	グラウンド(多目的広場)	存続		
	親水公園	存続		
	野外ステージ・野外ステージドーム	廃止		
	バーベキュー棟・炊飯棟	廃止		
	人工スキー場管理棟	廃止		
	白鳥本町コミュニティセンター	用途変更	研修施設等へ用途変更	
	しろとり研修センター	用途変更	テニスコートクラブハウスへ用途変更を検討	
大内スポーツセンター	とらまるてぶくろ体育館	存続	施設改修を実施(衛生設備)	
	テニスコート(人工芝) ※付帯施設:クラブハウス	存続	拡張を検討	
	グラウンド(多目的広場)	存続	防球ネット、照明設備整備	
	大内野球場	廃止	企業誘致用地として売却	
	ゲートボール場	用途変更	テニスコート拡張用地として用途変更	
	キャンプ場管理棟	存続	施設改修を実施	
	キャンプ場浴室棟	存続	施設改修を実施	
	キャンプ場炊飯棟	存続		
	冒険の森(アスレチック)	存続	老朽遊具の撤去及び再整備について検討	
とらまる図書館	用途変更	スポーツ施設への転用を検討		

## 第2節 更新費用等の算出

先述のとおり建物の廃止、集約等によって、40年間の更新費用が81.8億円（2章3節（3）社会体育施設等の将来見通しを参照）と想定されていたものが、68.7億円までに減少することとなり、年間の更新費用も約2.0億円から約1.7億円となります。ただし、総務省公共施設等更新費用試算ソフトにおける更新時期、更新費用は、建物の構造には関係なく、一律となっていることから、建物の用途、構造に応じた耐用年数を考慮したシミュレーションの検討などが望まれます。

※耐用年数については、「参考資料7 施設の用途別、構造別耐用年数」参照



注：廃止と用途変更の施設を除く費用。ただし、用途変更の施設の内、しろとり研修センター、とらまる図書館については、スポーツ施設として再利用するため、本計算には含まれる。

資料：総務省公共施設等更新費用試算ソフト ver.2.10 を用いて算定

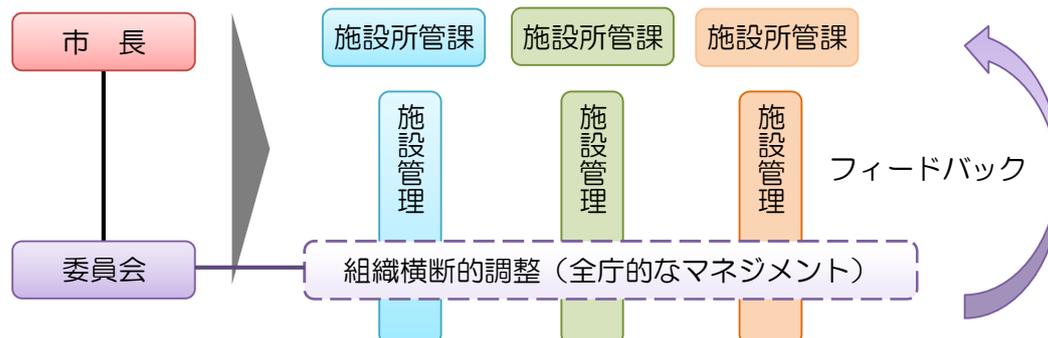
図 廃止を考慮した場合の社会体育施設等の将来更新費用

## 第6章 マネジメントに向けた仕組みづくり

### 第1節 マネジメントの仕組み

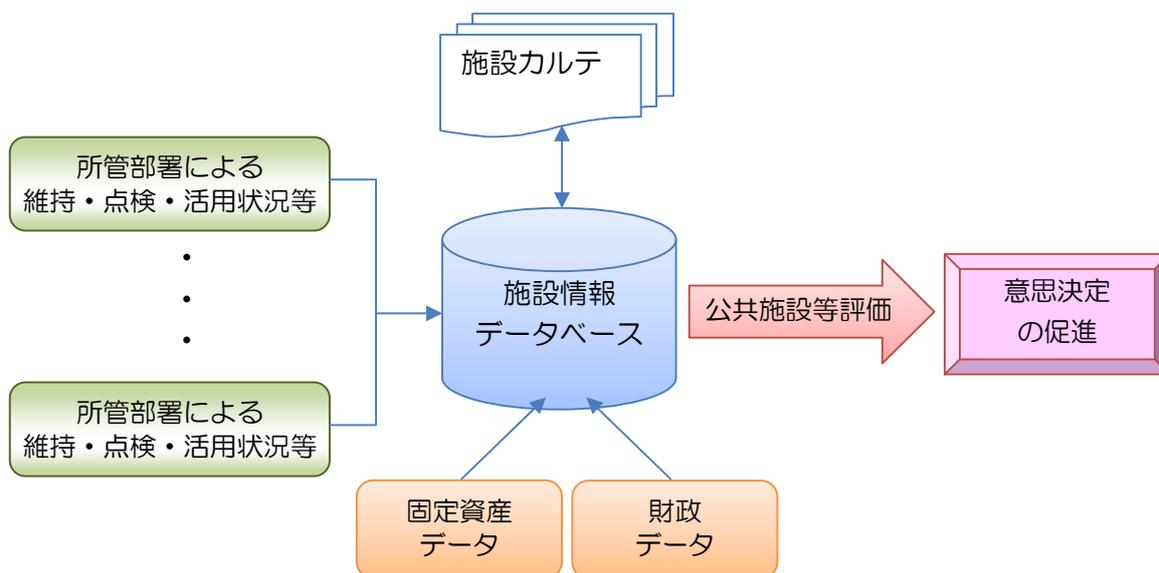
#### (1) 全庁的な取組体制の構築

今後、本計画と同様な施設分類毎の基本計画が策定されることが考えられます。削減量や削減の時期等は、全庁的な視点に基づき、設定していく必要があります。そのため、庁内各課の調整を緊密に図りながら、公共施設等全体に対する継続的なマネジメントを行います。



#### (2) 情報管理・共有方策

公共施設等のマネジメントを効果的に実施していくために、建築物の点検・診断結果の情報など、関係各部署に散在するデータをそれぞれの部門から収集するとともに、施設情報データベースとして一元管理し、固定資産データ及び財政データとも連携して全庁的な意思決定を促すための共通の情報として利用していきます。



### (3) 方針・手順の明確化

全庁的な視点で施設再編の方針を設定するために必要となる基礎データは、統一された考えに基づき整理されることが必要です。

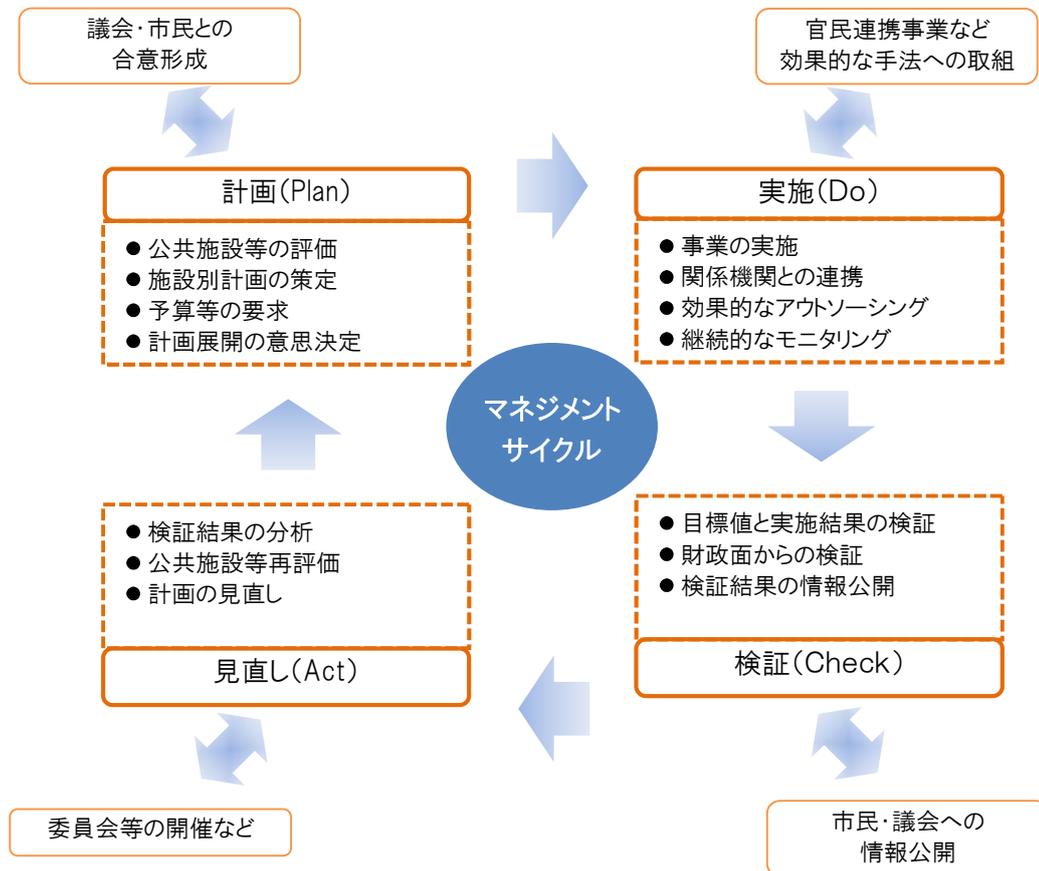
そのため、建築物の点検に際しては、調査項目の統一や調査結果に基づく老朽度等の判定が大きく異ならないようにすることが必要です。

また、建築物の評価においても、評価手法や評価項目については、建築物毎に異なるのではなく、同様の視点で評価が出来るようにします。

さらには点検調査、データの更新、評価等の実施時期など、これらの手順についても明確にします。

### (4) マネジメントサイクルの構築

本計画では、以下に示すマネジメントサイクルを形成し、市民への理解や意向の把握に努め、市民との協働で公共施設等の総量縮減を含む再配置等を進めます。



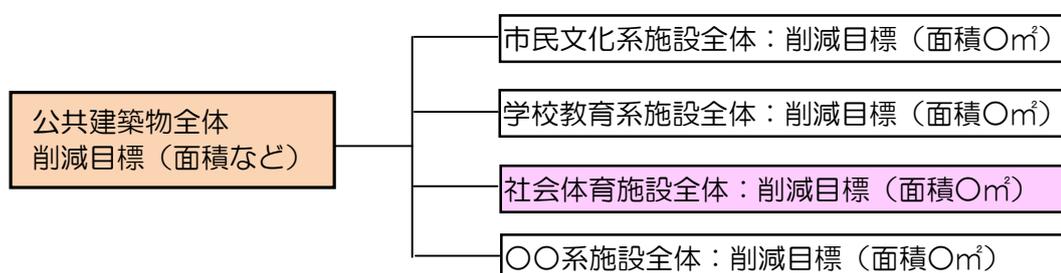
## 第2節 今後に向けての課題

### (1) 目標設定

グラウンド、テニスコート等の面的な体育施設を除いた建物系による今回の再編方針に基づいた更新費用シミュレーション結果によると、年間2.0億円であったものが、約1.7億円程度になるとの試算結果となりました。

しかしながら、社会体育施設等だけを対象とした更新費用等の削減検討結果であることから、全公共施設を見渡した場合に削減額が妥当であるかの判断が難しい状況です。

このため、市全体における削減額や施設延床面積等の削減目標を設定し、さらにそれを踏まえて施設分類ごとに削減目標、再編の方針、再編時期等を設定した計画等を策定することが必要です。



### (2) 評価の精緻化

本計画の一次評価における「供給・財務の視点」については、1㎡当たり市負担額、利用者1人当たりの市負担額による「財務の視点」の評価が実施できていない状況です。

今後、これらの数値を計測し、コスト面による評価を実施し、現在の施設再編の方針を再度、確認することが必要です。

また、今回整備した「施設カルテ」に記載される利用人数、稼働率、支出合計、収入合計等の数値を利用して、容易に一次評価が算出できる仕組みづくりが必要です。

# 参 考 资 料

## 1 引田・白鳥・大内スポーツセンターの料金体系

表 引田スポーツセンターの施設利用料金体系

施設	区分	単位	8:30~22:00		備考	
			市内	市外		
引田飛翔体育館	全面	1時間	市内	1,000円		
			市外	2,000円		
引田体育館	全面	1時間	市内	1,000円		
			市外	2,000円		
引田武道館	柔道場	1時間	市内	1,000円		
			市外	2,000円		
	剣道場 空手場	1時間	市内	1,000円		
			市外	2,000円		
小海体育館	体育館	1時間	市内	1,000円		
			市外	2,000円		
	和室	1時間	市内	無料		利用申請が必要
			市外	500円		
	調理室	1時間	市内	無料		利用申請が必要
			市外	500円		
引田野球場	グラウンド	1時間	市内	1,000円		
			市外	2,000円		
	夜間照明	1時間	市内	2,500円		
			市外	5,000円		
引田運動公園テニス場	コート (1面)	1時間	市内	500円		
市外			1,000円			
引田テニス場	夜間照明 (1面)	始めの1時間	市内	1,000円		
		以後1時間超過ごとに		500円		
		1時間	市外	2,000円		
引田運動広場	全面	1時間	市内	1,000円		
			市外	2,000円		

資料：東かがわ市体育施設設置条例  
(平成29年3月31日現在)

表 引田温水プール利用料金体系

区分	基本利用料金	回数券利用料金	継続利用料金
一般	400円	4,000円	6,400円
65歳以上	200円	2,000円	3,200円
中・高生	300円	3,000円	4,800円
小学生	250円	2,500円	4,000円
幼児	150円	1,500円	2,400円
3歳未満	無料		

資料：東かがわ市体育施設設置条例  
(平成29年3月31日現在)

表 引田パークゴルフ利用料金体系

区分	個人利用（1日利用）	備考
一般	300円	
高校生以下	150円	
レンタル	100円	ボール・クラブ
区分	年間利用	備考
一般	3,000円	
夫婦	5,000円	
高校生以下	2,000円	

資料：東かがわ市体育施設設置条例  
（平成 29 年 3 月 31 日現在）

表 白鳥スポーツセンターの施設利用料金体系

施設	区分	単位	利用料金		備考
多目的広場	野球	1時間	市内者	1,000円	※
			市外者	2,000円	
	ソフトボール サッカー	1時間 (1面)	市内者	500円	
			市外者	1,000円	
夜間照明施設	1時間	野球	3,000円		
	1時間 (1面)	ソフトボール サッカー	1,300円		
体育館	競技場	1時間 (全面)	市内者	1,000円	※
			市外者	2,000円	
		1時間 (半面)	市内者	500円	
			市外者	1,000円	
テニスコート	コート	1時間	1面	500円 (壁打ちは無料)	※
	夜間照明施設	1時間	1面	1,000円 (以後1時間を 経過するごとに 500円を加算)	
炊飯棟		1回	30人以下	1,000円	※
		1回	31人以上	2,000円	
トレーニングルーム	専用使用の場合（10人以上）		1時間につき	2,000円	※
	専用使用で ない場合	一般	1人につき1回	200円	
			1人につき1月	1,600円	
			1人につき3月	4,000円	
		生徒及び障がい者	1人につき1回	100円	
			1人につき1月	800円	
	1人につき3月	2,000円			

※第3条第1項に掲げる許可を受けたものについては、市外者の5倍の利用料金を徴収する。

資料：東かがわ市都市公園条例  
（平成 29 年 3 月 31 日現在）

表 大内スポーツセンターの施設利用料金体系（その1）

施設	区分		単位	利用料金		備考	
多目的広場			1時間	市内者	2,000円	※	
				市外者	4,000円		
体育館	第1競技場	アマチュアスポーツの場合	1時間 (全面)	入場料を徴収する場合	8,970円		
				入場料を徴収しない場合	2,990円		
			1時間 (半面)	入場料を徴収しない場合	1,500円		
		アマチュアスポーツ以外の場合	1時間 (全面)	入場料を徴収する場合	35,880円		
				入場料を徴収しない場合	8,970円		
			1時間 (半面)	入場料を徴収しない場合	4,500円		
	第2競技場	専用使用の場合	アマチュアスポーツの場合	1時間	入場料を徴収する場合	1,770円	
					入場料を徴収しない場合	590円	
		アマチュアスポーツ以外の場合	1時間	入場料を徴収する場合	7,080円		
				入場料を徴収しない場合	1,770円		
	専用使用でない場合	一般	1人につき1回	170円			
			生徒又は障がい者	1人につき1回	120円		
	トレーニングルーム	専用使用の場合（10人以上）		1時間につき	2,000円		
		専用使用でない場合	一般	1人につき1回	200円		
				1人につき1月	1,600円		
				1人につき3月	4,000円		
生徒及び障がい者			1人につき1回	100円			
			1人につき1月	800円			
			1人につき3月	2,000円			
大会議室		1時間	630円				
小会議室		1時間	210円				
付属設備及び器具		別に定める					

※第3条第1項に掲げる許可を受けたものについては、市外者の5倍の利用料金を徴収する。

資料：東かがわ市都市公園条例

（平成29年3月31日現在）

表 大内スポーツセンターの施設利用料金体系（その2）

施設	区分	単位	利用料金		備考	
ゲートボール場		1時間 (1面)	100円			
テニスコート	コート	1時間	1面	500円		
	夜間照明施設	1時間	1面	1,000円 (以後1時間 を経過するこ とに500円を 加算)		
	放送施設	1回	500円			
キャンプ場 (管理棟)	ミーティングルーム	午前8時30分から 正午まで	1回 (冷暖房使用の場合)	1,500円 (1,000円加算)	※	
		正午から午後5時ま で	1回 (冷暖房使用の場合)	1,500円 (1,000円加算)		
		午後5時から午後 10時まで	1回 (冷暖房使用の場合)	2,000円 (1,000円加算)		
		午後10時から翌日 午前8時30分まで	1回 (冷暖房使用の場合)	1,000円 (1,000円加算)		
	第2研修室	午前8時30分から 正午まで	1回 (冷暖房使用の場合)	1,500円 (500円加算)		
		正午から午後5時ま で	1回 (冷暖房使用の場合)	1,500円 (500円加算)		
		午後5時から午後 10時まで	1回 (冷暖房使用の場合)	1,700円 (500円加算)		
		午後10時から翌日 午前8時30分まで	1回 (冷暖房使用の場合)	800円 (500円加算)		
	第1研修室	午前8時30分から 正午まで	1回 (冷暖房使用の場合)	1,000円 (300円加算)		
		正午から午後5時ま で	1回 (冷暖房使用の場合)	1,000円 (300円加算)		
	第3研修室	午後5時から午後 10時まで	1回 (冷暖房使用の場合)	1,200円 (300円加算)		
		午後10時から翌日 午前8時30分まで	1回 (冷暖房使用の場合)	500円 (300円加算)		
		調理室	午前8時30分から 正午まで	1回		1,500円
			正午から午後5時ま で	1回		1,500円
	午後5時から午後 10時まで		1回	2,000円		
	午後10時から翌日 午前8時30分まで		1回	1,000円		
キャンプ場(野外)	テントサイト	1張	1泊2日	1,000円		
とらまるパペットランド	別に定める					

※第3条第1項に掲げる許可を受けたものについては、市外者の5倍の利用料金を徴収する。

資料：東かがわ市都市公園条例

(平成29年3月31日現在)

## 2 他都市の施設再編事例

### 事例1 かほく市立宇ノ気中学校、かほく市宇ノ気体育館

施設概要	合築等（複合化）の形態	中学校（公共）＋市立体育館（公共）
	施設名称	かほく市立宇ノ気中学校、かほく市宇ノ気体育館
	所在地	石川県かほく市
	整備年	平成19年
	延床面積	校舎8,283㎡、体育館4,488㎡
	敷地面積	－
	構造・階数	校舎：RC造・4階、体育館：RC造（一部鉄骨造）・3階
合築等（複合化）の概要	施設構成	中学校の校舎の改築に際して、中学校の体育館を、かほく市の市立体育館として整備し、学校行事（授業・部活動）で使用する際は優先して使用し、それ以外では地域に開放し施設を共用している。
	土地の所有関係	かほく市
	建物の所有関係	かほく市
	合築等（複合化）の背景	体育館は市立体育館として整備し、地域のスポーツ振興を促進させ、体育スペースをはじめとして多くの室が地域開放を前提として利用できるよう地域に開放された中学校を目指した。
	民間事業者選定方法	NPO法人クラブパレットが指定管理者として、市立体育館の施設管理運営を行っている。
	合築等（複合化）による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般的な学校施設の体育館とは違い、指定管理者が管理運営することにより、自主事業としてヨガやフラダンスなどのフィットネス・ダンスプログラムを多数実施し、その他小学生向けの放課後プログラムを実施するなど、従来の学校施設の体育館では提供し難いサービスを実施し、地域住民のスポーツ振興に寄与している。</li> <li>地元の総合型地域スポーツクラブが、指定管理者となったことから、地域住民向けのイベントを企画したり、サッカークラブを運営したりと、地域と密着した連携が可能となった。</li> </ul>
備考（合築等・複合化の際の留意点等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設でないため、利用に際して事前に利用申請及び減免申請の事務処理が発生するために、学校側より事務の簡素化ができないかとの声がある。</li> <li>平日昼間の体育館の使用は、基本的に学校側が優先されるが、1階のスタジオは一般市民の方も利用している。平日の午後も部活動の利用があり、一般の方が体育館を使用することができるのは、19時以降になる。土日祝日についても、部活動が優先される。</li> </ul>	
施設イメージ	 <p>かほく市立宇ノ気中学校 出所)かほく市宇ノ気中学校施設概要</p>  <p>宇ノ気体育館 出所)かほく市宇ノ気中学校施設概要</p>	

資料：『民間主体による公共施設と民間施設との合築等の整備推進方策検討調査 報告書』

なお、同様の事例として三豊市豊中町体育館がある。同施設は、豊中中学校の屋内運動場を兼ねており、施設の利用に関しては、豊中中学校の行事が優先されるが、それ以外は一般の人も利用可能となっている。

施設名称 三豊市立豊中町体育館  
施設内容 アリーナ、柔剣道場、ミーティングルーム  
利用時間 午前8：30～午後10時



資料：三豊市ホームページ

また、まんのう町では、満濃中学校改築に伴い、まんのう町立体育館（スポーツセンターまんのう）と図書館を複合施設として整備している。

施設名称 スポーツセンターまんのう  
施設内容 メインアリーナ、トレーニング室、武道場、スタジオ、会議室・研修室  
利用時間 午後3時～午後10時（定休日：火曜日）

施設名称 まんのう町立図書館  
施設内容 図書5万3千点、電子書籍  
利用時間 午前10時～午後6時（休館日：火曜日）



スポーツセンターまんのう、まんのう町立図書館

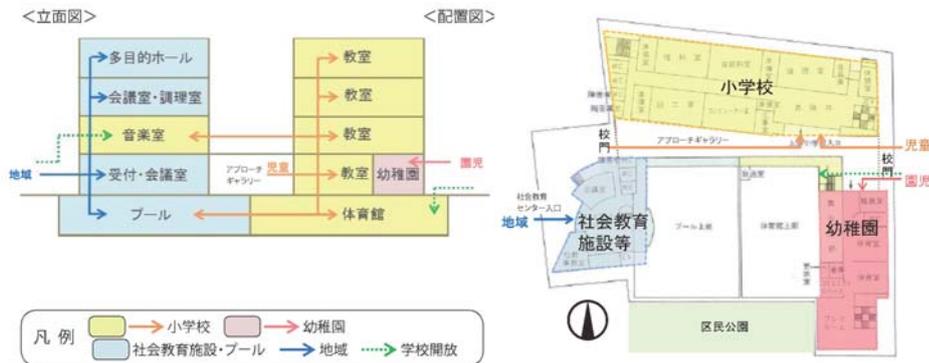
事例2 調布市立調和小学校

施設概要	合築等（複合化）の形態	小学校＋地域開放施設（メモリアルコーナー、地域図書館、地域開放駐車場・臨時駐車場、防災備蓄倉庫）
	施設名称	調布市立調和小学校
	所在地	調布市西つつじヶ丘4丁目22番地6
	整備年	平成14年供用開始
	延床面積	校舎及び体育館棟：約11,000㎡ 屋外運動場：3,600㎡
	敷地面積	約13,300㎡
	構造・階数	鉄筋コンクリート造一部鉄筋造地下1階地上3階建
合築等（複合化）の概要	施設構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、地域開放施設の運営を市が行い、温水プールの運営はPFI事業者が行う。</li> <li>・温水プールは、学校が授業などで使用しない日時に限り、市民に開放。使用料は、大人400円、子ども（小・中学生）150円、未就学児無料となっている。</li> </ul>
	土地の所有関係	調布市
	建物の所有関係	調布市
	合築等（複合化）の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「21世紀にふさわしい、夢のある学校施設」を目指し、児童の教育効果の面はもとより生涯学習施設としての機能面、地域の拠点としての学校の役割等が十分に発揮できるよう「特色ある学校づくり」、「地域に関われた学校づくり」を行うことを目的としている。</li> </ul>
	民間事業者選定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PFI方式</li> <li>・事業期間：16年</li> <li>・事業方式：BTO</li> </ul>
	合築等（複合化）による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域におけるスポーツ環境整備の一環として、総合型地域スポーツ・文化クラブ「調和SHC倶楽部」が設立され、調和小学校開放事業に携わり、現在卓球・バレーボールなどのスポーツ・文化サークルの数が40を超え、地域の健康増進や地域コミュニティ醸成に寄与している。</li> <li>・学校のプールが温水化され、一般開放されたことにより、児童の水泳の機会が増加し、市の東部地域の住民にとっての受益増大につながった。</li> </ul>
備考（合築等・複合化の際の留意点等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール運営に係るインセンティブを設定（利用者数に応じた対価、運営開始3年目より）</li> <li>・開放型の体育館として、大人でも十分利用できる広さ、専用ロッカールーム、シャワー室を設置。</li> <li>・音楽室を2教室設け、1教室を市民開放用として設置。</li> <li>・校庭開放用のトイレをグラウンドに設置。</li> </ul>	
施設イメージ		
	調和小学校	
		屋内温水プール

資料：『民間主体による公共施設と民間施設との合築等の整備推進方策検討調査 報告書』

なお、同様の事例として東京都台東区立立上野小学校、東京都目黒区立碑小学校も学校の屋内プールを地域に開放している。

施設名称 東京都台東区立立上野小学校  
 複合施設 小学校 (6,608㎡)  
 幼稚園 (464㎡)  
 社会教育センター (1,689㎡)  
 社会体育施設 (1,906㎡)  
 整備時期 平成3年  
 構造 RC造地上4階地下1階

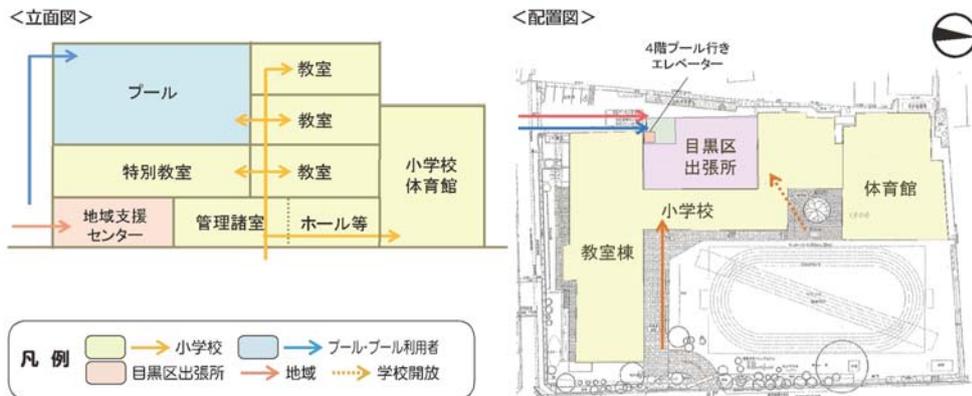


東京都台東区立立上野小学校

施設名称 東京都目黒区立碑小学校  
 複合施設 小学校 (7,830㎡)  
 地区プール (1,462㎡)  
 地域包括支援センター (500㎡)  
 地域防災用備蓄倉庫 (51㎡)  
 整備時期 平成19年  
 構造 RC造一部S造地上5階



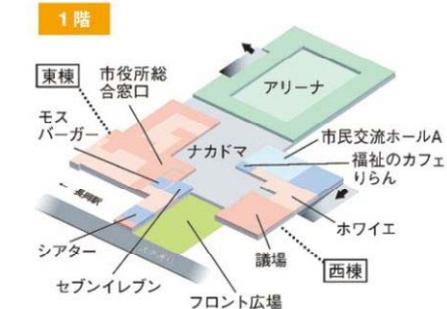
学校に併設された地区プール



東京都目黒区立碑小学校

資料：『学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について』

### 事例3 シティホールプラザアオーレ長岡

施設概要	合築等（複合化）の形態	市役所＋アリーナ＋市民ホール＋商業施設
	施設名称	シティホールプラザアオーレ長岡
	所在地	新潟県長岡市大手通1丁目4番地10
	整備年	平成24年2月竣工
	延床面積	35,498㎡
	敷地面積	14,938㎡
	構造・階数	RC造、一部S造、一部プレストレスコンクリート造、屋根S造／地上4階、地下1階、塔屋1階
合築等（複合化）の概要	施設構成	【公共施設】市役所、議場、市民ホール、アリーナ 【民間施設】コンビニ、カフェ、銀行等
	土地の所有関係	長岡市
	建物の所有関係	長岡市
	合築等（複合化）の背景	空洞化が進む中心市街地の活性化のため、市役所機能を中心市街地に集約し、市民交流の拠点施設として市が整備した。
	民間事業者選定方法	・設計：整備設計コンペティション ・管理業務：プロポーザル提案（3年間の長期継続契約）
	合築等（複合化）による効果	・施設の中心部に「ナカドマ（屋根付き広場）」を設けることで、誰もが気軽に立ち寄り活動できる空間が広がり、行政と市民の活動が、モザイクや市松模様のように交ざり合うように施設を配置したことにより、市民と行政、市民と市民、行政と経済界が交流する場となった。
備考（合築等・複合化の際の留意点等）	・アリーナの座席を可動式にするこにより、最大でバスケットボールコート3面分を確保することができるようになり、バスケットボール、バレーボール、格闘技などのプロスポーツ興行の場としても使えるほか、各種学会、セミナーなどの講演会の場や、式典、集会、コンサート、宝飾品や自動車の展示会など幅広いニーズに対応できるようになった。	
	・市民交流ホールも電動式の可動席としたことで、通常の各種発表会や公演会以外に、床をフローリング仕様にしたことによりダンスやレクリエーションにも使用できるようになった。展示会開催時は、ホワイエとの一体利用でより広いギャラリーにもなる。	
	・市民の疑問解消を最大限にサポートする市役所コンシェルジュを配置し、各窓口が連携しワンストップサービスで対応できるように配慮した。 ・コンビニについては出店者を公募し、目的外使用許可で貸し出ししている。コンビニ出店に際し、パンフレットコーナーの設置や取扱品として市のPRに必要な商品を取り扱うなどの出店条件を設けている。	
施設イメージ	  <p style="text-align: center;">シティホールプラザ アオーレ長岡</p> <p style="text-align: center;">アオーレ長岡施設配置図</p>	

資料：『民間主体による公共施設と民間施設との合築等の整備推進方策検討調査 報告書』

#### 事例4 (仮称) 八王子市新体育館等整備・運営事業

施設概要	合築等（複合化）の形態	体育館+地域交流スポーツセンター+スポーツ広場等
	施設名称	(仮称) 八王子市新体育館等整備・運営事業
	所在地	八王子市狭間町1453番1及び3
	整備年	平成26年10月供用開始予定
	延床面積	約22,000㎡
	敷地面積	24,970.04㎡
	構造・階数	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造、地上4階
合築等（複合化）の概要	施設構成	メインアリーナ、サブアリーナ、地域交流スポーツセンター（多目的室、ラウンジ、会議室・研修室、トレーニング室・スタジオ、子どもコーナー、託児室）、その他諸室、駐車場・駐輪場、防災施設
	土地の所有関係	八王子市
	建物の所有関係	八王子市
	合築等（複合化）の背景	・既存の体育施設だけでは満たすことができない市民ニーズに 대응するため
	民間事業者選定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PFI方式（BTO）</li> <li>・事業期間：17年6ヶ月</li> <li>・事業類型：サービス購入型</li> </ul>
合築等（複合化）による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が直接事業を実施する場合と比べ、19億4千万円の公共負担額の削減が期待される。</li> <li>・地域交流スポーツセンターを併設し、スポーツ・レクリエーションを通じた地域交流を支えることが可能</li> <li>・体育館で大会・イベントを行う場合、スポーツ広場を臨時駐車場として活用することで、駐車場不足を解消できる。</li> </ul>	
備考（合築等・複合化の際の留意点等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインアリーナは、中央体育館（市の大体育館）として、大規模な大会やイベントを開催するとともに、市のスポーツ振興に係る取組において中核的な役割を果たし、全国大会やプロスポーツなどスポーツ愛好者の目標となるハイレベルなプレーを「みる」、「みせる」ことができる施設であることが要求される。</li> <li>・事業者の任意提案による自由提案施設を提案できるとしており、これを設置することで市の要求する施設と相まって、新体育館利用者の増加と新体育館の賑わいをもたらし、より多くの市民に満足感を与え得るものであることとしている。</li> </ul>	
施設イメージ	 <p style="text-align: center;">施設完成イメージ</p>	

資料：『民間主体による公共施設と民間施設との合築等の整備推進方策検討調査 報告書』を基に一部加筆

注：上記の資料は、平成26年10月供用開始予定となっているが、現在では「エスフォルタアリーナ八王子」としてオープンしている。

事例5 墨田区総合体育館

施設概要	合築等（複合化）の形態	総合体育館（アリーナ、屋内プール、スタジオ・トレーニング室+カフェレストラン等）
	施設名称	墨田区総合体育館
	所在地	東京都墨田区錦糸4丁目15-1錦糸公園内
	整備年	平成22年4月
	延床面積	19,837㎡
	敷地面積	5,599㎡
	構造・階数	鉄骨造地上5階建
合築等（複合化）の概要	施設構成	メインアリーナ、サブアリーナ、武道場、屋内プール、屋上施設（フットサル、アーチェリー等）、スタジオ、トレーニング室、ランニングコース、カフェレストラン等
	土地の所有関係	財務省関東財務局（国有地の無償貸付）
	建物の所有関係	墨田区
	合築等（複合化）の背景	既存の老朽化していた体育館の建て替えに合わせ、多様化・増大化する区民のニーズに応えるため、多様なスポーツ需要にも対応でき、広域的な公式競技大会が開催可能な総合的なスポーツ施設の整備を目指して整備した。
	民間事業者選定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PFI方式（BTO）</li> <li>・事業期間：20年間</li> <li>・事業類型：混合型</li> </ul>
	合築等（複合化）による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PFI事業者のノウハウを活用することで多様な機能を備えた施設運営が可能となり、利用者が増加するなど健康増進・体力づくり支援に寄与することができた。また、トップリーグの競技招致等を通じ区民がスポーツに親しむ機会の拡大に成果があった。</li> <li>・H23年度年間利用者数395,955人（個人・団体の合計）</li> <li>・H23年度区民健康スポーツデー（来客数約5,000人）</li> </ul>
備考（合築等・複合化の際の留意点等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者の需要リスク軽減のための工夫として、利用料金部分等により民間事業者が料金収受する部分については、公民双方でリスクを負担するものとしており、業務内容に応じて、サービス購入費の支払いに需要変動を反映させる仕組みをとっている。</li> <li>・更衣室が全ての運動施設で兼用としているため、更衣室での多目的の広場（フットサル）利用者が持ち込む砂や、屋内プール利用者が濡れたままでの利用に対する苦情がある。</li> </ul>	
施設イメージ		
	屋内プール	カフェレストラン

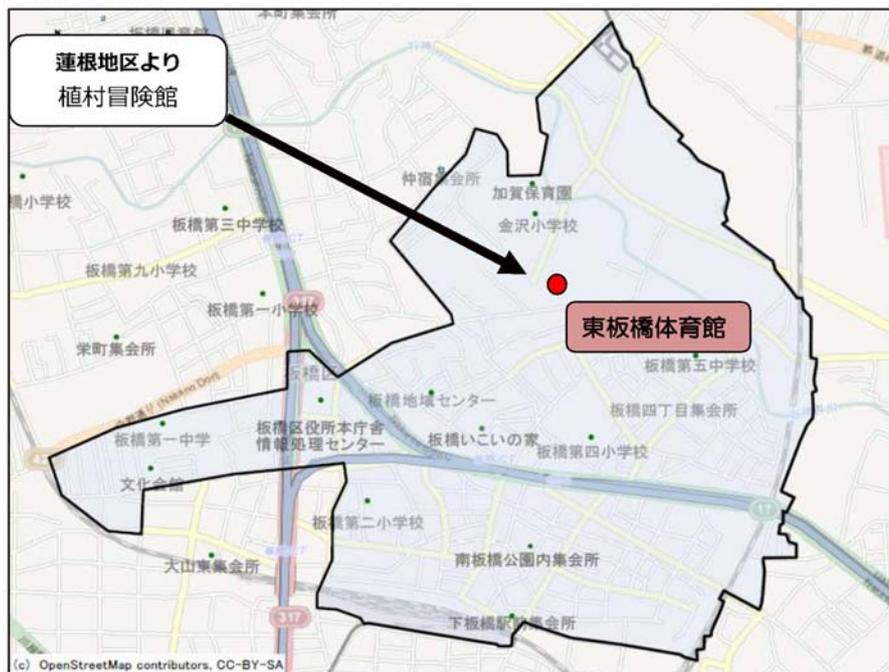
資料：『民間主体による公共施設と民間施設との合築等の整備推進方策検討調査 報告書』

### 事例6 東板橋体育館（※予定）

東京都板橋区では、体育施設と自然体験施設の複合による相乗効果と複合施設による延床面積の削減をめざし、東板橋体育館（築年：昭和61年、延床面積：7,560㎡）を核とし、他地区から植村冒険館（築年：平成4年、延床面積：519㎡）の複合化を検討している。

※植村冒険館：冒険家植村直己の業績を紹介する企画展や冒険精神を伝えていく事業を行っている。なお、植村直己のゆかりの地である仲宿地区に近い東板橋体育館に、平成31～32年度を目標に植村冒険館を複合化する予定。

①東板橋体育館を核とした複合化プラン



資料：公共施設等の整備に関するマスタープランに基づく個別管理計画（板橋区）



資料：植村冒険館ホームページ

### 3 他都市の評価手法等の事例

ここでは、他市町の評価手法等について調査した結果を整理します。  
評価分析方法等の体系については、以下のとおりです。

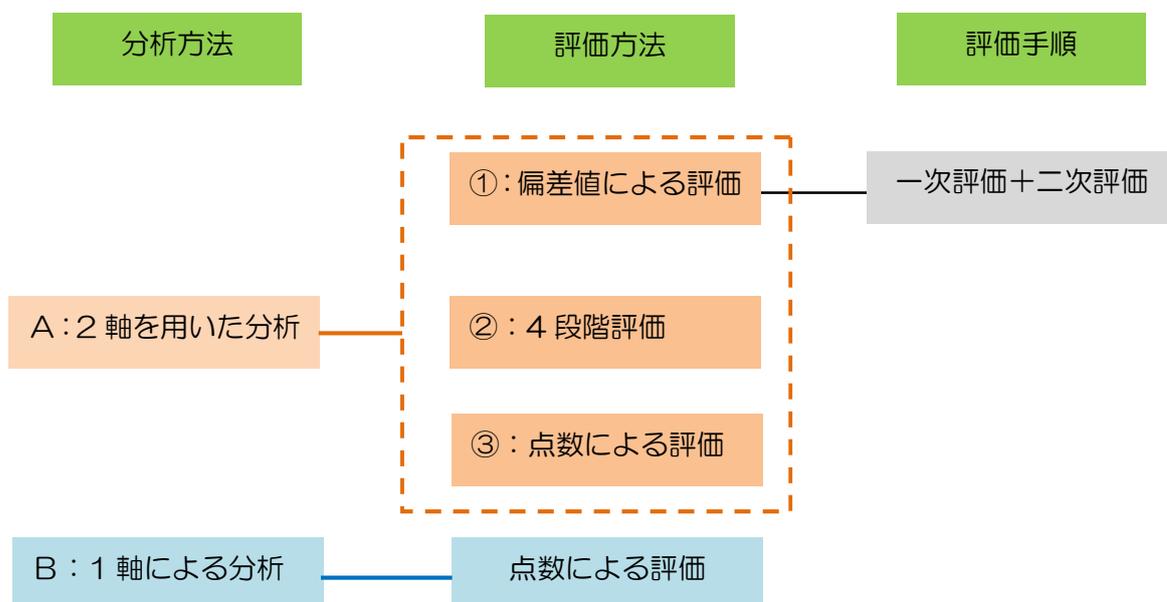
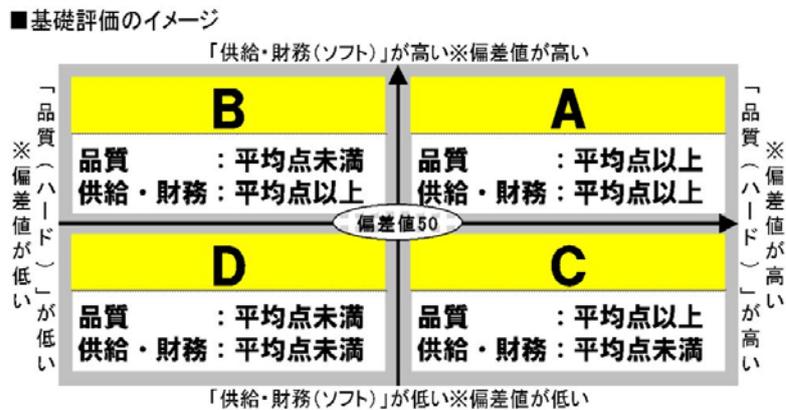


表 A：2軸を用いた分析（ポートフォリオ分析）事例

分析の視点	評価項目
縦軸をサービス、供給・財務等に関する項目にて分析 横軸を建物に関する項目にて分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>縦軸に利用者数、稼働率、利用者一人当たりの面積、利用者一人当たりのコスト等の項目にて評価する。</li> <li>横軸に建物の劣化度、耐震性、快適性等の項目にて評価する。</li> </ul>
<b>自治体名</b>	<b>評価方法①</b>
宮崎市、焼津市	評価項目において、偏差値を算出し、評価を行う。

**評価の考え方**

偏差値 50 を境に 4 分割されたどのエリア（A～Cの領域）に属するかによって評価する。



資料：宮崎市平成27年度施設評価 総合評価（平成28年7月）

自治体名	評価方法②
浦添市、篠栗町、深谷市	<p>評価項目において、A、B、C、D（注：評価不能等はX）の4段階にて評価する。</p> <p>※項目によってA～Dの定義は異なるが、Aは問題が少なく、Dは問題があるとして優劣をつける。</p>

**評価の考え方**

上記のCの項目数を数え、4分割されたどのエリアに属するかによって、将来の方針を検討する。※エリアによって、「維持保全」「更新検討」「利用検討」「用途廃止」に分類する。

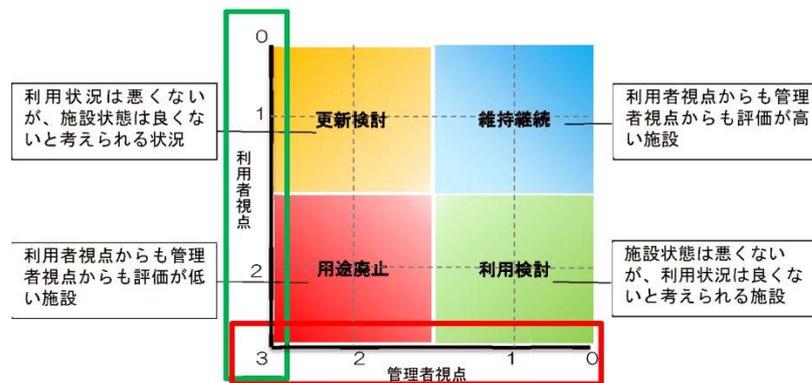


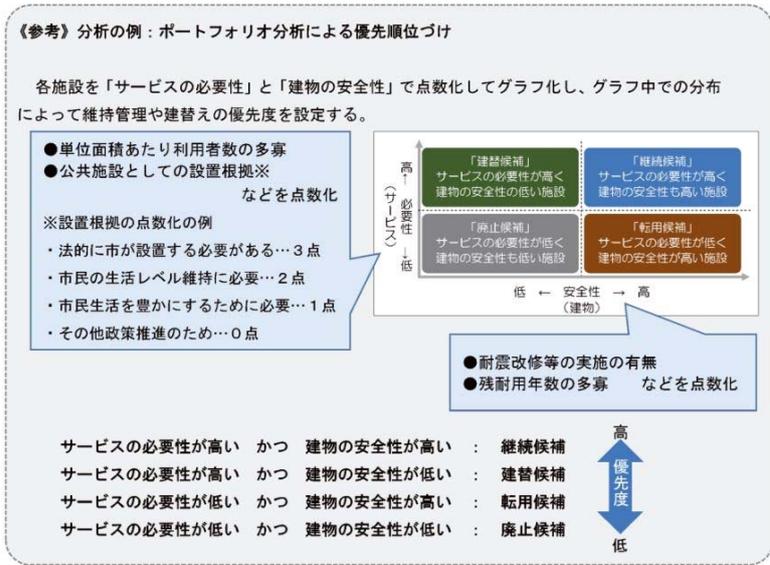
図 3-2 簡易評価を用いた施設評価を示すポートフォリオ

資料：深谷市公共施設等総合管理計画

<b>自治体名</b>	<b>評価方法③-1</b>
関市	評価項目において、0点、1点、2点、3点の配点をつけ、評価を行う。

### 評価の考え方

配点の結果、4分割されたどのエリアに属するかによって、将来の方針を検討する。  
 ※エリアによって、「継続候補」「建替候補」「転用候補」「廃止候補」に分類する。

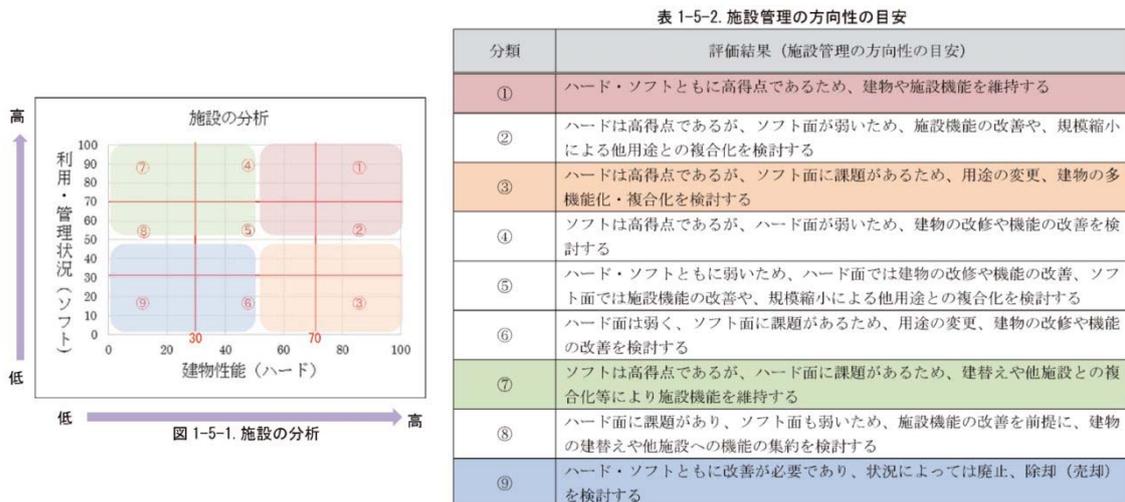


資料：関市公共施設等総合管理計画（平成28年3月）

<b>自治体名</b>	<b>評価方法③-2</b>
都留市	評価項目において、0点、2点、4点の配点をつけ、合計100点にて評価を行う。 ※なお、項目によって重み付けの係数を乗じる。

### 評価の考え方

配点の結果、9分割されたどのエリアに属するかによって、将来の方針を検討する。  
 ※エリアによって、「維持」「複合化」「用途の変更、機能の改善」「廃止」等に分類する。



資料：都留市公共施設等総合管理計画（平成28年4月）

表 B：1 軸による分析事例

評価項目	評価方法	自治体名
利用者、利用者一人当たりの一般財源所要額、築後の経過年数、類似施設の設置状況等の項目にて評価する。	評価項目において、10点、20点の配点をつけ、合計100点にて評価を行う。	出雲市

表 他市町の評価手順の事例

分析方法	評価手順	評価項目	自治体名
2軸によるポートフォリオ分析	定量的な一次評価の後に定性的な二次評価を実施している。	二次評価の項目としては、近隣施設・類似施設の有無、民間との競合、設置目的と関連性、将来の利用見込みなどの項目で評価する。	宮崎市、焼津市
	一次評価のみ実施		浦添市、篠栗町、深谷市、関市、宮古留市

## 4 現地調査結果

分類	施設ID	調査No.	施設名称	構造	競技	付帯施設	建築年(西暦)	築年数			面積(m <sup>2</sup> )	構造	耐用年数	健全度	長寿命化	屋根	壁	調査所見	バリアフリー対応状況	写真	写真1
引田スポーツセンター	1	2	引田飛翔体育館	RC2F	バレー、バド、バスケ	1F ステージ(放送室)、会議室、トイレ 2F シャワー付き更衣室	1990	26	1,473.89	315.11	1,838.50	鉄筋コンクリート	47	2	A	金属板葺き	RC下地の上、 複層塗材 一部100角タイル張り	外壁吹付けにチョーキングや塗装面の劣化が見られる。一部に張られているタイルの浮きが見られる。外壁タイルの落下は重大な事故につながる恐れがあるので、定期的な点検及び落下防止対策を検討。外壁塗装の定期的な修繕及び外壁タイルの落下防止対策により長期的な利用が可能。	建物前面から玄関ポーチまでは段差があるが、スロープが整備されている。		
引田スポーツセンター	2	3	引田体育館	RC	バレー、バド、バスケ	トイレ、用具庫	1975	41	1,048.00		1,048.00	鉄筋コンクリート	47	1	B	瓦葺き	RC下地の上、 複層塗材	外壁吹付けのチョーキングや塗装の剥がれが見られる。庇端部などの劣化や種のサビなど劣化・損傷部分が多く見られる。躯体は利用可能であるが、外壁改修にあわせて、種、金属板膜板などの改修検討が必要。	建物前面から玄関ポーチまでは段差があるが、スロープが整備されている。		
引田スポーツセンター	3	1	小海体育館	RC	バレー、バド、バスケ	調理実習室、会議室(和室)、器具庫、更衣室、トイレ、駐輪場	1992	24	691.13		691.13	鉄筋コンクリート	47	2	A	瓦葺き	RC下地の上、 複層塗材	外壁吹付けのチョーキングや塗装の剥がれが見られる。コンクリートの亀裂など、躯体の劣化は見られないため、外壁塗装の定期的な修繕により、長期的な利用が可能。駐車場のアスファルト舗装に割れが見られる。	建物前面から玄関ポーチまでは段差があるが、スロープが整備されている。		
引田スポーツセンター	4	9	引田運動公園テニスコート(人工芝)	砂入り人工芝、4面		クラブハウス(木造平屋)163m <sup>2</sup>	1992	24			2,595.30	鉄筋コンクリート	47	2	B	(クラブハウス)金属板葺き	(クラブハウス)木板下見張りの上SOP塗装	クラブハウスの軒天で塗装の退色や汚れが見られる。テニスコートは一部人工芝の補修を行っているが、目立った損傷は見られず、比較的良好。クラブハウスの木部塗装やテニスコート人工芝、ナイター照明の計画的な修繕により定期的な利用が可能。	駐車場からクラブハウスまでは段差があるが、スロープが整備されている。		
引田スポーツセンター	5	8	引田テニスコート(クレー)	花崗土、2面		壁打ち、トイレ、倉庫	1984	32			1,625.40	花崗土グラウンド		2	B	-	-	トイレ、倉庫は隣接する広場と共用施設となっている。主な工作物はネット、ナイター照明、防球フェンスでナイター照明の定期的な修繕、更新及びグラウンドの除草などの手入れが必要。工作物が少ないので、定期的な手入れにより長期的な利用が可能。	隣地に段差などが無く、特にバリアフリーに配慮した施設は無い。		
引田スポーツセンター	6	7	引田運動広場	花崗土、一部フェンスあり	少年野球、グラウンドゴルフ	倉庫、トイレ2	1987	29			6,057.00	花崗土グラウンド		1	B	(トイレ)アスファルトシングル葺き	(トイレ)木板下見張り 腰壁モルタル塗り	トイレ、倉庫は隣接するテニスコートと共用施設となっている。主な工作物はナイター照明、防球フェンスでナイター照明の定期的な修繕、更新及びグラウンドの除草などの手入れが必要。工作物が少ないので、定期的な手入れにより長期的な利用が可能。トイレは屋根葺き材、壁木板などの劣化が見られる。	身体障がい者用トイレはあるが、トイレとグラウンドに高低差がある。		
引田スポーツセンター	7	4	引田野球場		野球、ソフト等	観覧席、本部席、ダッグアウト、倉庫、放送設備、トイレ、夜間照明設備	1984	32			10,759.28	主工作物鉄筋コンクリート		2	B	(ダッグアウト)モルタル防水	(ダッグアウト)コンクリート下地の上、複層塗材	ダッグアウト壁吹付け塗装の劣化が見られる。ナイター照明器具、葦柱金物の劣化が見られる。防球ネットの劣化損傷が見られる。(80m×2)フェンス類処分制限期間を超過している見込みではあるが、損傷は少なく継続して利用が可能。照明、フェンス、ネットそれぞれの損傷が確認できた段階で、	観覧席が存在するが、バリアフリーに配慮したスロープや座席がない。		
引田スポーツセンター	8	11	温水プール	RC平屋	25mプール、幼児用プール、歩行者専用プール、ジャグジー	駐輪場	1996	20			1,294.82	鉄骨造	38	2	B	瓦葺き一部防水	コンクリート下地の上、複層塗材 一部45二丁タイル張り	外壁タイル部分の一部浮きが見られる。また、エフロが多く見られ、外壁の劣化が多く見られる。通年利用される室内プールで、ろ過機、循環ポンプ、ボイラー、空調設備の計画的な更新が必要。	建物前面から玄関ポーチまでは段差があるが、スロープが整備されている。玄関、室内へは段差の少ない施設となっている。		
引田スポーツセンター	9	10	パークゴルフ場	天然芝張、18ホール		トイレ、レストハウス	2009	7			17,390.00	鉄筋コンクリート				(トイレ兼クラブハウス)金属板折板葺き	(トイレ兼クラブハウス)サイディング張り	トイレ兼クラブハウスは新しい施設で、現状特に問題なし。天然芝のコースは日常の手入れが施されており、良好な状態。継続的にコートの手入れが必要。	駐車場からコースまでの段差は少なく、特にバリアフリーに配慮した施設は無い。		
引田スポーツセンター	10	5	武道館	RC2F		駐輪場	1993	23			869.41	鉄筋コンクリート造	47	2	A	瓦葺き	コンクリート下地の上、複層塗材	外壁に軽微なクラックやチョーキング、塗装の剥がれが見られる。外壁塗装の定期的な修繕により、長期的な利用が見込める施設。	建物前面から玄関ポーチまでは段差があるが、スロープが整備されている。建物内部の玄関(かまち)に段差がある。		
引田スポーツセンター	11	6	ゲートボール場	2面			1993	23			1,120.00	鉄筋コンクリート		1	A	-	-	屋根付き休憩所(ベンチ)程度はあるが、それ以外の工作物は無く、維持管理の必要な施設はない。雑草などが見られるため、定期的な除草が必要。	隣地に段差などが無く、特にバリアフリーに配慮した施設は無い。		

東かがわ市社会体育施設等マネジメント基本計画 施設現況調査表

分類	施設ID	調査No.	施設名称	構造	競技	付帯施設	建築年(西暦)	築年数		面積(m <sup>2</sup> )	構造	耐用年数	健全度	長寿命化	屋根	壁	調査所見	バリアフリー対応状況	写真	写真1	
白鳥スポーツセンター	12	12	白鳥中央公園体育館	RC2F(一部鉄骨)	バレー、バド、バスケット(ポイント)		1990	26	2,002.07	243.54	鉄筋コンクリート造	47	2	A	金属板葺き	45×45モザイクタイル張り一部コンクリート下地の上、複層塗材	当該公園内で一番大きい建物。現時点では特に目立った損傷は見られないものの、タイル張り面積が多く、高所での使用もあり、今後タイルの浮きや剥離が考えられる。そのため定期的な点検及びタイル落下防止を含めた外壁複合改修を検討。屋根付近のハイサイドライト付近からの雨漏りも見られるため、防水、シーリング改修も定期的計画。	建物床面も周辺地盤と同等レベルで、玄関前のロータリー部と玄関ポーチには段差が無い。			
白鳥スポーツセンター	13	13	テニスコート(人工芝)	全天候型砂入り人工芝、4面		クラブハウス(RC)109.53m <sup>2</sup>	1992	24		2,900.00	鉄筋コンクリート		2	A	(クラブハウス)防水	(クラブハウス)コンクリート下地の上、45×45モザイクタイル張り	クラブハウス外壁は一部で浮きが見られる。建物高さが低く、小規模であることから、定期的な点検により不具合が見られる箇所について、対処法的対応を行う。テニスコート人工芝、ナイター照明は定期的な更新を計画することで、長期的な利用を見込める。	クラブハウスは周囲との高低差が無い。観覧席が存在するが階段状となっており、バリアフリーに配慮したスロープや座席がない。			
白鳥スポーツセンター	14	15	トイレ棟							50.00	鉄筋コンクリート造		3	A	アスファルトシングル葺き	コンクリート下地の上、45×45モザイクタイル張り一部塗装複層塗材	外壁吹付け部で一部塗装の剥がれや塗装面の劣化が見られる。外壁タイルには目立った浮きや剥離は見られなかった。継続的監視及び定期的な点検により、タイルの浮きや剥がれがないかを確認、計画的な外壁修繕により、長期的な利用を見込む。	アプローチの歩道からトイレ内部まで段差が無い。一方で、多目的トイレが無く、車椅子利用者や乳幼児連れの方が利用しづらい施設となっている。			
白鳥スポーツセンター	15	16	グラウンド(多目的広場)	花崗土、照明塔鉄骨造り21.7m <sup>2</sup>	多目的	バックネット、ダッグアウト	1989	27		16,500.00	花崗土グラウンド		2	B	(ダッグアウト)モルタル防水	(ダッグアウト)コンクリート下地の上、複層塗材	バックネット支柱にサビが見られる。ダッグアウト、バックネットの主要部の塗装改修、ナイター照明器具の定期的な修繕、更新により長期的な利用を見込む。フェンス等は劣化損傷が著しくなった時点で更新とする事後保全とする。グラウンドは工作物が無いため、水はけ状態の確認や除草といった日常的な手入れによる。	特にバリアフリーに配慮した施設は無い。			
白鳥スポーツセンター	16	22	親水公園		遊歩道・ピオトープ					717.00	自然石積み		1	C	-	-	水が無く、利用されていない状態。石積み施設であることから、定期的な修繕や更新は不要で、周辺の除草など日常的な管理が必要。	散策路は地形を生かした形状であるため、バリアフリーに配慮が必要。			
白鳥スポーツセンター	17	19	野外ステージ・野外ステージドーム				1993	23		352.99	鉄骨造		3	A	膜構造テント	鉄骨あらかわのうえ、SOP塗装	屋根膜材及び躯体鉄骨は状態がよく、健全である。床・基礎部のタイルに一部欠けが見られる。躯体鉄骨の定期的な塗装により長期的な利用を見込む。膜材は破れや損傷などが発生してから対応する事後保全とする。	施設自体に段差は無いが、当該施設にアクセスするための経路がバリアフリー対応になっていない。			
白鳥スポーツセンター	18	17	バーベキュー棟・炊飯棟				1993	23		200.36	木造		20	2	B	金属板タテハセ葺き	木板張り、柱・筋交いあらかわし部木材保護塗料塗り	木部に経年による劣化、退色が見られる。定期的な木部保護塗料塗りにより、木部を健全な状態に保つ。木造施設のため、耐用年数は他の非木造建物より短い。	バーベキュー棟には床が無いため、地盤面と同じ高さであるが、当該施設にアクセスするまでの経路が舗装されていないため、車椅子等での移動が困難である。炊飯棟の床面と地盤との間に15cm程度の高低差があるが、スロープが無い。		
白鳥スポーツセンター	19	21	人工スキー場管理棟	鉄骨			1994	22		252	木造		38	1	B	金属板葺き	木羽目板張り木材保護塗料塗り	外壁木部の退色や、劣化、損傷が目立つ。劣化部が多く、当該施設を利用する場合は一定の改修が必要。種や設備機器の更新も必要。	建物は2階建てであるが、建物内にはEVが無い。		
白鳥スポーツセンター	20	14	しろとり研修センター				2003	13		266.20	鉄骨造		31	3	B	瓦葺き	窯業系サイディング	現時点では特に目立った損傷は見られなかった。屋根瓦、外壁サイディングは予防保全による対応が困難なため、定期的な点検及び修繕により対処法的対応とする。	建物床面も周辺地盤と同等レベルで、玄関前の通路と玄関ポーチには段差が無い。		
白鳥スポーツセンター	21	20	白鳥本町コミュニティセンター				1996	20		243.00	鉄骨造		34	3	B	金属板葺き	木羽目板張り	屋外屋根付き施設の柱鉄骨部にサビが見られる。鉄部の塗装及び壁木羽目板張りの定期的な塗装改修により、投機的な利用を見込む。	建物東面から玄関ポーチまでは段差があるが、スロープが整備されていない。建物北面の入口は、周辺との段差は少ないが、駐車場から当該建物までの距離は長い。		
大内スポーツセンター	22	29	とらまるてぶくろ体育館	RC2F	バレー、バド、バスケット、ハンド等	サブアリーナ	1991	25	4,775.49	4,512.72	鉄骨造	47	2	C	瓦葺き	コンクリート打放しカーテンウォールサッシ	外部で一部コンクリート爆裂が見られる。カーテンウォールのガラス面の汚れが目立つ。外壁コンクリートの劣化部の補修を検討。以後継続的監視による。コンクリート打放し面の劣化進行が見られるようであれば、保護塗装(クリアー吹付け)や塗装を検討する。	建物前面から玄関ポーチまでは段差があるが、スロープが整備されている。駐車場から当該建物までの距離が長い。			
大内スポーツセンター	23	30	テニスコート(人工芝)	全天候型砂入り人工芝、6面		クラブハウス(木造コンクリート平屋)121.62m <sup>2</sup>	1991	25		4,766.88	木造		2	B	(クラブハウス)瓦葺き	(クラブハウス)木羽目板張りの上木材保護塗料塗り	コート人工芝の状態は良好。クラブハウスの外壁の劣化やデッキ部分の木部の劣化が見られるため、定期的な外壁塗装を計画し長期的な利用を見込む。コート人工芝は、劣化部分を事後保全的対応による処置とし、劣化が著しくなった段階で、全面張替えを検討する。ナイター照明器具の定期的な修繕を検討。	クラブハウスにスロープや多目的トイレが無い。			

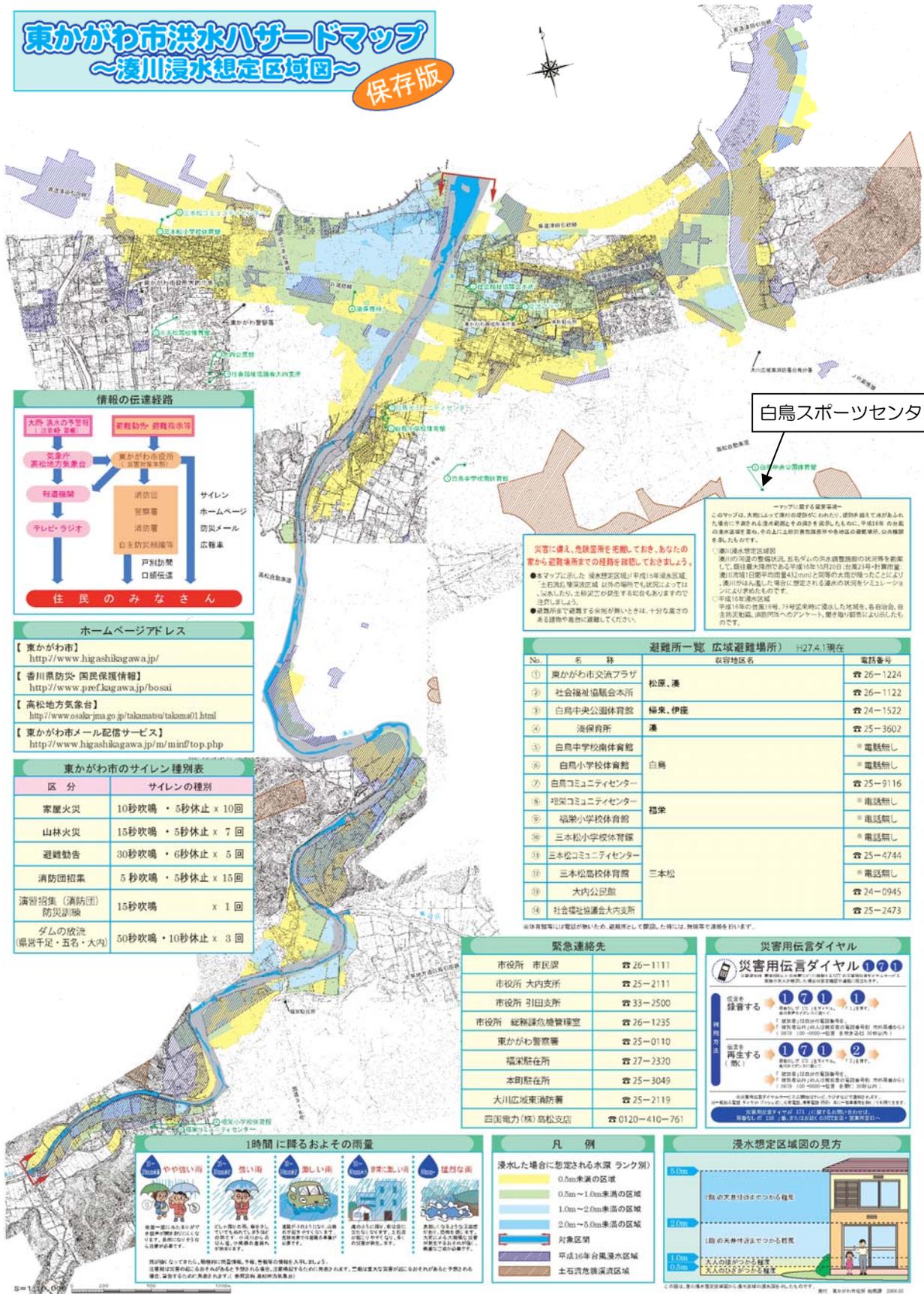
東かがわ市社会体育施設等マネジメント基本計画 施設現況調査表

分類	施設ID	調査No.	施設名称	構造	競技	付帯施設	建築年(西暦)	築年数		面積(m <sup>2</sup> )	構造	耐用年数	健全度	長寿命化	屋根	壁	調査所見	バリアフリー対応状況	写真	写真1
大内スポーツセンター	24	28	グラウンド(多目的広場)	花崗土	多目的	用具倉庫(鉄骨造)200m <sup>2</sup>	1994	22		16,592.00	花崗土グラウンド		1	-	(倉庫) 金属板葺き	(倉庫) 金属系サイディング張り	グラウンドはフェンスや工作物も無い。倉庫もプレハブ製品で、定期的な改修を要する施設ではない。グラウンドの除草など日常の維持管理による。	特にバリアフリーに配慮した施設は無い。		
大内スポーツセンター	25	23	大内野球場		野球、ソフト等	管理棟60m <sup>2</sup> 、バックネット、観覧席、ダッグアウト、夜間照明設備	1980	36		10,637.00	鉄筋コンクリート造工作物、他		2	B	(管理棟・トイレ) 金属板タテハゼ葺 (本部席棟) 金属板折板葺	(管理棟・トイレ) サイディング張り(本部席棟) 鉄骨あらわしSOP塗装 壁コンクリート打放し保護塗料吹付け	管理棟・トイレは比較的良好。継続的監視により劣化が見られた段階で、事後保全的対応を行う。本部席棟は壁コンクリート部のクリアー塗装の劣化剥がれが見られる。鉄部塗装のチョーキングや退色も見られる。鉄部及びコンクリートの塗装改修により長期的利用が見込める。フェンス、ナイター照明、防球ネットは比較的良好。ナイター照明の定期的更新を検討。フェンスは事後保全による。	管理棟・トイレには多目的トイレが無い。観覧席が存在するが、バリアフリーに配慮したスロープや座席がない。		
大内スポーツセンター	26		ゲートボール場				1992	24		1,004.00	人工芝		2	B			人工芝以外は工作物が無い。テニスコートと違い、舗装面の磨耗が少ないため比較的良好な状態。継続的監視により、劣化部分を事後保全による修繕とする。劣化部分が全体的になった段階で全面改修を検討。	特にバリアフリーに配慮した施設は無い。		
大内スポーツセンター	27	32	キャンプ場管理棟				1993	23		375.34	木造	24	3	B	金属板ヨコ葺き	木羽目板タテ張りの上木材保護塗料塗り	外壁木部の塗装は改修済み。以後定期的に木部の塗装改修を検討。外壁の健全度を維持することで長期的な利用を見込む。			
大内スポーツセンター	28	34	キャンプ場浴室棟				1993	23		36.10	木造	24	3	C	金属板ヨコ葺き	木羽目板タテ張りの上木材保護塗料塗り	管理棟と同じ	管理棟、浴室棟の前面には段差があるが、スロープが整備されていない。建物は2階建てであるが、建物内にはEVが無い。駐車場から当該建物までのアクセス距離が長く、一部は砂利舗装となっている。		
大内スポーツセンター	29	33	キャンプ場炊飯棟				1993	23		26.25	鉄骨造	38	2	C	金属板折板葺き	鉄部表しの上SOP塗装 柱脚コンクリート根巻き打放し仕上げ	柱・張りの鉄部にサビが見られる。鉄部の再塗装を行うことで長期的利用が見込める。			
大内スポーツセンター	30	35	冒険の森(アスレチック)				1993	23		4,251.90	木製施設	15	1	B			木部の劣化が見られる。一部使用禁止とする施設が見られる。利用禁止としているローラーすべり台やその他の施設については、今後の計画を意図し、撤去若しくは修繕を検討する。その他木製品については塗装改修及び部品の交換により、長期的利用を見込む。	地形を生かしたアスレチックコースのため、バリアフリー対応にはなっていない。		
大内スポーツセンター	31	27	ファンシープラザ時計塔				1992	24		22.56	鉄筋コンクリート造	41	3	A	木造小屋組みの上、スレート葺き	コンクリート打放し仕上げ	屋根小屋組みは改修済み。外壁は特に問題なし。躯体コンクリートの耐用年数と木小屋組みの耐用年数の違いや劣化進行の違いを意図し、木小屋組みの保護塗料塗りにより、長期的利用を見込む。	建物は2階建てで、2階部は展望塔となっているが、階段構造である。駐車場から当該建物までの距離が長い。		
大内スポーツセンター	32	25	人形劇場とらまる座				1992	24		997.22	鉄筋コンクリート造	41	2	A	スレート葺き	コンクリート下地の上複層塗材 一部木羽目板張り木材保護塗料塗り	外壁吹付け部のチョーキング、退色が見られる。木部の保護塗料の退色、劣化が見られる。外壁(コンクリート面、木部共に)塗装改修を計画的に行うことで、長期的な利用を見込む。	建物前面の通路から玄関にかけて段差は無い。ただし、駐車場から当該建物までの距離が長い。		
大内スポーツセンター	33	26	ミニチュア現遊館				1992	24		472.90	鉄骨造	34	2	B	瓦葺葺き	押出し成形セメント板素地 一部コンクリート下地の、複層塗材	外壁吹付け部のチョーキング、クラックが見られる。タラップや樋金物等の非構造部材の劣化が見られる。外壁吹付け部の定期的な改修により、躯体の健全な状態を維持。ECP素地部については、継続的監視による。特にシール切れやパネルの割れ、漏水など。	建物前面の通路から玄関にかけて段差は無い。ただし、駐車場から当該建物までの距離が長い。		
大内スポーツセンター	34	24	とらまる人形劇ミュージアム				2003	13		960.00	鉄骨造	41	2	B	瓦葺葺き	ALC下地の上、複層塗材	外壁吹付け材のチョーキングが見られる。パネルジョイントのコーキング部分から塗装の剥がれが見られる。外壁塗装の計画的な改修により長期的な利用を見込む。ただし、外壁がALCであることから既存塗装面の補修を伴うような改修は難しい。	建物床面も周辺地盤と同レベルで、玄関前の通路と玄関ポーチには段差が無い。		
大内スポーツセンター	35	31	とらまる図書館				1992	24		1,004.48	コンクリートブロック	50	2	A	防水	コンクリート打放し	外壁コンクリート打放し面の雨だれによる汚れや、コンクリート面の劣化が見られる。内部においても雨漏れの後が見られる。防水改修を検討する。外壁劣化が著しくなった段階で、クリアー吹付け若しくは複層塗材などにより躯体の保護を検討する。	建物と周辺地盤に高低差が大きくあるが、玄関前の通路と玄関ポーチには段差が無い。建物内部にはEV設備が備わっている。駐車場からのアクセスに比較的急な勾配の斜路がある。		

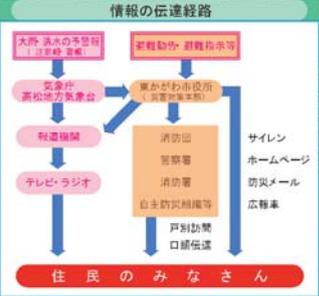
# 5 ハザードマップ等

## 東かがわ市洪水ハザードマップ ～湊川浸水想定区域図～

保存版



白鳥スポーツセンター



- ### ホームページアドレス
- 【東かがわ市】  
<http://www.higashikagawa.jp/>
  - 【香川県防災・国民保護情報】  
<http://www.pref.kagawa.jp/bosai>
  - 【高松地方気象台】  
<http://www.osaka-jma.go.jp/takamatsu/takama01.html>
  - 【東かがわ市メール配信サービス】  
<http://www.higashikagawa.jp/m/minf/to.p.php>

### 東かがわ市のサイレン種別表

区分	サイレンの種類
家屋火災	10秒吹鳴・5秒休止 x 10回
山林火災	15秒吹鳴・5秒休止 x 7回
避難勧告	30秒吹鳴・6秒休止 x 5回
消防団招集	5秒吹鳴・5秒休止 x 15回
演習招集(消防団) 防災訓練	15秒吹鳴 x 1回
ダムの放流 (黒川千足・五名・大内)	50秒吹鳴・10秒休止 x 3回

災害に備え、危険箇所を把握しておき、あなたの家から避難場所までの経路を確認しておきましょう。

- 本マップに示した浸水想定区域(平成16年台風20号「台風21号」計測雨量、土石流危険区域)以外の場所でも状況によっては浸水したり、土石流が発生する場合がありますので注意しましょう。
- 避難所まで避難するルートが無いときは、十分な高さのある建築物や高地に避難してください。

このマップは、大雨によって湊川の水位が上がり、避難所を超えて浸水がある場合に予想される浸水範囲とその浸水を想定したもので、平成16年の台風の暴風域を基準とし、平均的な浸水想定区域と各地の避難場所、公共機関等を示したものです。

①湊川浸水想定区域図  
湊川の河道の整備状況、五ヶ谷の洪水調整施設の状況等を勘案して、過去最大降雨時の平成16年10月20日(台風21号)計測雨量、湊川流域(日野町から約4km)と同等の本流が流れたことにより、湊川がはんちゅうした場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

②平成16年台風20号  
平成16年の台風16号、21号襲来時に浸水した地域を、各自治会、自主防災組織、消防団等へのアンケート、聞き取り調査により示したものです。

### 避難所一覧 広域避難場所 H27.4.1現在

No.	名称	避難所名	電話番号
①	東かがわ市交流プラザ	松原、湊	☎ 26-1124
②	社会福祉協議会本所	松原、湊	☎ 26-1122
③	白鳥中央公園体育館	福栄、伊座	☎ 24-1522
④	湊保育所	湊	☎ 25-3602
⑤	白鳥中学校南体育館		☎ 電話無し
⑥	白鳥小学校体育館	白鳥	☎ 電話無し
⑦	白鳥コミュニティセンター		☎ 25-9116
⑧	福栄コミュニティセンター	福栄	☎ 電話無し
⑨	福栄小学校体育館		☎ 電話無し
⑩	三本松小学校体育館		☎ 電話無し
⑪	三本松コミュニティセンター		☎ 25-4744
⑫	三本松高校体育館	三本松	☎ 電話無し
⑬	大内公民館		☎ 24-0945
⑭	社会福祉協議会大内支所		☎ 25-2473

### 緊急連絡先

市役所 市民課	☎ 26-1111
市役所 大内支所	☎ 25-2111
市役所 引田支所	☎ 33-2500
市役所 総務課危機管理室	☎ 26-1235
東かがわ警察署	☎ 25-0110
福栄駐在所	☎ 27-2320
本町駐在所	☎ 25-3049
大川広域東消防署	☎ 25-2119
四国電力(株)高松支店	☎ 0120-410-761

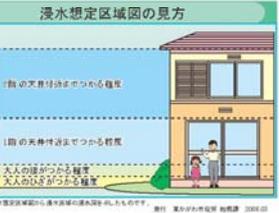
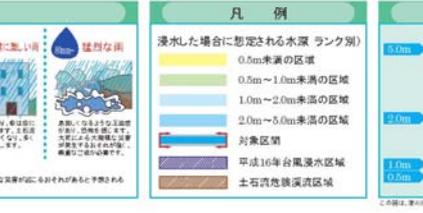
### 災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤル 17171

災害発生時に、携帯電話やスマートフォンで、緊急連絡先へメッセージを送信できるサービスです。

① 災害発生時に、携帯電話やスマートフォンで、緊急連絡先へメッセージを送信できるサービスです。

② 災害発生時に、携帯電話やスマートフォンで、緊急連絡先へメッセージを送信できるサービスです。



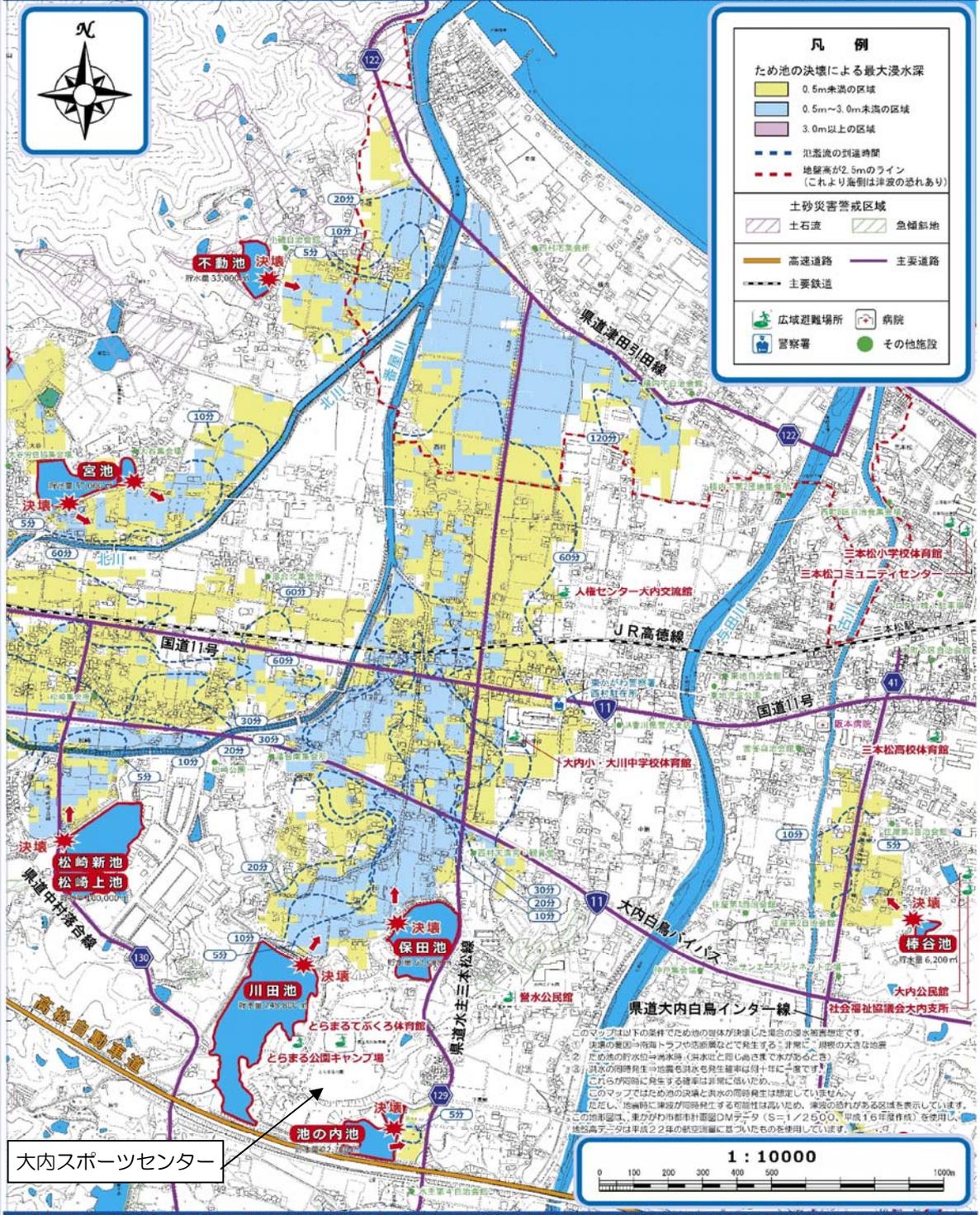
資料：東かがわ市洪水ハザードマップ(湊川浸水想定区域図)



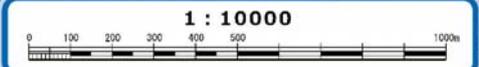
# 東かがわ市 ため池ハザードマップ【大内地区②】



凡例	
ため池の決壊による最大浸水深	
	0.5m未満の区域
	0.5m～3.0m未満の区域
	3.0m以上の区域
	氾濫流の到達時間
	地盤高が2.5mのライン (これよりเหนือは津波の恐れあり)
土砂災害警戒区域	
	土石流
	魚鱗斜地
	高速道路
	主要道路
	主要鉄道
	広域避難場所
	病院
	警察署
	その他施設



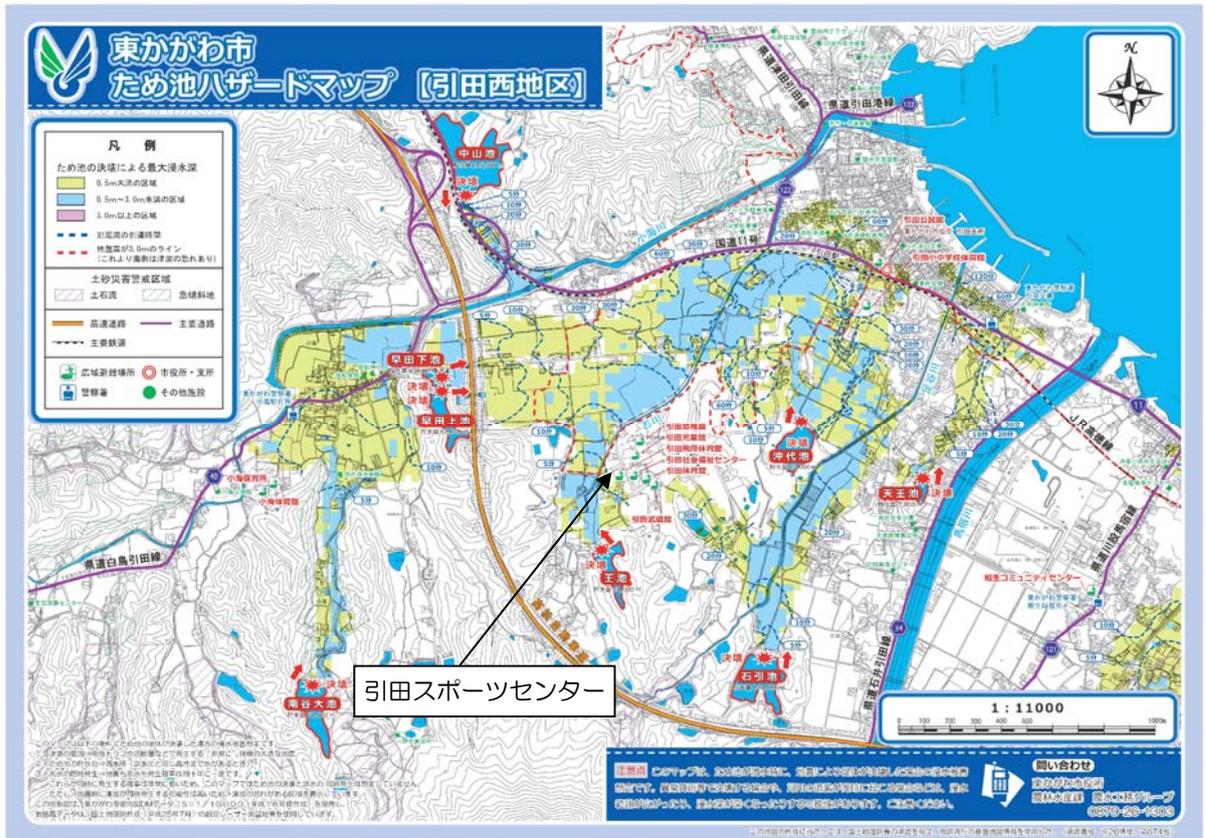
大内スポーツセンター



**注意点** このマップは、ため池が洪水時に、地盤に水の浸透が原因とした場合の浸水被害想定です。異常降雨等で発生する場合は、河川の氾濫が同時に起こる場合を念には、浸水範囲が広がったり、浸水深が深く長ったりする可能性があります。ご注意ください。

**問い合わせ**  
東かがわ市役所 農林水産課 農水工務グループ  
0379-26-1803

資料：東かがわ市ため池ハザードマップ（大内地区）



資料：東かがわ市ため池ハザードマップ（引田西地区）



資料：東かがわ防災マップ（小海上自治会）

## 6 近隣の類似施設の状況

表 野球場

番号	設置者	開設年	施設名	利用種目	規模	所在地
1	さぬき市	H3	さぬき市津田総合公園野球場	野球	面積 14,000㎡	さぬき市津田町津田2020
				ソフトボール	両翼 92m	
					センター120m	
2	さぬき市	S62	みろく球場	野球	面積 12,220㎡	さぬき市大川町富田中3286
				ソフトボール	両翼 92m	
					センター120m	
3	さぬき市	S58	さぬき市志度総合運動公園野球場	野球	面積 12,233㎡	さぬき市鴨庄4305
				ソフトボール	両翼 91m	
					センター121m	
4	さぬき市	S58	さぬき市長尾総合公園野球場	野球	面積 11,900㎡	さぬき市長尾東2456-6
				ソフトボール	両翼 92m	
					センター 120m	

資料：香川県教育委員会事務局保健体育課 スポーツグループ ホームページ

表 多目的広場

番号	設置者	開設年	施設名	利用種目	規模	所在地
2	さぬき市	H2	みろく球技場	多目的	面積 12,000㎡	さぬき市大川町富田中3286
3	さぬき市	S61	さぬき市志度総合運動公園広場	野球	両翼 70m	さぬき市鴨庄4305
				ソフトボール	面積 5,490㎡	
5	さぬき市	H13	さぬき市生涯スポーツ広場	グラウンドゴルフ 他	面積 約2,000㎡ 休憩所1棟	さぬき市末159-1
6	さぬき市	S57	さぬき市石田運動広場	野球	面積 11,776㎡	さぬき市寒川町石田東甲931
				ソフトボール		
7	さぬき市	S57	さぬき市神前運動広場	野球	面積 7,950㎡	さぬき市寒川町神前3966-2
				ソフトボール		
8	さぬき市	S57	さぬき市伊勢運動広場	野球	面積 11,714㎡	さぬき市寒川町石田西695
				ソフトボール		
4	さぬき市	S60	さぬき市長尾総合公園多目的広場	サッカー	面積 12,000㎡	さぬき市長尾東2456-6
				少年野球		
				ゲートボール		
9	さぬき市	H23	下所運動広場	ゲートボール	面積 8,919㎡	さぬき市造田是弘262-1
				グラウンドゴルフ		
10	さぬき市	H15	さぬき市シーサイドコリドール球技場	サッカー	面積 7,560㎡	さぬき市小田2671-88

資料：香川県教育委員会事務局保健体育課 スポーツグループ ホームページ

表 プール

番号	設置者	開設年	施設名	利用種目	規模	所在地
11	さぬき市	S58	さぬき市B&G海洋センター水泳プール	水泳	25m6コース	さぬき市寒川町石田東甲333
4	さぬき市	H10	ツインバルながお	水泳・歩行浴	流水プール	さぬき市長尾名1494-1
					幼児用プール	
					多目的温水プール	

資料：香川県教育委員会事務局保健体育課 スポーツグループ ホームページ

表 体育館

番号	設置者	開設年	施設名	利用種目	規模	所在地
4	さぬき市	H10	ツインパルながお	バスケットボール	バスケットボール2面	さぬき市長尾名1494-1
				バレーボール	バレーボール3面	
				バドミントン	バドミントン6面	
				卓球 トレーニング	卓球台24台	
					面積1,325㎡	
		トレーニングルーム		面積165㎡		
12	さぬき市	S55	さぬき市津田体育館	バスケットボール	バスケットボール2面	さぬき市津田町津田138-16
				バレーボール	バレーボール2面	
				バドミントン	バドミントン6面	
				卓球等	卓球台10台	
				面積1,132㎡		
13	さぬき市	H28	さぬき市津田第2体育館	バスケットボール	バスケットボール1面	さぬき市津田町津田173-3
				バレーボール	バレーボール2面	
				バドミントン	バドミントン3面	
					面積912㎡	
14	さぬき市	S60	さぬき市津田多目的研修集会施設	バレーボール	バレーボール1面	さぬき市津田町鶴羽1746-1
				バドミントン	バドミントン2面	
				卓球	卓球台3台	
				インディアカ等	インディアカ2面	
				面積408㎡		
15	さぬき市	S53	さぬき市大川体育館	バスケットボール	バスケットボール1面	さぬき市大川町富田中2207-2
				バレーボール	バレーボール2面	
				バドミントン	バドミントン3面	
				柔道	柔道50畳	
				面積1,123㎡		
3	さぬき市	S60	志度構造改善センター	バレーボール	バレーボール2面	さぬき市鴨庄4610-45
				バドミントン	バドミントン3面	
					面積720㎡	
16	さぬき市	S49	さぬき市寒川体育館	バスケットボール	バスケットボール1面	さぬき市寒川町石田東甲436
				バレーボール	バレーボール2面	
				バドミントン	バドミントン3面	
				卓球等	卓球台2台	
				面積806㎡		
11	さぬき市	S58	さぬき市B&G海洋センター体育館	バスケットボール	バスケットボール1面	さぬき市寒川町石田東甲333
				バレーボール	バレーボール2面	
				バドミントン	バドミントン3面	
				卓球等	卓球台2台	
				面積726㎡		
17	さぬき市	S59	さぬき市神前体育館	バスケットボール	面積760,625㎡	さぬき市寒川町神前1576-5
				バレーボール		
				バドミントン		
				卓球等		
18	さぬき市	S59	さぬき市津田北山体育館	バレーボール	バレー1面	さぬき市津田町津田3645-5
				バドミントン	バドミントン2面	
					面積534㎡	
19	東かがわ市	H2	丹生コミュニティセンター体育館			東かがわ市町田96-1
20	東かがわ市	S50	相生コミュニティセンター体育館			東かがわ市南野103-2

資料：香川県教育委員会事務局保健体育課 スポーツグループ ホームページ（1～18）

東かがわ市（19～20）

表 武道館

番号	設置者	開設年	施設名	利用種目	規模	所在地
21	さぬき市	S63	さぬき市大川武道館	柔道	面積 827㎡	さぬき市大川町富田中289-2
				剣道		
				空手道		
22	さぬき市	H7	さぬき市志度武道館	柔道	面積 936㎡	さぬき市志度2214
				剣道		
				空手道		
11	さぬき市	H2	さぬき市飛翔の館	柔道	面積 768㎡	さぬき市寒川町石田東甲333
				剣道		

資料：香川県教育委員会事務局保健体育課 スポーツグループ ホームページ

表 テニスコート

番号	設置者	開設年	施設名	利用種目	規模	所在地
1	さぬき市	H2	さぬき市津田総合公園テニス場	テニス	砂入人工芝全天候型4面	さぬき市津田町津田2020
2	さぬき市	S56	みろくテニスコート	テニス	全天候型4面	さぬき市大川町富田中3424
3	さぬき市	S63	さぬき市志度総合運動公園テニス場	テニス	砂入人工芝全天候型4面	さぬき市鴨庄4305
					全天候型2面	
4	さぬき市	S63	さぬき市長尾総合公園テニス場	テニス	砂入人工芝全天候型7面	さぬき市長尾東2456-6

資料：香川県教育委員会事務局保健体育課 スポーツグループ ホームページ

表 ゲートボール場

番号	設置者	開設年	施設名	利用種目	規模	所在地
1	さぬき市	H2	さぬき市津田総合公園ゲートボール場	ゲートボール	クレークコート4面	さぬき市津田町津田2020
2	さぬき市	S62	みろくゲートボール場	ゲートボール	クレークコート1面	さぬき市大川町富田中3277
23	さぬき市	H6	さぬき市屋内ゲートボール場	ゲートボール	コート2面	さぬき市寒川町石田東甲2787-1
					面積1,040㎡	
24	東かがわ市	H7	スパーク大内屋内ゲートボール場	ゲートボール	屋内2面人工芝コート	東かがわ市馬磔1181番地
					屋外1面クレークコート	

資料：香川県教育委員会事務局保健体育課 スポーツグループ ホームページ、さぬき市ホームページ

表 キャンプ場

番号	設置者	開設年	施設名	利用種目	規模	所在地
2	さぬき市	S52	みろくキャンプ場	キャンプ	収容人員300人	さぬき市大川町富田中3286
					テント有	
					ファイヤー場有	
					炊事場有	
25	さぬき市	H元	南川自然の家	キャンプ	収容人員150人	さぬき市津田町津田138-15
					テント有	
					ファイヤー場有	
					炊事場有	
26	東かがわ市	H6	大池オートキャンプ場	キャンプ(オートサイト、ログハウス、フリーテント)カヌー	収容人員300人	東かがわ市引田3066-1
					オート18	
					テント34張	
					ファイヤー場1	
					ログ3	
					炊事場6	
					カヌー10	
27	東かがわ市	S46	田の浦キャンプ場	キャンプ	収容人員280人	東かがわ市引田3017-2
					テント20張	
					ファイヤー場2	
					炊事場2	
28	東かがわ市	S59	東かがわ市水主コミュニティセンター	キャンプ	収容人員80人	東かがわ市水主3004
29	東かがわ市	H2	東かがわ市北山コミュニティセンター	キャンプ	収容人員80人	東かがわ市馬磔1527-1

資料：香川県教育委員会事務局保健体育課 スポーツグループ ホームページ

表 冒険遊具

番号	設置者	開設年	施設名	利用種目	規模	所在地
2	さぬき市	S52	みろくフィールドアスレチック	フィールドアスレチック	約1km 17ポイント	さぬき市大川町富田中3286

資料：香川県教育委員会事務局保健体育課 スポーツグループ ホームページ

表 グランドゴルフ場等

番号	設置者	開設年	施設名	利用種目	規模	所在地
—	香川県	H15	瀬戸大橋記念公園 ターゲット・バードゴルフ場	ターゲット・バードゴルフ	9ホール バー36	坂出市沙弥島字南通224-1 (管理事務所 坂出市番の州緑町6-13)
—	まんのう町	H4	グラウンド・ゴルフ場	グラウンド ゴルフ	コート2面 面積2,982㎡	仲多度郡まんのう町吉野下186-2

資料：香川県教育委員会事務局保健体育課 スポーツグループ ホームページ

## 7 施設の用途別、構造別耐用年数

表 施設の用途別、構造別耐用年数

番号	用途名称	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
		鉄骨鉄筋 コンクリート	鉄筋コン クリート	鉄骨コン クリート	無筋コン クリート	コンクリートブ ロック	れんが造	プレストレスコ ンクリート	プレキャストコ ンクリート	土蔵造	鉄骨造	軽量鉄骨 造	木造
1	庁舎	50	50	41	41	41	41	50	50	22	38	30	24
2	事務所	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
3	倉庫・物置	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
4	自転車置場・置場	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
5	書庫	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
6	車庫	38	38	31	34	34	34	38	38	15	31	25	17
7	食堂・調理室	41	41	31	38	38	38	41	41	19	31	25	20
8	陳列所・展示室	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
9	校舎・園舎	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
10	講堂	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
11	給食室	41	41	31	38	38	38	41	41	19	31	25	20
12	体育館	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
13	集会所・会議室	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
14	公民館	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
15	保健室・医務室・衛生室	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
16	脱衣室・更衣室	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
17	保育室・育児室	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
18	案内所	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
19	寮舎・宿舎	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
20	洗場・水飲場	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
21	浴場・風呂場	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
22	便所	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
23	教習所・養成所・研修所	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
24	温室	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
25	小屋・畜舎	38	38	31	34	34	34	38	38	15	31	25	17
26	火葬場	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
27	葬祭所・斎場	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
28	霊安室・死体安置室	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
29	焼却場	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
30	塵芥集積所	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
31	処理場・加工場	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
32	監視所・観察所	50	50	38	41	41	41	50	50	22	38	30	24
33	滅菌室	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
34	濾過室	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
35	計量器室	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
36	ポンプ室	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
37	ボイラー室	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
38	配電室・電気室	38	38	31	34	34	34	38	38	14	31	24	15
39	住宅	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22
40	住宅付属建物	47	47	34	38	38	38	47	47	20	34	27	22

※「新地方公会計制度実務研究会報告書」の別表B3に基づき作成している。

出典：財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）

①カルテ対象建物の建物分類及び建物名から、上記耐用年数表の用途に該当する用途名を各棟毎に判定した。

②カルテ対象建物の建物構造名から、上記耐用年数表の構造に該当する構造を各棟毎に判定した。

③上記判定により、建物用途と構造の組み合わせから、耐用年数表に該当する耐用年数を選択した。

## 8 公会計等の活用事例

公会計における財務書類等を活用したマネジメントの事例を以下に整理します。

資料：総務省「今後の新地方公会計の推進に関する実務研究会」の資料  
(財務書類等のその他の活用事例) より抜粋

### 資産の適切な管理

#### 【事例】未利用地活用（〇県〇町）

##### 背景・目的

- 〇 〇県〇町では、公有財産台帳を紙による管理で行っていたため、地方公会計制度の推進を掲げ、公有財産台帳、及び固定資産台帳の精査、管理システムを構築する必要があった。
- 〇 公有財産台帳と固定資産台帳を精査することで、既存の公有財産台帳に記載されていない全ての町有地から未利用地（遊休地）の抽出を行った。

##### 事例概要

- 〇 未利用地の利活用方策とし、未利用地カルテを作成し、未利用地一筆毎の活用方針を定めた。



##### 効果等

- 〇 資産の実態把握を行い、資産・債務改革に向けた具体的な施策の推進が行えた。

### セグメント分析

#### 【事例】発生主義コストに基づく使用料等設定及び改定基準（千葉県浦安市）

##### 背景・目的

- 〇 平成16年8月、浦安市行政改革推進委員会より「使用料等基準に関する意見書」の提言を受け、受益と負担の原則に基づき公正かつ透明性の高い受益者負担制度の運用に資するため、「使用料等設定及び改定基準について（指針）」を策定

##### 事例概要

- 〇 指針に基づき、行政コストの検証、使用料等の改定検討を実施。

##### 使用料等の算定方法

- ①【別表2】使用料等算定表にてコストを算定
- ②①のコストに【別表1】使用料等の公費・受益者負担（区分）基準の負担率を乗じ使用料等を算定※

【別表2】 [ ] 使用料等算定表

項目	金額
減価償却費（建物および備品）	
市債利子	
維持管理経費	
人件費（退職給与引当金、賞与引当金繰入額含む）	

※ ただし、基準のほか近隣市の水準考慮や、政策的判断もあり。  
※ 激変緩和のため、1回の改正で、現行料金の1.5倍まで。  
※ 使用料等は、指針に沿って原則3年に一度の見直しを基本とする。

【別表1】 使用料等の公費・受益者負担（区分）基準

区分	内容	具体的事例	負担率
全面的に受益者が負担するもの	・特定の市民が対象であり、利用も特定されるサービス ・受益が特定されるサービス ・民間等と競合するサービス ・公営企業的なサービス	ケアハウス駐車場、自転車駐車場（指定有）、市営住宅駐車場、下水道、墓地公園、棧橋	100%
大部分を受益者が負担するもの	・一部の市民が対象であり、利用が特定されるサービス ・民間等と競合的なサービス	独居老人住宅 保育園、幼稚園	75%
公費と受益者で負担するもの	・全市民が対象で必要に応じて利用でき、広く地域の連帯・健康の増進や文化的生活に寄与するサービス ・民間等との競合性もあるサービス	保養所、自治会館市民プラザ、文化会館、自転車駐車場（指定無）、公民館、野球場、テニスコート他	50%
大部分を公費で負担するもの	・全市民が対象であるが、利用が特定されるサービス		25%
全面的に公費で負担するもの	・全市民が対象であり、広く地域の連帯・健康の増進や文化的生活に寄与するサービス	道路、公園、図書館等	0%

##### 効果等

- 〇 施設別行政コストの検証と使用料・手数料の改定  
平成19年に施設別行政コストの検証と併せて、使用料・手数料の全体的な見直し検討を行い、文化会館等の文化施設及び総合体育館などのスポーツ関連施設の一部について見直し、使用料等の改定を実施。

## セグメント分析

### 【事例】施設別サービスコスト（千葉県習志野市）

#### 背景・目的

- 市民に施設別のサービスコストを提供するとともに、公共施設のマネジメントにも活用。
- 公共施設再生計画のデータに活用。

#### 事例概要

施設別サービスコスト一覧を作成し、公表。

2) 施設別サービスコスト一覧

施設名称	人員費 (千円)	経費 (千円)	事業費 (千円)	構成比	総コスト (千円)	市民1人 あたりの コスト (円)	1人あたり のコスト (500円) (円)
芝園清掃工場 (前処理施設含む)	88,942	371,796	1,136,911		1,597,649	8,713	4,358,214
リサイクルプラザ	13,411	60,974	8,987		83,382	500	225,705
沼津衛生処理場 (1,原付集積施設含む)	31,886	72,698	163,283		267,867	1,365	547,825
動物広場	14,432	6,945	14,981		36,358	221	99,369

(参考)

市民1人あたりのコスト（上位5施設）	金額（円）
芝園清掃工場（前処理施設含む）	9,713
津田沼浄化センター	8,973
習志野高校	4,492
給食センター	3,902
習志野第二保育所	2,220

市民1人あたりのコスト（下位5施設）	金額（円）
あづまこども会館	112
豊敷公民館	178
東習志野図書館	179
実花公民館	180
袖ヶ浦第二保育所	195

人件費の比重（上位5施設）	割合（%）
ひまわり発達相談センター	96.00%
菊田第二保育所	89.36%
本天久保第二保育所	87.66%
袖ヶ浦車庫整備	87.65%
谷津南保育所	87.44%

人件費の比重（下位5施設）	割合（%）
津田沼浄化センター	2.59%
芝園清掃工場（前処理施設含む）	5.09%
第五中学校	6.00%
谷津小学校	7.67%
第七中学校	7.87%

※小学校・中学校には専任教員の人員費が含まれていない。

#### 効果等

- 施設別のコストが比較できることにより、今後の施設再生計画に生かすことが可能となる。

## セグメント分析

### 【事例】行政サービスの値札事業（千葉県習志野市）

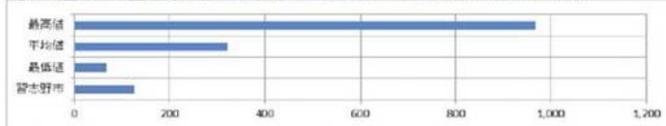
#### 背景・目的

- 全国青年市長会が呼びかけ、全国61市が参加したもので、今後の行財政運営に生かすことを目的として実施。

#### 事例概要

11事業を対象として人件費や減価償却費などを含む総コスト情報に基づき、1単位当たりのコストを算出。

事業名称：図書貸出業務（図書貸出数 1冊あたりのコスト）



1単位あたりのコスト  
習志野市の順位  
6位  
(全体54市)

習志野市の詳細は・・・

総コスト (円)	数量	1単位あ たりの コスト (円)	利用者 負担額 (円)	利用者 負担割合	市 負担額 (円)	市 負担割合
140,732,864	1,116,537	126	0	0%	126	100%

#### 効果等

- 他市比較ができる効果がある。今後は統一基準によるより精度の高い比較が可能となる。